

官報

號外 昭和七年九月二日

○第六十三回 貴族院議事速記録第七號

昭和七年九月一日(木曜日)午前十時五十分開議

議事日程 第七號

昭和七年九月一日
午前十時開議

第一 市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第二 米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第三 米穀法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第四 山村住民救済ニ關スル請願(文書表第五十號) 第一讀會

第五 傷痍軍人待遇改善ノ請願 會 議

第六 中小商工業者救済ノ請願 會 議

第七 山村住民救済ニ關スル請願(文書表第六十號) 會 議

第八 北海道千歲村ニ飛行場設置ノ請願 會 議

第九 能登鐵道株式會社敷設鐵道買収ノ請願 會 議

○議長(公卿德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

(山本書記官朗讀)
去月三十一日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

同日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル秋田縣鐵道買収ノ請願外二十八件ノ請願

官報號外 昭和七年九月二日 貴族院議事速記録第七號 議長ノ報告 會議 大藏大臣ノ演說

願ハ各、意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日豫算委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵柳澤 保惠君
副委員長 男爵大井 成元君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
昭和七年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

昭和七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ
米穀法中改正法律案

同日衆議院ヨリ同院ニ於テ左ノ政府提出案ヲ否決シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

米穀應急施設法案

○議長(公卿德川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、高橋大藏大臣

(國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル)

○國務大臣(高橋是清君) 諸君、茲ニ昭和七年度追加豫算ヲ説明イタシマスコトハ、私ノ最モ光榮トスル所デアリマス、今回政府ニ於テ計畫シタル昭和七年度ニ於ケル時局匡救ニ關スル經費ハ、國ノ負擔ニ屬スル分、一般會計ニ於テ一億六千三百餘萬圓、

特別會計ニ於テ千三百餘萬圓、計一億七千六百餘萬圓デアリマシテ、此外ニ地方ノ負擔ニ屬スル分ガ八千七百餘萬圓アリマスカラ、結局昭和七年度ニ於ケル時局匡救ニ關スル中央及地方ノ經費總額ハ二億六千三百餘萬圓トナル計算デアリマス、而シテ國ノ負擔ニ屬スル分ハ、殆ド全部公債ニ依リ、地方負擔ニ屬スル分ニ付テハ、主トシテ政府ヨリ低利資金ヲ供給シ、尙ホ事業ノ種類ニ依リテ國庫ヨリ利子ノ補助ヲ爲ス計畫デアリマス、時局匡救ニ關スル豫算ノ計上ニ當テハ、成ルベク各地方ニ普遍的ニ國庫支出金ノ普及スベキ事業ヲ選定スルニ力ヲ注ギ、又急迫ノ程度最モ甚シキ地方ニ對シテハ事業費ノ割合ヲ多額ナラシムルコトニ努メマシタ、次ニ時局匡救事業ノ主ナルモノヲ説明イタシマス、内務省所管ニ於ケル治水、港灣、道路等ノ土木事業ハ、國ニ於テ施行スルモノト、府縣及町村ニ於テ施行スルモノトナリマスガ、府縣及町村ニ於テ施行スルモノニ對シテハ、相當ノ割合ヲ以テ補助ヲ致シマス、是等事業費ノ總額ハ七千四百餘萬圓デアリマシテ、其内、國ノ負擔ニ屬スルモノ四千八百餘萬圓、地方ノ負擔ニ屬スルモノ二千五百餘萬圓デアリマス、尙ホ北海道拓殖ニ關スル經費ノ増加ガ五百餘萬圓アリマス、農林省所管ニ於ケル開墾、用排水幹線改良、林道開設、暗渠排水事業助成等、農業土木ニ關スル經費ノ總額ハ六千八百餘萬圓デアリマシテ、其内、國ノ負擔ニ屬スルモノ三千七百餘萬圓、地方ノ負擔ニ屬スルモノ三千三百餘萬圓トナリマス、尙ホ農林經濟更生施設ニ關スル經費トシテ、三百四十餘萬圓計上イタシマシタ、陸海軍ニ於ケル軍需品ノ製造、艦船ノ建造並ニ修理等ハ、商工業等ノ振興ニ資スル所大ナルモノガアリマス、是等ニ要スル經費トシテ、陸軍省所管ニ於テ千八百五十萬圓、海軍省所管ニ於テ千八百四十萬圓ヲ支出スルコトニ致シマシタ、市町村財政ノ

特別會計ニ於テ千三百餘萬圓、計一億七千六百餘萬圓デアリマシテ、此外ニ地方ノ負擔ニ屬スル分ガ八千七百餘萬圓アリマスカラ、結局昭和七年度ニ於ケル時局匡救ニ關スル中央及地方ノ經費總額ハ二億六千三百餘萬圓トナル計算デアリマス、而シテ國ノ負擔ニ屬スル分ハ、殆ド全部公債ニ依リ、地方負擔ニ屬スル分ニ付テハ、主トシテ政府ヨリ低利資金ヲ供給シ、尙ホ事業ノ種類ニ依リテ國庫ヨリ利子ノ補助ヲ爲ス計畫デアリマス、時局匡救ニ關スル豫算ノ計上ニ當テハ、成ルベク各地方ニ普遍的ニ國庫支出金ノ普及スベキ事業ヲ選定スルニ力ヲ注ギ、又急迫ノ程度最モ甚シキ地方ニ對シテハ事業費ノ割合ヲ多額ナラシムルコトニ努メマシタ、次ニ時局匡救事業ノ主ナルモノヲ説明イタシマス、内務省所管ニ於ケル治水、港灣、道路等ノ土木事業ハ、國ニ於テ施行スルモノト、府縣及町村ニ於テ施行スルモノトナリマスガ、府縣及町村ニ於テ施行スルモノニ對シテハ、相當ノ割合ヲ以テ補助ヲ致シマス、是等事業費ノ總額ハ七千四百餘萬圓デアリマシテ、其内、國ノ負擔ニ屬スルモノ四千八百餘萬圓、地方ノ負擔ニ屬スルモノ二千五百餘萬圓デアリマス、尙ホ北海道拓殖ニ關スル經費ノ増加ガ五百餘萬圓アリマス、農林省所管ニ於ケル開墾、用排水幹線改良、林道開設、暗渠排水事業助成等、農業土木ニ關スル經費ノ總額ハ六千八百餘萬圓デアリマシテ、其内、國ノ負擔ニ屬スルモノ三千七百餘萬圓、地方ノ負擔ニ屬スルモノ三千三百餘萬圓トナリマス、尙ホ農林經濟更生施設ニ關スル經費トシテ、三百四十餘萬圓計上イタシマシタ、陸海軍ニ於ケル軍需品ノ製造、艦船ノ建造並ニ修理等ハ、商工業等ノ振興ニ資スル所大ナルモノガアリマス、是等ニ要スル經費トシテ、陸軍省所管ニ於テ千八百五十萬圓、海軍省所管ニ於テ千八百四十萬圓ヲ支出スルコトニ致シマシタ、市町村財政ノ

急迫ヲ緩和スル方法トシテ、今後三箇年ヲ限リ市町村立尋常小學校費臨時補助ヲ支出スルコトトシ、昭和七年度分トシテ千二百萬圓ヲ支出スルコトト致シマシタ、右ノ外船舶改善助成ニ要スル經費、金錢債務臨時調停法施行ニ關スル經費等アリマス、以上ハ今回政府ニ於テ計畫シタル昭和七年度ニ於ケル時局匡救ニ關スル經費ノ大體ニ付テ説明シタルデアリマスガ、右ノ經費ノ範圍内ニ於テ支辨シ得ルモノガアリマス、此分ハ實行豫算ヲ増額スルコトトシ、今回追加豫算トシテ議會ノ協賛ヲ求ムル金額ハ一般會計ニ於テ歳出總額一億四千六百六十餘萬圓デアリマス、而シテ之ニ對スル歳入ノ追加豫算ハ一億六千三百四十餘萬圓デアリマシテ、歳入歳出差引歳入超過額千六百七十餘萬圓ハ前述ノ實行豫算増額ノ財源ニ充ツルノデアリマス、次ニ特別會計ニ於テモ、時局匡救ニ關スル經費ヲ豫算シタモノガアリマスガ、其主ナルモノハ帝國鐵道會計ニ於テ、建設費ノ繰上七百餘萬圓ノ外、朝鮮、臺灣及樺太ニ於ケル各植民地會計ニ於テ、各種土木事業費ヲソレ、三百六十餘萬圓、六百六十餘萬圓及六十餘萬圓ヲ計上イタシマシタ、右ハ大體ニ於テ本年九月以降七箇月分ノ經費デアリマスガ政府ハ前議會ニ於ケル衆議院ノ決議並ニ現下世論ノ趨勢ニ鑑ミ、今後三年度ニ互リ、徹底的ニ時局ノ匡救ヲ爲ス方針ノ下ニ、本豫算ヲ編成シタ次第デアリマシテ、來年度ニ於テハ更ニ相當經費ノ増加ヲ來スベク、從テ三年度ノ經費ヲ通計イタシマスナラバ、其總額ハ約六億圓ニ達スル見込デアリマス、昭和七年度ニ於テ歳出豫算ノ財源タルベキ公債ノ追加額ハ、一般會計ノ分、道路公債八十餘萬圓、歲入補填公債一億六千九百九十餘萬圓、計一億六千二百七十餘萬圓、特別會計ノ分、鐵道公債七百萬圓、朝鮮事業費公債三百三十餘萬圓、臺灣事業費公債六十餘萬圓、樺太

昭和七年九月三十一日
第三號 官報

事業公債六十餘萬圓、計千二百六十餘萬圓、合計一億七千五百四十餘萬圓デアリマスガ、之ニ從前決定セル本年度公債發行總額六億七百萬圓ヲ加ヘマス時ハ、昭和七年度ニ於ケル公債發行總額ハ七億八千二百萬圓ナリマス、右發行總額中七千七百萬圓ハ交付公債デアリ、又新規公債中、預金部其他政府部内ノ引受ノ金額九千八百萬圓ガアリマスカラ、兩者ヲ差引イタ殘額ハ六億七百萬圓トナリマス、此金額ハ今日ノ情況ニ於テハ一應日本銀行ヲシテ之ヲ引受ケシムル見込デアリマス、以上政府提出ノ豫算ニ付テハ、衆議院ニ於テ全部政府提出案ノ通り可決セラレタ次第デアリマス、次ニ我國經濟界ノ窮境ヲ打開シ、且ツ産業ノ振興ヲ圖ル爲ノ根本手段トシテハ通貨ノ供給ヲ圓滑ナラシムルコトガ緊要ナルコトハ、既ニ屢ニ申述ベマシタ通りデアリマシテ、前議會ニ於テ協賛ヲ得タル日本銀行保證準備ノ擴張、並ニ制限外發行稅ノ低減ニ關スル法律ノ如キモ、是ガ對策ノ一端ニ外ナラサカ、タノデアリマスガ、今回更ニ郵便貯金ノ利子ヲ從前ニ比シ一分二厘引下ゲテ三分トナシ、來月十日ヨリ實施スルコトト致シマシタ、郵便貯金ノ利子ノ變更ノ如キハ、成ルベク之ヲ避ケタイノデアリマスガ、今日ノ非常時ニ際シ、經濟界全體ノ立直シノ爲ニハ、一般金利ノ低下ヲ圖ルコトガ最も緊要ナルヲ以テ、此際之ヲ斷行シ、由テ以テ大藏省預金部ノ貸付利率ヲ低下シテ、資金ノ融通ヲ受クル各種地方團體ノ負擔輕減ヲ圖ルト共ニ、農村及中小商工業者ノ救済ニ資シ、併セテ一般金利ノ低下ヲ誘導シタイト考ヘルノデアリマス、金融ノ圓滑ヲ期スルガ爲ニハ、通貨ノ供給ヲ容易ナラシムル共ニ、金融機關ノ内部ニ於テ既ニ固定セル資金ノ流動化シテ、其活動ヲ圓滑ナラシムルコトノ必要ナルコトハ申ス迄モナイ所デアリマス、仍テ政府ハ資金固定ノ最も顯著ナル普通銀行及貯蓄銀行ノ不動産貸付ヲ資金化セシムル爲

メ、今後三年間ニ、政府低利資金五億圓ヲ日本勸業銀行、農工銀行及北海道殖産銀行ニ融通シ、是等銀行ヲシテ一般銀行ノ所有不動産及不動産抵當附債權ヲ擔保トスル貸付、又ハ是ガ肩代リヲ行ハシムルノ計畫ヲ樹テマシタ、而シテ右ノ貸付ヲ行フニ當テハ從前ノ例ニ依ラズ、抵當不動産ノ鑑定價格ノ全額マデ融通ヲ爲シ得ルノ途ヲ開イテ、融資ノ徹底ヲ圖ルト共ニ、將來融資銀行ニ於テ本貸付ノ爲メ損失ヲ受クルコトアル時ハ、政府ハ之ニ對シ一億圓ヲ限リ補償ヲ爲スコトトシテ、融資銀行ノ地位ヲ保障スルノ必要ガアルト思ヒマス、仍テ是ガ爲メ必要ナル法律案ヲ別途提出イタシマシタ、尙ホ是ト關聯シテ、政府ハ現今産業組合ノ固定セル債權ニ付テモ、同様ノ理由ニ依リ之ヲ資金化スルノ必要ヲ認メ、別ニ政府低利資金一億圓ヲ三箇年間に産業組合中央金庫ニ融通シ、同金庫ヲシテ所屬産業組合及同聯合會ニ對シテ資金ノ融通ヲ行ハシメ、之ニ因リ生ズルコトアルベキ損失ニ對シテハ、政府ニ於テ三萬圓ヲ限リ補償ヲ爲スコトトシ、之ニ關スル法律案モ亦本議會ニ提出イタシマシタ、政府ハ預金部資金ノ性質ニ鑑ミ、成ルベク之ヲ地方ニ還元スル方針ヲ探シテ來マシタガ、現下ノ情勢ニ鑑ミ、時局匡救諸對策ニ對シ、出來得ル限リ多額ノ資金ヲ供給スルコトノ必要ヲ認メ、農村振興及農業土木事業資金四千餘萬圓、前述ノ政府補償不動産、金融資金、五億圓ノ内、昭和七年度分トシテ差當リ一億圓、産業組合金融融通資金一億圓ノ内、昭和七年度分トシテ差當リ二千五百萬圓、中小商工業者等産業資金三千萬圓、其他各種ノ資金ヲ併セ、總額二億二千六百餘萬圓ニ及ブ新規資金ノ融通ヲ爲スコトニ決定イタシマシタ、農村及中小商工業者ノ負債整理ニ關シテハ、近來預金部融通金ノ元利支拂不能ヲ訴フル者ガ増加スルニ至リマシタガ、政府ニ於テモ是等債務者ノ中、到底自力ノミ

ニ依リ更生ノ途ヲ講ズルコト困難ト認ムル者ニ對シテハ、昭和七年度以降三箇年分ニ互ニ元利支拂資金ヲ融通スルコトトシ、既ニ其昭和七年度分トシテ總額六千七百五十萬圓ノ資金融通ヲ決定イタシマシタ、尙ホ此外政府ハ農村ニ於ケル債務者ノ負債整理ニ便宜ヲ供與スル爲メ、負債整理組合ヲ設置セシメ、整理資金ノ供給ヲ必要トスル場合ハ、府縣及政府協力シテ之ニ當ルコトトシ、是ト同時ニ誠實ナル債務者ヲ更生セシムル爲メ、一口千圓以下ノ小額債務ニ付キ、今後三箇年間裁判所ニ於テ調停及簡易ナル裁判ヲ行ヒ得ルコトト致シ、兩者相俟テ負債整理ノ實ヲ舉ゲシメタイト存ジマス、以上述べマシタ各般ノ施設ヲ綜合シマスレバ、政府ノ時局匡救豫算ノ三年度間ノ通計額ハ、前ニ述べマシタ通り約六億圓デアリマスガ、之ニ政府低利資金ノ融通ニ依リ行ハルベキ、地方ノ時局匡救事業費ノ三箇年度分ヲ加ヘマスレバ、中央地方ヲ通ジテ約八億圓ニ達スル見込デアリマス、更ニ前述ベマシタ各種ノ政府ノ時局匡救資金ノ今後三箇年間ニ於ケル融通豫定總額ヨリ、地方經費ニ融通スベキ分ヲ除イタル額モ亦約八億圓ニ上ボル見込デアリマスカラ、兩者ヲ合算スレバ今後三箇年間ニ使用セラルベキ資金ノ總額ハ、凡ソ十六億圓ニ達スル計算ニナルデアリマス、惟フニ現下世界ノ各國ニ瀰漫セル經濟不況ニ善處シ、更生ノ活路ヲ發見スルコトニ付テハ、各國何レモ苦心ヲ重ネテ居ルノデアリマスガ、一舉ニシテ效果ヲ收ムルノ妙案ハ、未ダ曾テ見出サレナイノデアリマシテ、結局各方面ニ各種ノ手段ヲ講ジテ、以テ不況打開ヲ策スルノ外ナイノデアリマス、政府ガ此度提案イタシマシタ上述ノ各種施設モ、前議會ニ於ケル帝國議會ノ院議並ニ世論ノ情勢ニ鑑ミ、時局對策トシテ最も適當ト信ジタルモノヲ採擇イタシマシタ次第デアリマス、去リナガラ今日ノ時局ニ善處スルニハ、國民ガ單ニ

政府ノ施設ノミニ依頼スルガ如キコトガアテハ、到底所期ノ效果ヲ收ムルコトガ出來ナイノデアリマシテ、國民自身自力更生ノ意氣ヲ以テ、難局打開ニ邁進スルノ用意ガナクテハナラナイノデアリマス、私ハ國家ノ内外ニ患難累積セル刻下ノ非常時ニ際シテ、我ガ國民ガ其固有ノ堅忍不拔ノ精神ヲ發揮シテ、此世界の試練ニ堪ヘラレムコトヲ希望シテ止マヌノデアリマス、終リニ臨ミ、政府提出ノ豫算案ニ付テハ、何卒速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ通告願ニ依リマシテ質疑ノ發言ヲ許シマス、前田子爵

(子爵前田利定君演壇ニ登ル)

○子爵前田利定君 唯今大藏大臣ヨリ時局匡救ニ關スル豫算各案ノ御説明ガアリマシタ、私ハ謹ンデ之ヲ承ハリマシタ、承ハリマシタニ付キマシテ、茲ニ幾多ノ疑惑ヲ生ジタガ爲ニ、此惑ヒヲ政府當局ヨリ解イテ戴キタイト思フノデアリマス、就キマシテハ會期切迫ノ折柄甚ダ恐縮デアリマス、ケレドモ、暫クノ時間ヲ拜借イタシマシテ、私ノ懷イテ居リマスル所ノ質疑ノ趣旨ヲ明カニ申述ベマシテ、政府當局ヨリ御答辯ヲ皆樣ト共ニ承ラウト思フノデアリマス、此非常時對策ト申スベキカ、今回提案サレマシタ追加豫算各案ヲ御作成ニナリマスルマデ、内閣組閣以來茲ニ三箇月、時恰モ盛夏ノ候デアリマシテ、關係閣僚諸公寧日モナク、苦心ニ苦心ヲ御重ネニナリマシテ、殊ニ首相藏相ノ如キハ、老軀ヲ提ゲテ此國難ノ衝ニ當ラレマシタル御精神ト御努力ニ對シマシテハ、甚深ナル敬意ト多大ノ御同情ヲ禁ズル能ハナイ次第デアリマス、去リナガラ此時局匡救豫算ノ實際ニ處スルニ當リマシテ、政府ガ聲明セラレテ居ラル、通リニ、又國民總テノ者ガ期待シテ居リマス如キ甚大ナル效果ガ舉ガルデアラウカドウ

カ、今日餓死線上ニ彷徨シテ居リマス所ノ全國ノ農民、中小商工業者若クハ無職ノ知識階級者、ソレ等ノ人々ガ果シテ窮乏ノノド底カラ此豫算案ノ實行ニ依テ救上ガ得ラレバアラウカドウカ、問題ハ唯茲ニ懸テ居ルト思フノデアリマス、齋藤首相ハ八月二十五日本議場ニ於キマシテ、施政ノ方針ノ演説ヲ致サレマシタ、其演説ノ一節ニ參シテ居リマセシタガ、要シマスルニ其御演説ノ要旨ハ、此事局ヲ匡救スルト云フコトハ此内閣ノ任務ノ……重大ナル任務ノ一ツデアアル、此臨時議會ハソレヲ達成スル所ノ使命デアアル、斯様ナ御言葉ヲ申述ベラレテ居ルノデアリマス、私ハ此御演説ヲ拜聴イタシマシタ當時ニ於キマシテ、誠ニ御申分ノ御立派デアリマシテ、如何ニモ御信念ガ火ヨリモ熱ク、言々何々ニ浸込シテ、其炎ハ天下ノ何物ヲモ燒キ盡サナケレバ止マヌ底ノ強イ御決心ノ程ガ拜察サレタノデアリマス、然ルニ此豫算案ヲ手ニ取上ゲマシテ仔細ニ點檢イタシマスト云フト、其豫算案ノ何處ニ、首相ノ強イ決心、熱烈ナル所ノ御信念ガ何處ニ閃イテ居リマスカ、我我不幸ニシテ之ヲ見出スコトガ出来ナイノデアリマス、時局匡救ニ付キマシテハ、所謂經濟界ノ建直シ、俗ニ言フ世直シヲ致シマスニ付キマシテハ、ドウシテモ積極的更生策、言換ヘテ申シマスレバ根本對策ガ樹立シナケレバ、其甲斐ハナイモノト思フノデアリマス、然ルニ豫算各案ノドノ部分ヲ見マシテモ、積極的ニ世直シヲスルト云フヤウナ、大ナル對策ガ何處ニモ現ハレテ居ラヌノデアリマス、政府當局ニ於キマシテハ、如何ナル御都合ガアツカ、御事情ガアツカ存ジマセヌカ、此臨時議會ニハ初メカラ時局匡救ニ對スル積極的ノ更生策ヲ打建テルト云フ所ノ御考ガ無カッタノデハアルマイカ、少クトモ左様ニ考ヘラレバ節

念、強イ所ノ御決心ヲ以テ、此難場ヲ救フニハ思ヒ切タル所ノ積極的更生策ヲ立テネバナラナイト云フ御決心ガナケレバコソ、各省各局ヨリ、各省各自ノ立場カラ思ヒ……案ヲ持込ミ、而シテ政府當局ハ強キ御信念ガナイガ爲ニ、内ニ問ヒ外ニ聽キ、學者ニ諮リ實際家ニ尋ネ、陳情ニ進言ニ左顧右盼、アレヲ採リ是ヲ取リ、而シテ織出サレタル所ノモノガ此豫算案デアアルノデアリマス、サレバコソ集メ得テ妙ト申スベキカ、誠ニ能ク排列ハシテ居リマスルケレドモ、其中ニ就キマシテ、格段ニスバラシイ花モ實モアル對策ガナイノデアリマス、後藤農相ハ過日本議場ニ於キマシテ菅澤議員ノ質問ニ答ヘラレマシテ、其御言葉ノ中ニ當議會ニ提出イタシタノハ應急策デアアルノデアアル、根本問題ニハ觸レテ居ラヌノデアアル、兎モ角モ此急場ヲ速ニ救ヒ得テ、效果ノ舉ガルモノヲ先ヅ提出イタシタノデアアル、斯様ニ仰セラレテアルノデアリマス、即チ政府ハ此議會ニハ積極的ノ更生策トモ申スヤウナ、世直シ、經濟界建直シト云フヤウナ對策ハ出サナイノデアアル、其出サナイト云フコトハ何レ冬ノ議會ニ持越サレルト云フ意味デアリマセウ、應急策ヲ出シタニ過ギナイノデアアル、斯様ニ申サレテ居リマス、誠ニ涼シ氣ニ申サレテ居ルノデアリマス、私ハ甚ダ是ハ訝カシイコトニ思フノデアリマス、國民ガ此内閣ノ出現ニ對シマシテ喜ビマシタノハ、政黨内閣トハ違フテ、斯カル舉國一致内閣、強イ協力内閣ガ出来タカラ、必ヤ政黨内閣ナンゾデハ到底爲シ得ナイヤウナ茲ニ對策ガ立テラレテ、サウシテ窮乏ノドン底ニアル我々共ガ皆救ハレルノデアラウ、斯様ニ此内閣ニ期待シテ居、タノデアリマス、内閣當事者ニ於カレマシテモ、必ズ左様ニ御感ジニナツテアツタデアラウト私ハ推察スルノデアリマス、若モ御意思ノ強イ、沈勇デアリ重厚デアアル齋藤首相ヲ他ノ閣僚諸公ガ所謂協力一致シテ、サウシテ

之ヲ輔翼シテ、立派ナル政策ヲ御立テニナラウトスレバ、ソレハ出来得ルコトデナカラウカト私ハ窃ニ喜ンデ居、タ一人デアアルノデアリマス、然ルニ事實ハソレニ反シマシテ、只今申シマスヤウニ、此豫算各案ニハ所謂重點ト思シモノガナイ、根幹ト認ムベキモノガナイアルモノハ枝葉末節ノミデアッタト云フコトハ、誠ニ遺憾至極ニ思フノデアリマス、是ハ政府當局ガ今少シク思フ……、國民ノ實情ヲ能ク御覽ニナリマシテ、十分ニ御認識デアッタラバ、必ズヤ此臨時議會マデニハ此豫算各案ヨリモモト優秀ナル、積極的更生策ト申シテモ數多アリマスガ、澤山ノコトハ出来得ナイデモ、一ツデモ二ツデモ徹底スルヤウナ對策ガ立テ得ナイト云フコトハナイノデアアルマイカ、組閣以來日子甚ダ短シト雖、尙ホ九十日ヲ算スルノデアリマス、御熱心ト御努力ト協力一致ノ御精神ヲ以テ御話合ヒニナリマシタラバ、此臨時議會ニ一ツヤ二ツノ根本對策ガ現レサウダト思フノデアリマス、然ルニ後藤農相ノ御言葉ニ依テ察シマスルト云フト、當初カラ先ヅ重大ナ問題、色ミ議論ノ出サウナ問題、ムヅカシイ問題ハ、總テ是ハ冬ニ送ル、此臨時議會ハ先ヅ成ルタケ面倒ノ起ラヌヤウニバタ……ト片付クヤウニシテシマハウト云フ御考ガアツタノデアアルマイカト思フノデアリマス、是ハ議會ノ審議ノ期日ガ最初八日間ト云フ仰セ出シガアツタ所カラ考ヘマシテモ、左様ニ考ヘル次第デアアルノデアリマス、果セル哉、茲ニ三日間ノ延期ト云フコトニナリマシタ、惟フニ此三日間ノ延期モ明日デ切レル譯デアリマスルガ、マダ……重大ナ問題ガ本議會ニ懸カテ居リマスカラ、恐ラクハ又延期ニナルデアアラウカト私ハ窃ニ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、左様ナ次第デアリマシテ、此内閣ガヤラウト思ヘバ出来ベキ筈ノモノデアッタノヲ初メカラヤラレナイ考デアッタカラ、應急策デ斯様ナ言葉ヲ

使テ恐入リマスガ、御茶ヲ濁サレタト云フヤウナ次第デアアルト思フノデアリマス、唯其中ニ稍、積極的更生策トモ認ムベキモノハ、農村負債整理組合法案デアリマス、併ナガラ是トモ唯其法案ガアルト云フダケナ話デアリマシテ、之ニ注ギ込ム所ノ金錢法案ガ何等件、テ居ラナイノデアリマス、謂ハバ佛作テ魂入レズト云フノハ此事デアリマス、斯様ナ法案ハ實ハ私嚴正ニ考ヘマスレバ、此法案ノミヲ議會デ協賛スルト云フコトニモ及ブモノデアナイカノヤウニモ考ヘル位ナモノデアリマス、而シテ他ノ方面ハ後藤農相ノ仰セラレル通り皆應急策デアアル、此應急策モ宜シイガ政府ガ金科玉條トサレテ居ル所ノ應急策ガ果シテ實行ニ當リマシテ政府ノ御考ノ通りニ效果ガ舉ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、大ナル疑懼ト懸念トヲ持テ居ル次第デアリマス、是ハ後ニ申述ベマスガ、全體窮乏ノドン底ニアル所ノ此不況ノ世ノ中ヲ更生サセテ行クト云フ、立直シテ行クト云フコトニ付キマシテ、首相ノ仰セラレル通りニ自力ノ更生……自力ノ更生ト云フコトモソレハ誠ニ結構ナコトデアリマス、自力ガ尙ホ若干殘テ居リマスルコトハ政府ノ叱咤、御激勵ニ依リマシテ奮發イタシマシテ、ドウヤラ一人デ歩ミ立チ、自ラ活路ヲ求メテ行クト云フコトモ、或ハスルカモ知レマセヌガ、自力盡キ果テテ精神ガ衰ヘテ居リマス者ニ對シマシテ、之ニ活ヲ與ヘ、手ヲ取り、腰ヲ押シテ自分カラフン張テ行ケルヤウニ迄、仕向ケルダケノモノハ政府ノ方ニ於テ御世話ヲ御燒キニナラナケレバナラヌコトデアアルト思フノデアリマス、如何ニ氣力衰ヘ、力盡キタ者ガ有難イ御題目ヲ百萬遍唱ヘマシタ所ガ金ノ生ル本ガ自然ニ湧ク譯ノモノデアリマセヌ、又大判、小判ガ天カラ降、テ來ル筈ノコトモデアリマセヌ、要スルニ之ヲ和導スルノニハ政府ガ然ルベク積極的更生策ヲ御立テニナリ、サウシテ此不況ノ世ヲ

御建直シニナルト云フコトヲ爲サラナケレ
バナラスト思フデアリマス、積極的の更生
策ト申シマスレバ、私ノ考ヘル所ニ依リマ
スレバ取り直サズ、根本策デアリトデアリ
マス、積極的の更生策ハ根本策デアルト同時
ニ政府ノ御唱ヘニナル所ノ應急策モ自然ニ
其中ニ兼有セラレモデアルト思フ
デアリマス、然ルラ政府當局ハ到底此場合
根本策ハ出來ナイ、出來ナイト斯ウ締メラ
レテシマツテ、到底根本策ナゾト云フモノ
ハ今考ヘテ見タ所ノ應急、所謂應急ニ應ズル
ノデ間ニ合ハナイモノダ、斯ウ云フ風ニ御
自分ノ御奮發努力ヲ其儘ニ置カレマシテ、
サウ御考込ミナツタト云フコトハ誠ニ遺憾
至極ニ思フデアリマス、例ヘバ農村ニ於
ケル所ノ主要農産物ノ統制、或ハ農村ニ於
ケル所ノ負債ノ整理、負擔ノ軽減、斯ウ云
フモノガ詰リ今日農村ノ痛トナツテ居ル所
ノモノデアリマス、此痛ヲ切開シテ、サ
ウシテ元ノ健康状態ニ回復スルニ付キマシ
テハ、思切ク茲ニ御療治ヲササナケレ
バナラストデアリマス、其積極的の更生策
ヲ御立ニナルト云フコトハ取り直サズ
世直シニモナリ、又政府ノ御唱ヘニナル所
ノ應急の效果モ同時ニ舉テ來ルモノト思
フデアリマス、例ヘバ米穀ニ對スル對策
ノ如キモノデアリマス、米穀ノ對策ニ付キ
マシテハ色ノ方面ヨリ大事ナ事柄ガゴザイ
マセウガ、其中ノ假令一ツデモ二ツデモ茲
ニ根本的の解決策ガ樹チマシタラバ惟フ
ニ米價ハ必ズ騰ルデアリマセウ、其根本策
ノ良否ノ如何ニ依リマシテハ値幅ニモ關係
ガゴザイマセウガ、假ニ根本策ガ出來タト
云フコトダケデモ米價ハ多少ハ騰ルデアラ
ウト思ヒマス、例ヘバ假ニ一石五圓値上リガ
致シタト先ヅシテ考ヘテ見マスレバ、一石
五圓位ノ値上リハ大シタコトデハナイノデ
アリマスカラ易々タルモノデアリマスカラ、
是ナラバ消費者ノ方ニ取りマシテモ大シタ
苦痛ニハナラヌノデアリマスカ、假ニ一石

五圓當リ値ガ騰ラタト致シマシタラバ内
地米五千万石ト致シマスレバ通計ニ於キマ
シテ三億圓ト云フ茲ニ値上リガ致スノデア
リマシテ、全國ノ農家一戸當リ五十圓ノ茲
ニ利益ガ生ズルノデアリマス、政府ノ今回
御出シニナツテ居ル仕事ノ主トナ部分ハ土木
事業、農村土木デアリマスカ、是等ニ依
テ政府ノ御推算ニナツテ居ル所ヲ拜見イタシ
マスト云フコト此工事ノ結果農家一戸當リ二
十圓内外ノ收入ガ農民ノ懷ニ這入ルノデア
ルト云フコトヲ仰セラレテ居ルノデアリマ
ス、右申上ゲマシタヤウナ農産物ノ騰貴ト
云フコトガ如何ニ此農村ニ及ボス影響ハ政府
ノ御唱ヘニナツテ居ル所ノ應急策、即チ土木事
業費等ニ比ベテ見マシテ遙ニ效果のデアリ、遙
ニ普遍的デアルト思フデアリマス、皆様ノ
眼前ニ在ル所ノ事實、近頃生絲ノ値上リガ
致シテ居リマス、此生絲ノ値上リガ其事
ヲ如何ニ雄辯ニ物語テ居ルト私ハ思ヒマ
ス、是ハ新聞ノ切抜デアリマスカ、讀賣新
聞ノ八月三十一日ノ表題ハ「生絲ノ大暴騰
カラ農村經濟ノ好轉、製絲工場ノ一齊操業
デ活氣ツク、但、滿ハマダ」割安ト云
フ表題デアリマス、要シマスルノ生絲相
場ガ「神戸デハ一躍千二百圓ニ買進シタ、
横濱ハ又沸騰ノ形勢ヲ孕シテ立會ヲ休止ス
ルニ至ツタ」斯ウ云フ事柄ガアリマシテ、ソ
レカラズト後ヘ參リマスト「此情勢ヲ持續
セムカ現下ノ製絲家、養蠶家ノ活況ハ拍車
ヲカケラレ農村經濟ニハ著シイ好轉ヲ齎ス
デアラウ」ト云フコトガ書イテアリマス、製
絲家ニ取りマシテモ亦斯様ナコトガ書イテ
アリマス、「兎モ角生絲ノ暴騰デ製絲家ノ
得タ利益ハ輕少デナク、此事實ハ長野縣ノ
六百二十五工場ヲ筆頭ニ各地ノ休止工場ガ
續々操業ヲ開始セルニ徴シテ明カナル」云
云、養蠶家ニ取りマシテモ斯様ナコトガ書
イテアリマス、「結局製絲家ハ買進ミヲ誘致
シ騰價ハ益、昂騰スベシト期待サレテ居ル」
失業者ニ取りマシテドウ云フ影響ガアリマ

スカト云フト、製絲工場ノ一齊的活動ニ依
テ各地ニ於テ農村失業者ガ救済サレツツア
ル程度ハ實ニ豫想外デ云々、斯様ニ農村ノ
主要農産物ノ價ノ如何ニ依リマシテハ、農
村經濟ニ及ボス所ノ好影響ト云フモノハ、
政府ノ土木事業ノヤウナ應急對策トコロノ
沙汰デハナイノデアリマス、尙ホ序ニ滿
コトニ付テ申シマスレバ、蠶絲業ノ統制並
ニ蠶絲價ノ安定策ト云フモノガ樹立イタシ
マセスケレバ、到底農村ト云フモノハ絕對
ニ救済セラレナイモノデアルト深信ズル
モノデアリマス、今日農村ガ窮乏ノドン底
ニ陥タ其原因ハ幾ラモアリマセウ、固ヨリ
米價安ト云フコトモ其原因ノ主ナルモノデ
アリマセウガ、此蠶絲價ノ大暴落ト云フコ
トガ農村ニ禍ヲシタト云フコトハ一番深刻
デアルトデアリマス、斯様ナ風ニ農村ノ痛
トモ申スベキ所ノ諸問題ノドレ一ツヲ捉
テ解決イタサレマシテモ、非常ナ好影響ガ
アルト私ハ思ヒマス、米ニ對スル所ノ
對策モ、蠶絲ニ對スル所ノ對策モ此議會デ
ハ積極的の更生策タル所ノ根本策ヲ拜見ス
ルコトガ出來ナイト云フコトハ、返ス返ス
モ遺憾至極ノコトデアリマス、負擔軽減ニ
付キマシテモ同様デアリマシテ、先般青澤
議員ガ此議場デ、如何ニ農民ガ俸給生活者、
商工業者、獨立業者ニ對シテ、如何ニ公租
公課ガ重ク負擔サレテ居ルカト云フコトニ
付キマシテ、數字ヲ擧ゲテ御質問ニナツテ
居リマスルカラ、今再ビ之ヲ詳論イタシマ
セヌガ、要スルノニ農村ノ公租公課ハ負擔
ノ非常ニ過重ニナツテ居ルノデアリマス、
今假ニ之ヲ俸給生活者並ニ致サナイデモ、
商工業者ト同ジ線ニ致シマシタラバ、農
家ハ一戸當リ五十圓宛負擔ガ輕クナルコト
ニ相成ル次第デアリマス、又負擔整理ニ付
キマシテモ、今日承ハル所ニ依リマスト云
フト、農家一戸當リ九百圓、而シテ年利百
圓内外ヲ支拂テ居ルト云フコトデアリマ
スルガ、此負擔整理ノ方ニ政府ノ「メス」ガ

進ミマシタナラバ、而シテ年利一割ヲ、年
利五分位ニ整理サレマシタナラバ農家ハ一
戸當リ四五十圓宛和サレルヤウナ次第ニナ
ルノデアリマス、其ヤウニ病根ノアル所ニ
向テ政府ガ療治サレマシタナラバ非常ナ
ル效果ガアルニ拘リマセズ、痛イ所ヲ避ケ
テ外ニ膏藥貼リヲサレマスルカラ餘リ效果
ガ擧ラナイノデアリマス、其效果ノ擧ラナ
イト云フ事ハ豫算ヲ見マスレバ一目瞭然ニ
相成テ居ルヤウナ次第デアリマス、政府
ガ應急策應急策ト仰セラレマスガ、此應急
策ハ讀ンデ文字ノ如ク急ニ應ズルト云フコ
トデアリマス、即チ一時ノ間ニ合セ、急場
ヲ凌グ、一時凌ギト云フヤウナ意味ニナリ
マス、甚ダ申シ過ギマシテ、失禮ニ當ルカ
知レマセヌガ、間ニ合セ物ニドウセ碌ナモ
ノハナイノデアリマス、不十分、不徹底デ
アルニ決マツテ居リマス、政府當局者ガ此
臨時議會ニ提出シタノハ應急ノモノデア
ル、根本ノモノニハ觸レテ居ラナイ、斯ウ
仰セラレルノハ取り直サズ政府者ガ御自
分カラ臨時議會ニ提案シタモノハ實ハ餘リ
碌ナモノデハナイ、間ニ合セモノダ、不十
分ダ、不徹底ダト云フコトヲ自カラ申サレ
居ルノデアリマス、私ガ之ヲ申スノデハナ
イ、政府者ガ曩ニ申サレテ居ルノデアリマ
ス、要シマスルニ今度ノ時局匡救ニ關シマ
スル豫算案ハ、政府ノ御心ノ中ニ潛ンデ居
ル所ノ御精神ハ如何カ分リマセヌガ、兎ニ
角形ニナツテ現ハレマシタ豫算案ヲ點檢イ
タシマスルト云フト、甚ダ古イ文句デアリ
マスルケレドモ、所謂龍ヲ畫イテ睛ヲ點ジ
ナイヤウナ豫算デドウヤラ龍ヲシヤウナ
形ガソコニ見エマセケレドモ、肝腎ノ眼ノ
玉ガ入ラテ居リマセヌカラナカ、風ヲ呼
ビ雲ニ乗ルヤウナ藝當ガ出來ナイノデアリ
マス、次イデ政府ガ高唱ヲシテ居ラレマス
ル所ノ應急策中ノ最も主要ナモノ即チ土木
事業、農業土木ニ付キマシテ私ハ感ヒヲ
持テ居ル者デアリマス、果シテ政府ガ期

待サレテ居ラレル通りニ、而モ今年ハ年度モ半バツ越サントシテ居ルヤウナ次第デ、僅ニ殘ル七箇月ニ於キマシテ此土木事業費、農業土木費ガ果シテ消化サレルノデアラウカドウカ、果シテ政府ガ聲明サレル通りニ是等ノ金ガ農民ノ懷ニ確實ニ入ルデアラウカト云フコトニ付キマシテハ多大ナル危惧ノ懸念ヲ持ツ者デアリマス、ト申シマスルモノハ從來國々府縣デ土木事業ヲ致シテ居リマスル年來ノ土木ノ狀況其能率工程カラ推算イタシマシテ、私ハ一層其危惧ノ念ヲ深ムル次第デアリマス、私ノ調査スル所ニ依リマス昭和六年ニ於テ全國府縣ノ土木費ハ總額八千六百萬圓デアリマス、而シテソレニ農業土木費ヲ差加ヘマシタナラバ大約一億圓デアラウト思ヒマス、然ルニ府縣ノ從來ノ工程カラ推算イタシテ見マスト云フト、其二割ト云フモノハ工事ガ未完成ニナリマシテ翌年度ニ繰越サレルノガ常習ニナテ居ルノデアリマス、今回ハ從來ヨリモ一層土木費用ガ多イノデアリマシテ、二億六千萬圓、尤モ二億六千萬圓ノ中ニハ他ノ仕事モアリマスガ、大半ハ土木事業、農業土木ガ占メテ居ルノデアリマスガ、ソレニ平年度ニ於ケル所ノ土木費ヲ差加ヘマシタナラバ恐ラク三億圓程度ニ達スルデアラウト思ハレルノデアリマスガ、之ヲ從來ノ府縣ノ土木ノ事業ノ能率ノ推移ノ上カラ考ヘテ見マスト云フトナカノ二割ヤ三割デハ落著マイカト私ハ思フノデアリマス、實ハ最近私ガ手ニ入レマシタ埼玉縣ノ、是ハ公文書デアリマスガ、昭和四年度、昭和五年度、昭和六年度三箇年度ノ土木事業費、用排水路改良改修、之ニ對スル豫算額ト、決算額ト、不用切捨額ト、事業繰越額ト統計ヲ手ニ入レテ居リマスガ、是デ見マスト云フト、昭和六年度ノ如キハ、數字ハ御迷惑ダカラ差控ヘマスガ、要シマスルニ豫算額ニ對シマシテ五割強ト云フモノハ事業送りニナテ居リマス、土木事業ニ付

キマシテハ……用排水路改良改修費ニ付テハ、同様豫算額ニ對シマシテ四割以上事業繰越ニナルコトニナテ居ルノデアリマス、尙又はハ少シ御迷惑カモ存ジマセスケレドモ、新聞ノ切抜ニ、昭和七年八月十九日ノ報知新聞ノ記事ニ、是ハ政友會ニ於テ三土鐵相ガ御説明ニナタタニ對スル島田顧問ガソレニ對スル御問答ガアツタ記事デアリマス、其極ク肝腎ナ所ヲ讀ムゲマスト云フト、島田顧問ノ申サレタコトノ要旨ハ、要スルニ政府ハ時局匡救ニ對スル誠意ト力トガアルカドウカ、少クトモ非常時局救済ニ對シテ三箇年計畫ヲ以テ臨ム如キハ吾人ハ絶對ニ承服出來ナイ、斯ウ云フ問ニ對シテ、鐵相ノ御答ノ要旨ハ「時局匡救政策トシテ一年度ニ多額ノ金ヲ出シテ次年度ニ出サスコトハ後ノ影響ガ惡イ、マタ著手スベキ事業等モ考ヘル必要ガアルカラ、七年度ダケデモ使ヒコナスコトハ容易デハナイト思フ、少シク御遠慮ニナテ居リマスガ「容易デハナイト思フ」ト斯ウ申サレテ居リマス、其アトニ持テ來マシテ、島田顧問ノ問ニ、前ハ略シマスガ「地方ノ窮狀ハ今日明日ニ差シ迫テ居ル焦眉ノ急デアッデ、決議案ノ趣旨モコノ點ニ存シ、直ニ對策ヲ立テ、救済ノ實ヲ擧ゲネバナラヌ」ト云フ問ニ對シ、三土鐵相ノ御答ハ「七年度デモナルベク早く著手スル考ヘデ政府ハ取急イデキル、七年度ノ計畫ハ七年度中ニ消化シ切レヌ程デアアル、閣僚自身サヘモ危ブンデ居ラレルノデアリマス、尙又はハ先ツ府縣ニ於ケル所ノ工程ノ是迄ノ例ヲ申上ゲタノデアリマスルガ、尙ホ土木事業ノ性質カラ言フテ見マシテモ、サウナカノ手、取り早ク消化シテ、金ガ農民ノ懷ニ轉ガリ込ムナント云フコトハ想像ガ出來ナイコトガアルノデアリマス、申上ゲル迄モナク土木事業、殊ニ水利事業ノ如キハ、關係部落町村ノ間ニ於キマシテ、大ナル利害關係アルコト

ハ申ス迄モナイノデアリマス、殊ニ上流地方ト下流地方トニ於キマシテハ、一層其利害ガ懸離レテアルコトハ當然ナコトデアリマス、從ヒマシテ府縣會ニシロ、町村會ニシマシテモ、議決イタサレマシテ後ニ擬テ實施ト云フ曉ニハ、ソコニ多ク場合、議方纏マリマセズデ、在再日子ヲ空過スルト云フコトハ珍シクナイコトデアリマス、又豫算ガ取レマシテモ、實地ノ測量、設計ノ調製等ニハ少カラヌ日ニチヲ要シ、土地ノ買収起工ト云フコトニナリマス迄ニモ、相當ノ日數ガカカルノデアリマス、況シテ起工後ニ於キマシテ何等カ紛擾デモ起リマスト云フト、部落ト部落トノ間ノ紛擾デモ起リマスト云フト、ナカノ其解決ガ持惱ミマシテ、事業ガ停頓スルト云フコトモ、是ハ往々ニ例ノアルコトデアリマス、殊ニ今回ハ土木費額モ巨額デアリマスルシ、殊ニ政府ノ御主義ガ拙速主義デアリマシテ、全國一齊ニ著手サセルト云フヤウナ意氣込デ居ラレルコトデアリマスルカラ、ナカナカ様ナ譯ニハ、御思ヒニナル程ナカナカ抄ラヌト私ハ思フノデアリマス、尙又茲ニ地方ニ於ケル土木事業ニハ、一ツノ限界ガアリマス、其限界ハ何デアアルカト申シマスト、何事ニ依リマセズ仕事ニハ金ト人トガ要シマスルノデアリマスガ、土木事業、農業土木ニ於キマシテモ、同ジク人ト金ガ要スルノデアリマス、豫算ハ取レマシテモ即チ人、即チ土木ノ知識經驗ヲ持チ、其地方ノ實情ニ精通シタ所ノ技術者、其技術者ヲ首班トスル所ノ一ツノ組織ガナケレバ、工事ト云フモノニハ著手ガ出來ナイノデアリマス、何處ノ縣ニヘラシヤイマシテモ、サウ云フヤウナ土木ノ技術ガ何人モ縣廳ニハ轉ガレテ居リマセヌ、況シテ全國ノ町村ニハ左様ナ者ハ殆ド居ラヌト申シテモ宜カラウト思ヒマス、ソレヲ全國ノ各町村迄モ、一齊ニ仕事ヲ拙速ニヤラセヤウト御思ヒニナリマシテモ、先以テサウ云フ人カラシ

テ拵ヘテ掛ラナケレバ仕事ニ著手スルコトガ出來ナイノデアリマス、前申上ゲマシタ理由ノ外ニ、ナカノ此土木事業ノ費用消化ト云フコトハ非常ニ困難デアルト云フコトハ、是ハ省察スルニ餘リアルト私ハ思フデアリマス、尙ホ茲ニ甚ダ皮肉ト思ヒマスケレドモ、政府當局ガ躍起トナテ此土木事業費ヲ高唱サレテ居リマスノニ對シマシテ、地方ノ農民ノ心理ニハソレニ裏切タヤウナ考ヲ持テ居ル者モ無キニシモアラズト思フノデアリマス、又農村ノ實狀ハ、政府ノ御考ヘニナテ居ルコトハ、大ニ違テ居ルコトモアラウト思フノデアリマス、其一ツノ例證トシテ御參考ニ申上ゲマスガ、是ハ都新聞ノ八月二十七日ノ文藝欄デアリマシテ、「農村ト共ニ活キル」ト云フ標題デ、久木今作ト云フ人ガ寄稿シタ文章デアリマス、私未見ノ人デアリマスガ、中ニ百姓ノ言葉、農民ノ言葉ヲ用キテ居リマスカラ、御聽キザラクハアリマセウケレドモ、サウ致シマセヌト情ガ映リマセヌカラ文章ヲ有リノ儘ニ申上ゲマスガ、是ハ久木ト云フ人ノ文章ノ中ニ農民ノ言葉トシテ摘錄シテアルノデアリマス、百姓ニハ田ガ肝心ダベ、救済ダトテ、工事ヤナンカ、チ事ヤヤッタデ、田畑ガオロソカニナテシマッタラシヤウナカベ、百姓ニハ、金ガアツガチ這入ラナクテモ、暮シノツイテクトコガアル、マダノコラヂヤ田畑ヲミツチリヤ、テク方ガ勝ダベエヨ、是ハアトハ久木氏ノ文章ニナテ居リマス「ヨク私ハ云フガ、田モアリ、畑モアリ、山モアリ、遅レテ混合的自給自足の要素ガ、タマノ取殘サレテキルコノ邊ニ帶ノ農民ガ、カウ私ニ今話シ掛ケテモ別ニ不思議トシナイ」云々、ソレカラアトヘ持テ來マシテ是亦農民ノ述懐デアリマスガ、「ココヂヤ、田モ出來メユカラ、畑ニ何デモ陸稻ヲコレカラウント作ツトイタラ、エカベナ、自分デ作ツタモノダケ取ツテ、自分デ喰、テクヤウニシナイト、危

ナイ時勢が、イヨ／＼ヤテ來カモ知ンネ
エド(ソ)、「自分デ作タモノヲ自分デ喰」テ
行テキラレナイ農民ガ多クアルカラ、ソレ
デコノ世ヲ舉ゲテノ農村問題騒ギナノダ
ソノアトガ、「ガ、ソレデドウニカ喰」テ行
カレテキル農民ニモ、ハッキリト、今コソ
喰テ行ク以外ノモノマデ、汗水タラシテ
作テ、丸／＼手間損ニナル馬鹿々々シサ
ガ、一村、一郡、一縣ノ境ヲ越エテ眞劍ニ
認識セラレ始メテ來タ、農民ガ手ヲコマヌ
ク時ガ、目睫ノ間ニ迫テ來テキナイト云
ヘナイコトガナイ、マダアトモアリマス
ガ、此久木ト云フ人ガ農民ト話シテ居ル
間ノ斯ウ云フヤウナ所懷ヲ、文章ニ書イテ
都新聞ニ寄セタノデアリマス、斯ウ見マス
ト云フト、農民ノ心理ニハ土工ニ行クコト
リ好マナイモノモアル、又如何ニ農村ガ今
日以上……若シ此農村ノ根本的禍ノ根ヲ
取テヤラナイト云フト、農民ガ農業ト云フ
コトニス／＼カリ愛相ヲツカシテシマッテ、サ
ウシテ鉄ヲ手カラ離スト云フヤウナ時代ガ
若シ來マシタナラバ、洵ニ是ハ由々シキコト
デアラウト私ハ思フノデアリマス、ソレニ
付キマシテモ政府當局ガ、農村ノ禍根トモ
申スベキ負擔ノ輕減トカ、負債ノ整理トカ、
或ハ米、蠶絲ニ對スル所ノ對策ヲ何故此臨
時議會ニ其中ニ一ツデモ宜カッタガ御出シ
ニナラナイカト云フコトハ、遺憾至極ニ返
ス返スモ考ヘルノデアリマス、喰ベラレタ
クナツタ所ノ農業……農民ハドウシテ行ク
デアリマセウ、腕ノ強イ者ハ土方ノ群
ニ這入リマセウガ、氣イ弱イ者ハ「ルムベ
ン」ニモナレナイデアラウト思ヒマス、落
著ク所ハ親子心中カ何カノ仲間ニ這入ル、
ソレデナキレバ生キタカ死シタカ分ラナイ
ヤウナ失踪者トナルデアラウト思ヒマス、
兎ニモ角ニモ爲政者タルモノハ、農村ノ窮狀
ヲバ認識サレマシテ、サウシテ適宜ナ對策
ヲ早ク御立テニナラヌトイカヌト思ヒマ
ス、冬送リト云フヤウナ考ヲ最初カラ御持

チニナルト云フヤウナ事自體ガ、私ハ甚ダ
御宜シクナイ御心持デアッタラウト思フノ
デアリマス、尙ホ是ニ付キマシテ私ハ最モ
憂フベキ所ノ事態ヲ想像シテ居リマス、ト
申シマスルモノハ、此全國一齊ニアリマス
大規模ノ土木事業ニ關聯イタシマシテ、殊
ニ今同ノハ拙速のニヤラレト云フコトデ
アリマスルカラ、其間監督ノ不十分ト云フ
ヤウナ所カラシテ、色ニナ情弊ガ私ハ頻發
シナイカト云フコトヲ恐レルノデアリマス
、其第一ハ黨弊ガ跋扈跳梁スルト云フコ
トデアリマス、即チ大規模ノ此土木ヲバ
好餌ト致シマシテ、之ヲ利用シテ自己ノ黨
勢ヲ擴張スル爲ニ示威運動ガ起リ、ソレガ
爲ニ府縣自治體ニ於キマシテ、一町ヲ舉ゲ
一村ヲ舉ゲ、紛擾ト醜穢ノ極ニ陥ルト云フ
コトガナイトモ申サレヌト思フノデアリマ
ス、現ニ本年八月二十五日ノ秋田魁新聞ノ
記事ニ、「救農土木ニ町村ノ示威運動、
不急ノ路線ノ申請、嚴重監督ガ必要
ダ」ト云フ見出しデ明春行ハレル所ノ町
村會議員ノ改選ヲ控ヘマシテ、此土木
事業ノ計畫ニ拔目ナク割込マウトシテ
居ルヤウナ示威運動ノ記事ガ出テ居ルノデ
アリマス、論ヨリ證據デアリマス、尙ホ斯
ウ云フヤウナ今御執行サレヤウト云フヤウ
ナ大規模ノ事業デアリマセヌデモ、平素月並
ノ土木事業ニモ、此示威運動、醜聞ト云フ
モノハ、附纏フモノデアリマス、極ク耳新
シイコトヲ申上ゲマスレバ、昭和七年八月
三十一日ノ中外商業ノタリニ、巢鴨町ノ尾
久町ニ於キマシテ、矢張り此土木事業ニ絡
ンデ醜聞ガ漏洩シテ居リマス、巢鴨町ノ方
ハ下水道ニ絡マシテ、五九千圓ノ功勞金分配
事件、尾久町ノ方ハ水道工事ニ絡マシテ、
ノ不正分配事件、同ジク土木事業ニ關聯シ
テ起ツタ所ノ醜聞デアリマス、斯ウ云フヤウ
ナ五萬六千圓ノ金ト違ヒマシテ、何億、何千
萬ト云フ土木事業ガ一齊ニ全國ニ行ハレル
ノデアリマスカラ、而モソレガ拙速ニテキ

パキ早ク著手シロト云フ政府ノ御掛聲デア
リマスルカラ、ナカ／＼縣知事ヤナンカノ
監督ノ眼ノ届カナイ中ニ、ド／＼工程ガ
進ムト云フヤウナ所カラ、斯ウ云フヤウナ
黨弊ガ起テ來ルト云フコトハ無イトモ申
サレヌト思フノデアリマス、尙又、能ク此
土木事業ニ附纏フ所ノ地方ニ於ケル所謂羽
織「ゴロ」、所謂中間ニ立ッテ此金ヲ搾取ス
ル所ノ者ガ横行スルト云フコトモ、是亦有
ルト云フコトハ、今申上ゲタ通りデアリマ
ス、尙又工事ノ最初ノ設計ノ不良ナ所カラ
シテ、出來上ツタ後ニ工事ガ甚ダ不完成、不
完全デアリマシテ、ソレガ爲ニ地方民ガ、
工事ハ出來タケレドモ非常ナ不便ヲ感ズル
ト云フヤウナコトガ無イトモ申サレヌト思
フノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、
是ハ餘程政府當局、府縣當局ニ於カレマシ
テ、十分ナル所ノ監督ト周到ナル用意ヲ以
テ御臨ミニナラヌト云フト、是等ノ醜聞ヤ
紛擾ガ頻發スルト云フコトモ無イト云フコ
トハ、臺閣諸公ト雖モ勇敢ニ保證ハサレマ
イト私ハ思フノデアリマス、此内閣ハ黨弊
ノ打開、政界ノ淨化ヲ以テ「モットー」トセ
ラレマシタ内閣デアリマスルガ、其内閣ノ
御施設ノ下ニ於キマシテ、此應急費ノ問題
カラシテ、地方ニ斯様ナ紛擾問題、收賄問
題、示威運動ガ起リ、ソレガ爲ニ農民ノ思
想ニ惡影響ヲ及ボスト云フコトガ無イトモ
申サレヌトモカラシテ、此點ニ付キマシテ
ハ、政府當局ニ於キマシテハ十分ナル御留
意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、最後ニ申
上ゲタイコトハ、今度ノ時局匡救案ニ付キ
マシテ、總理大臣始メ各閣僚、ドナタモ農
村教育ニ付キマシテ一言半句モ仰セラレテ
ナイコトデアリマス、今回ノ時局匡救ハ、
無論農村ノ……農民バカリデハアリマセ
ヌ、アリマセヌガ稍、重點ハ其處ニアルモ
ノト想察シテ居リマスルガ、村農ヲ救済ス
ルニ付キマシテ、政府ハ覺束ナイナガラ兎

ニ角物質的ノ施設ヲバナサルベク、豫算ヲ
組立テラレテアリマスケレドモ、農村ノ風
紀、農民ノ教育ト云フ上ニ付キマシテノ精
神の施設ト云フモノニ付キマシテハ、何
等豫算ノ中ニ見出スコトハ出來ナイノデア
リマス、私ハ思ヒマス、農村ヲ救済スルニ
付キマシテハ、物質的施設ト精神の施設
ト共ニ歩ンデ行カナケレバ、其效果ヲ舉ゲ
ルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、農
村ノ疲弊ガ斯ノ如ク困憊狀態ニ陥ツタト云
フコトニ付キマシテ、其原因ヲ數ヘマシタナ
ラバ、多々アルデアリマセウ、併ナガラ其
原因ノ一ツトシテ、農村教育ガ壺ニ嵌
居ラヌト云フコトモ其原因ノ一ツデアラウ
ト、私ハ深ク信ジテ疑ハナイノデアリマ
ス、皆サンモ地方へ行ッテ御覽ニナレバ直
グ御分リニナルコトデアリマスケレドモ、
地方ノ小學校、補習學校、其他農學校、中
學校、高等女學校ニ於キマシテモ、農村ノ
實生活ニ觸レナイヤウナ、形式一點張りノ
教育方法ヲシテ居ルノデアリマス、農業精
神トシテ最モ尊重シナケレバナラヌ、斯ウ
シテ行カナケレバナラヌ所ノ勤儉力行ヲ中
心トシタル所ノ硬教育ト云フモノガ忘レラ
レシマヒマシテ、興味本位ノ軟教育ガ行
ハレテ居ルノデアリマス、農村ノ疲弊困憊、
農村教育ノ不振ガ此點ニアルト云フコト
ハ、識者ノ既ニ夙ニ認メテ居ル所デアリマ
シテ、何モ私ガ新發見ヲ致シテ居ル事柄デ
ハナイノデアリマス、唯其コトガ閑却サレ
テ居ルト云フコトガ甚ダ宜シクナイト思フ
ノデアリマス、地方ニ行ッテ見マスト云フ
ト、學校ノ校舍或ハ其運動場其他ガ、其所
在ノ町村ノ貧弱サニ較ベテ見マシテ、立派
ナル所ノ宏壯サヲ持ッテ居ルノデアリマス、
而モ各村ガ自己ノ村ノ學校ノ建物、運動場其
他ノ施設ガ華美壯大デアルト云フコトヲ競爭
シ合ッテ居ルノデアリマス、而モ其學校ニ從
事シテ居ル所ノ先生方ノ心得方ハドウデア
ラウカト申シマスルト、多クノ先生ノ中ニ

ハ、誠ニ眞面目ニ農村ノコトヲ考ヘ、農業ノコト、農民ノコトヲ考ヘテ眞面目ニ教鞭ヲ執リテ居ル方モナイデアアリマセヌ、併ナガラ其多クノ教員達ハ、農村ノ實情ヲ理解シナイ、又理解シヤウトモ思ハナイ、農民ノ心理ニ共鳴モシナイ、農村ガ更生シテ行クニハ、自己ノ持テ居ル所ノ教鞭ノ振り方ニ依テドウデモナルト云フコトニ付テハ、眞面目ナル考ヲ持テ居ル者ハ少イノデアリマス、從テ熱心努力ニ乏シイ教員ガ多イノデアリマス、故ニ學校ノ所在地ニ在ル産業組合或ハ農會其他ノ農業團體ト、此學校ノ教員達ノ間ニ何等ノ聯絡關係モナイト云フ状態ニナテ居ル所ガ多イノデアリマス、農村ガ如何様ニ荒廢シヤウガ、左様ナコトハ無關心ナ所ノ教員ガ多イノデアリマス、デアリマスルカラシテ小學校ナドヘ參リマシテモ、前申上ゲル通りニ形式一點張りデアリマシテ、少シモ其部落郷土ト云フモノニ即シテ居ラナイ教育ヲシテ居ルノデアリマス、高等女學校ニ於キマシテモ同様デ、全ク其農村ノ實際ト懸ケ離レタ教育ヲヤ、テ居ルノデアリマス、農學校ニ於キマシテハ一層甚シイノデアリマシテ、農學校ノ名ニ背ク位デアリマシテ、農業ノ實地演習ト申シタ所デ、本當ノ箱庭見タヤウナ所デアリマシテ、其收穫シタ所ノ農產物ノ値段ガ、肥料ノ値段ヲモ賄ヘナイト云フヤウナ貧弱ナル實地演習ヲシテ居ルノデアリマス、而モ驚クベキコトハ夏期ニ於キマシテ、此農學校ノ多クノモノガ暑中休暇ヲスルコトデアリマス、農業ト云フモノハ此夏期ガ一番農繁ノ時期ト申シマシテ、農民ガ粒々ノ汗ヲ絞テ、農產物ヲ愛護スル爲ニ、朝ニ星ヲ戴イテ出デ、夕ニ月ヲ負ウテ歸ル、粒々辛苦ヲ爲スベキ時デアリマスカラ、農學校ノ學業ヲ修得スル所ノ書生ニ取テハ、最も適當ナル、恰好ナル教育時期デアアルノデアリマス、泥濘ナル水田ノ中ニ立チ、草イキレト戰テ畑ノ草ヲ探ルト云

フヤウナコトハ、天ガ與ヘタル所ノ良キ實地演習デアアルノデアリマス、然ルニ農學校ハ暑中ニナレバ閉鎖シテ、暑中休暇ト云フコトニナルノデアリマス、言語道斷ト云ハナクテ何デアリマセウカ、斯様ナル今日ノ農村教育ノ状態ヲ其儘ニ看過シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、農村ノ更生ト云フモノハ期シ得ラレマセヌ、古イ孟子ノ言葉デアリマスケレドモ、泰山ヲ挾シテ北海ヲ超スノ類デアリマス、以上申述ベマシタ如クニ、今回御出シナリマシタ時局匡救豫算各案ハ、閣僚諸公ガ苦心努力ノ結果御出シナタモノデアラウト、一應ハ敬意ハ表シマスケレドモ、其内容ヲ検討イタシテ見マスト云フト、政府ガ御考ヘニナルヤウナ效果ハ先ヅ學ガラスト私ハ思フノデアリマス、學ガラストナカッタラドウデアリマセウカ、窮乏ノ底ニ居ル所ノ農民、中小商工業者、無職ノ智識階級者ハ、此政府ニ依テ助け上ゲラレラデアラウト、斯ウ云フ期待ヲシテ居ラコトガ全然裏切ラレラヤウナ次第ニナルノデアリマス、私ハ期待シタコトガ大デアッタダケ、ソレダケ國民ヲシテ失望落膽ノ度ヲ深カラシメルト云フコトニ付キマシテ、國家議會ニ對シテ大ニ深憂ヲ抱クノデアリマス、私ガ豫察シテ……豫想シテ申上ゲマシタコトガ實際ニ當嵌リマセヌデ、政府ノ御出シナリマシタ此時局豫算案ガ著々實效ヲ奏シテ行キマシテ、我ニガ心配シタ所ノモノハ、アレハ杞憂ダッタヨト云フコトニナリマシタナラバ、私ハ非常ニ其幸福ヲ喜ブモノデアアルノデアリマスカ、若モ私ノ推測通りニ、此時局豫算案デハ前申上ゲタ通りニ不十分不徹底ノ甚シキモノデアリマシテ、而モ政府ガ是ハト云フテ大ニ力マレテ居ル所ノ土木事業、農業土木ニ付キマシテモ、先程申上ゲマシタ通りニ害ガ發生スレバコソ、ナカク政府ノ考ヘテ居ル通りニハ、一通リノ御心構デハ達成スルコトハ出來ナイノデアラウト

深く懸念イタシテ居ルノデアリマス、若シ此懸念通りニ適中イタシマシタナラバ、抑、此内閣ハ何ノ爲ニ生レテ來タノデアリマセウカ、此内閣ハ何ノ爲ニ存在スルノデアリマセウカト云フコトニ付キマシテ、國民ガ大ニ疑ヲ挾マナケレバナラヌヤウナ次第デアアルコトヲ私ハ甚ダ政局ノ上ニ於テ憂フルモノデアリマスカラ、何卒私ノ質問スル事項ニ付キマシテハ、抽象的デナク、相成ルベクハ具體的ニ、率直明快ナル御答辯ニ接シタイト思フノデアリマス、御便宜ノ爲ニ御耳ニ達シヤウト思ヒマス、是ハ主ニ農相ニ對スル部分デアリマスガ、米穀統制ニ就テ、米穀統制案ハ如何ナル時期ニ提案セラレ、政府ノ心構ナルヤ、第二ハ蠶絲對策ニ就テ、一、養蠶獎勵ノ方針如何、二、窮迫ノ底ニアル多數ノ營業製蠶並ニ組合製蠶ニ對スル對策如何、三、生絲問屋並ニ輸出商ノ統制ニ對スル革新策如何、是ハ首相、藏相、農相ニ對スル部分デアリマス、御都合デ國務大臣トシテドナタカラデモ御答ニ接スレバ宜シイノデアリマス、第三ハ農家負債整理ニ就テ、農家負債整理ノ目的ヲ達シ得ベキ具體案ノ研究ガ或ル程度マデ出來テ居ルナラバ、其進行ノ狀況ニ關シ御答辯アリタシ、若シ其程度ニ進ミ居ラナイナラバ、如何ナル時期ニ提案シ得ル見込ナリヤ、次ニハ首相、藏相、農相ニ對スル分デアリマス、是モ國務大臣ノ一人カラ御答ニナテ差支ゴザイマセヌ、第四ハ農家ノ負擔輕減ニ就テ、其一ハ政府ハ非常時對策トシテ何故ニ農家負擔ノ輕減並ニ其負擔ノ不公平ヲ矯正スベキ提案ヲナサザリシヤ、二、政府ハ農家負擔ノ輕減並ニ負擔ノ不公平ノ矯正ニ關シ如何ナル時期ニ提案スル意思ナリヤ、次ハ內務大臣ニ對スル分デアリマス、第五、土木事業ノ實行ニ就テ、一、政府ハ是等應急策ノ實施ニ就キ僅ニ七箇月ノ期間内ニ於テ之ヲ完成シ得ル確信ト準備トヲ有

スルヤ否ヤ、二、若シ其確信ト準備トヲ有スルナラバ我々國民ヲシテ信ゼシムルニ足ルベキ其計畫準備ノ内容ヲ明確ニ且具體的ニ説明アリタシ、三、全國各町村ニ行ハル監督指導ハ何人ガ行フノカ、是等土木事業執行ニ依リ「ブローカー」ノ搾取ヲ免レテ農民ノ懷ニ入ラシムルニ適切ナル具體方法ハ如何ニスルヤ、四、黨弊ヲ醸生セシメザルコトヲ保證シ得ルヤ、之ニ對スル措置如何、第六ハ首相、文部大臣ニ對シマスル質疑、是モ御都合デ二人ノ中ドナタカラデモ宜シウゴザイマス、農村教育ノ革新ニ就テ、一、政府ハ農村教育ノ革新ハ現在ノ農村窮乏打開ノ根本策ナリト信ズルヤ否ヤ、二、若シ信ズルトセバ其根本基調ハ如何ナルモノナリヤ、三、中學校、高等女學校、農學校、府縣師範學校ノ教育ヲシテ農村生活ノ實際ニ適セシムル具體的方法如何、是ダケニ付キマシテ御答辯ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、若シ之ニ對シ其當該スル大臣ガ居ラレマセヌケレバ、他ノ國務大臣カラ御答辯ニ接スルヤウニ致シタイト思フノデアリマス

（國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル）
○國務大臣（後藤文夫君） 只今前田子爵ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、第一ニ米穀統制ノ案ハ如何ナル時期ニ提案セラルル政府ノ心構ヘデアアルカ、米穀法ニ代ルベキ米穀政策ノ根本ニ關スル企ハ、色々ニ是マデ論議ヲセラレテ居リマス、何レモ非常ナ重要ナ、廣汎ナ、精密ナ組織ヲ要スル問題デアリマス、如何ナル案ガ現在ノ米穀法ニ代テ成立サルベキカト云フコトニ付テハ、先般モ此議場デ御答申上ゲマシタヤウニ、當局ニ於テ折角今調査中デアリマス、是ハ御承知ノコトデアラウト思ヒマス、如何ナル案ヲ得マサルカ、現在ノ米穀法ニ代ルベキ更ニ有力ナ良キ案ガ得ラレルナラバ、成ルベク速ニ議會ニ提出イタシタイト考ヘテ居リマス、

若シ出來マスレバ來ルベキ通常議會ニモ提案イタシタイ積リデ努力シテ、研究ヲ進メタイ考ヘデ居リマス、次ニ蠶絲對策ニ就テト云フ御尋ネデアリマス、其ニツトシテハ、色ミナ中ノ分チ方デ御尋ネモアツタヤウデアリマスルガ、概シテ申シマスレバ、日本ノ蠶絲業ニ或程度ノ統制ガ行ハレナケレバナラヌト云フコトハ、議論ノナイコトデアラウト思ヒマス、實際多數ノ養蠶業者ガ蠶ヲ致シテ居リマス、製絲家、問屋、輸出家、色ミ入り亂レテ此日本ノ全體ノ蠶絲業ガ運轉シテ參テ居ルノデアリマス、其各方面ニ向テソレノ適切ナ統制ノ方法ガ講ゼラレナケレバナラヌノデアリマス、其影響スル所ハ農家ノ生産、農家ノ收支ノ問題ニモ拘リマスシ、又外部ニ向テハ海外貿易、國外市場ニモ影響ヲ及ボスコトデアリトス、是等ノ問題ハ矢張り極メテ利害關係ノ複雑ナ微妙ナモノガアルノデアリマス、今同政府ハ製絲業ノ統制アル方法ヲ行ハウト致シマシテ、製絲業免許制度ニ關スル法案ヲ提出イタシテ居リマス、是モ根本策ノ一ツデアルト申シテ宜シカラウト思フノデアリマス、養蠶ノコトナドニ付キマシテモ、先年蠶絲業組合法ヲ設ケマシテ、養蠶組合等ノ設置ヲ促シテ、此養蠶家ガ共同ノ力、自助ノ適宜統制ト云フモノ、行ハレルヤウニ進メテ行キタイト云フコトデ盡力イタシテ居ル譯デアリマス、更ニ今回ノ應急施設トシテ、桑園ノ改植整理ト云フコトニモ力ヲ致スコトニシテ居リマス、是ハ賃銀ヲ得サセル方法デアルト同時ニ、將來ノ養蠶ノ基本ヲ爲ス桑園ノ生産費ヲ下ゲ、溢リニ桑園ノ面積ガ多クテ、桑ガ餘リ過ギルト云フヤウナコトノナイヤウニ、此桑園ニ依テ自然ニ養蠶ノ方ノ整理統制ガ出來ルヤウニモ致シタイト云フ心カラ參テ居ルノデアリマス、是等ノマダ今後實行スベキ根本的ナ重要ナ蠶絲業ノ問題ニ付キマシテモ、鋭意考究ヲ進メテ居リマス、唯短時日ニ此臨

時議會ヲ目ガケテ御協賛ヲ願フヤウナ準備ノ出來ナカッタコトハ遺憾デアリマスルガ、同時ニ又之ヲ短時日ニ直ニ計畫ラシテ、實行スベキ筋合ノモノデモナイト考ヘタカラデゴザイマス、尙ホ是ハ總理大臣、大藏大臣及私ニ向テノ御尋ネデアリマシタ、私カラ御答ヲ致シマス、農村負債ノ整理、農家負債整理ノ目的ヲ達シ得ベキ具體案ノ研究ガ或程度マデ出來テ居ルナラバ、其進行ノ狀況ヲ知リタイ、若シ其程度ニ進シテ居ラナイナラバ、如何ナル時期ニ提案シ得ル見込アル、此御尋ノ趣旨ガハッキリ分リ兼ねタノデゴザイマスガ、政府ハ農家ノ負債整理ト云フコトハ、唯一箇ノ方法ヲ以テノミ行ヒ得ルモノデアルトハ考ヘテ居リマセヌ、此度ノ豫算ニ現ハレタ諸政策、又法案ヲ以テ御協賛ヲ願フデ居リマスル不動產ノ融資、或ハ産業組合ノ固定貨ノ流動トカ、其他ノコト、此一般ニ資金ガ放出サレ、色ミノ對策關係ニ裕リ生ゼシムル、而シテ是等ガ農家ノ負債ノ整理ニハ相當ニ役立ツデアラウト思フノデアリマス、又一面ニハ行ハレツツアル金利ヲ低クル政策是等モ矢張り實行サレバ負債整理ニ役立ツコトデアラウト思フノデアリマス、尙ホ其外ニ、農家ノ爲ニ負債整理組合ヲ造ラセテ、是ニ依テ農家ガ共同ノ力デ負債ヲ整理スルト云フ方法モ講ジタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、是ニ付キマシテハ、別途法案ヲ以テ御協賛ヲ願フデ居ルヤウナ次第デアリマス

(國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(男爵山本達雄君) 前田子爵ノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ、ソレヲ御答ヘ致シマスル前ニ、少シク或ハ御質問ニ外レルヤウナコトガアルカモ知レマセヌガ御容赦ヲ蒙リマシテ、事情ヲ述ベテサウシテ御質問ニ移リタイト思ヒマス、御承知ノ通り此内閣ガ成立ヲ致シマシテ、直グニ臨時議會ガ始マツノデゴザイマスルガ、其時ニ

於テ今ノ内閣ハ、前内閣ノ臨時議會ノ豫算ヲ殆ド襲略イタシマシテ、ソレデ六月ノ初メニ臨時議會ヲ開キマシテ、皆サンノ協賛ヲ得マシタコトデゴザイマス、其當時ニ於キマシテハ別ニ再ビ臨時議會ヲ起シテ、ドウシヤウト云フヤウナコト迄ニハ至ラテ居ラナカッタ、然ルニ時局ガ段々前ト變化イタシマシテ、衆議院ニ於テハ御承知ノ如ク、農業ノ失業者、或ハ貧困ニ付テ、此困難ノ狀態ヲ見テ、何トカ救済ノ途ヲ執ラナケレバナラヌト云フコトノ意味ニ於テ、容易ナラヌ註文ガアリマシタノデゴザイマス、第一此困難ノ事情ヲ助ケルコト、又金融機關ガ殆ド毀レテ居ルガ故ニ、此疏通ヲ良クシテ圓滿ニスルコト、ドウスウト云フ御承知ノ通り重大ナル註文ガアリマシテ、而モソレヲヒドク逼迫シテ居ルガ故ニ、二箇月以內ニ臨時議會ヲ開クヤウト云フ註文デアリマシテ、此月ノコトニ付キマシテハ、政府ハ同意イタシマセウガ、出來ルダケ早ク臨時議會ヲ開カウト云フコトヲ總理大臣ヨリ答ヘマシテ、ソレカラ今日ノ此問題ノ、即チ諸君ニ協賛ヲ仰グヤウナ案ガ出マシタノデゴザイマス、然ルニ私ノ立場ノ内務ト致シマシテハ、直グニ其當時ニ於キマシテ地方長官ノ更迭ヲ致シマシテ、サウシテ地方長官ヲ招集イタシマシテ、サウシテ地方長官ノ方針ヲ訓示スルト同時ニ、如何ニモ地方ニ於テ困難ナ狀態デアリマスカラ、ソコニ付テ何トカ地方ノ、此困難ヲ救フテ行クヤウナル途ヲ執ラナケレバナラヌ、デ地方長官ト數日色、協議ヲ致シマシテ、サウシテ内務ノ此土木事業ヲ始め、ソレノ實際ノ様子ヲ承ハリマシテ決シタコトデアリマス、所デ其時ニドウ云フコトガ必要デアリカト申シマス、如何ニモ地方ノ、此農村漁村ヲ始め困難ノ狀態ガ到ル所激シノデアリマシテ、第一ニモウ融通ガ止マテ、僅カノ十錢、二十錢ノ金デスラモ現金ヲ手ニ入レルコトガ困難デアルト云フ狀態デア

ル、而シテ一方ニハシヤウニモ仕事ガタイ、ソレデ以テ失業ノ農家ガ仕事モナクシテ苦ンデ居ルト云フ狀態デアルカラ、何トカ此農家漁村ニ向テ、仕事ヲ與ヘルト云フコトガ一番必要デアル、而シテ今ノ、取敢ズ金ヲ撒イテ、サウシテ現金ガ地方ニ廻ルヤウナコトニナラヌト、此儘到レバ容易ナラヌコトニナルゾト云フノガ、其時ノ大體ニ付テノ論議デアリマシタ、私共ハソレヲ尤モナリトシテ、如何ナルモノヲスレバ金ガ農家ノ手ニ落ち融通モ幾分カ付イテ來テ、又仕事モ出來テ來ル、是ガ何ヨリモ必要デアルト思ヒマシテ決シマシタコトハ、此町村ノ土木事業即チ道路、河川、又港灣、砂防工事ト云フヤウナルコトニ選ビマシタノデアリマスガ、ソレニ付キマシテモデス、唯是マデノ國有の……大キナ仕事ヲシマス、唯金ガ掛テ、其上ニ又地方ニ於テ金融ノ偏在スル虞ガアルノデゴザイマスカラシテ、此度ノコトハ今申述べルヤウナ事情デアリマスカラ、成ルダケ普遍的ニ一體ニ廻ルヤウナル途ヲ執リタイモノデアル、ソコデ申シマス、ソレト云フ、是マデノ縣ノ事業、或ハ國ガ直轄のニヤル仕事ノ如キモノハ、ドウモ町村ノ困難ヲ救フコトニ付キマシテハ、大分遠イノデアリマス、ソコデ御承知ノ如ク政府ト致シマシテハ、此縣ノ仕事、又國有ノ如キモノニ付テハ政府ガ直ニヤル、或ハ縣有ニ付テハ其半額ヲ國庫ノ補助トシテ支給スルヤウナルコトガアリマシタガ、町村ノ道路河川ノ如キモノニ至リマシテハ、是マデ何等ノ國庫ヨリ補助ヲ致シテ居ラナイノデアリマシタ、其町村ノ力ニ依テ爲スコトニナラ、テ居ルノデゴザイマス、此度ノコトハドウシテモソレデハ目的ヲ達セラレヌ故ニ、町村ノ事業ヲ十分ニ獎勵シテ、其處ニ金ヲ落チルヤウナコトニシ、又農家……成ルダケ其地方ノ人ヲ使フヤウナル途ニシタイ、ソレニ付キマシテハ是マデ國庫ヨリ補助ハ何等モ致シテ居リ

マセス、此町村ノ事業ニ向テ相當ナル補償ヲ與ベテ、サウシテ之ヲ獎勵シテヤルト云フコトガ必要ナリトシテ、ソレデ其町村ノ事業ニハ四分ノ三國庫デ負擔スルコトニ致シマシタ、アトノ四分ノ一ニ向テハ、町村ノ負擔デアリマスガ、當分ノ間低利資金ヲ以テ融通ラシテ、三箇年ノ間ハ利子モ政府ヨリ補給スルヤウナコトニ致シテ、サウシテ此町村ノ仕事ヲ成ルタケ進メタイ、斯ウ云フコトニ力ヲ用キタ次第デアリマス、ソコデ内務ノ土木事業ノ合計ニ於キマシテ七千四百萬ニナリテ居リマスガ、其七千四百萬ノ内半分以上ハ此町村ノ道路、或ハ河川、砂防工事ト云フ如キモノニ流レテ行クヤウナコトニシテ、而シテソレヲ各府縣ニ、其事情ニ依テ公平ニ割當テ行カウト云フ意味ニ於テ、色々地方長官ト協議ヲ致シマシタ、併シ此町村ノ仕事ヲ從前ノ如ク縣デ調ベマシテ、サウシテ其金高ヲ定メ、色々ノ手續ヲ盡シテ、而シテ内務大藏ニ其意見ヲ述ベテ、尙ホ是デ調ベテ而シテ取掛カルヤウナコトヲ致シマス、容易ナラヌ日子ガ掛カルノデアリマス、而シテ御承知ノ如ク此北海道、東北地方ノ如キハ、早ク降雪ノ爲ニ仕事モ出來ナイヤウナルコトガ起キマシテ、縦ンバ今必要ナル救済ヲシテモ、時ガ経テ來レバ何等ノ效能モナイヤウナコトニナルカラ、成ルタケ早く、一日モ早く定マツタモノナラ手ヲ著ケナケレバナラヌコトニナリマス、ソコデ臨時議會ニ案ヲ立テマスル上ノ……前ニ於テ萬一是ガ兩院ノ御協賛ヲ得テ通過スルナラバ、直ニ仕事ニ著手スルコトニシタイ、ソレニ付キマシテハ能ク大藏内務ノ兩省ニ言フテ、サウシテ平素ノ手續ノ如キモノハドウモ事情省クヨリ外ニ早クスル途ハナイノデゴザイマスカラシテ、總テ是ハ地方長官ノ意見ヲ重ンジテ、サウシテ謂ハバ其町村ノ事業ハ各府縣ノ知事ノ意見ニ任セネテ、サウシテ全責任ヲ持タシテヤラセルト云フコトガ、却

テ適切ナルコトデアラウト云フコトデ、其手續ヲ省イテ、御協賛ヲ得タノハ一日モ早ク手ヲ著ケルヤウニ、銘々ノ各府縣ノ方ニハ訓示ヲシテアル次第デアリマシテ、ソコデ斯ウナリテ見マス、只今前田子爵ノ御質問ニアリマス如ク、ドウモ今マデ町村ニ至リマシテハ、直接ニサウ云フコトヲスル經驗ハ乏シイノデアリマス、併シ是モ亦請負工事ニ委ネルヤウナルコトガアルト、或ハ又政府ノ目的ノ如ク其土地ニ金ガ散ラデ、サウシテ其土地ノ農家ヲ潤ホスト云フヤウナルコトガ場合ニ依テハ困難ニナルコトデアリマスカラシテ、是ハ縣ニ委ネテ、縣ハ又町村ニ重モニ委ネテ、サウシテ其モノニ於テハ、其土地ノ農家ヲ、ソレハ失業ノ困難ヲシテ居ルモノニ成ルタケ用キテ、他府縣カラ移動ノ勞働者ノ如キモノハ成ルベク避ケルコトニシ、サウシテ其仕事ハ請負工事ニ委ネズシテ、先ヅ直轄シテ町村ガ總掛リデヤルト云フ位ナ精神デ是ハヤラナケレバイカヌ、デソコニ大體ノコトヲ定メマシテ、併シ其土地ニ於テ矢張り専門ノ人ヲ用キル方ガ經濟デ、便利デアラウト云フコトガアルナラバ、是ハ又唯素人委セデ能率ノ舉ラヌヤウナコトヲスレバ、ソレコソ又却テ國家ノ爲ニ不利ナコトニナルカラシテ、ソコハ取捨選擇ハ地方官ニ委シテ、サウシテ地方官ガ十分ニ自身ノ縣下ノモノヲ監督スルト云フコトニ大體ヤテ行クヲ宜カラウト云フヤウナルコトデ、全體ノ方針ヲ執テ居ルノデゴザイマス、併シドウモ物ハ慣レナイ者ガアリマス、或ハ却テ不經濟ニナルト云フヤウナル虞モナイデアリマセヌ、ソレガ故ニ絕對ニ其町村ニ直接ニヤレト云フヨリモ、場合ニ依レバ土木請負師ガ取テヤツタ方ガ便利デアツテ、尙ホ效果ガアルト云フヤウナコトガアルナラバ、ソレハ強ヒテ避ケズシテサウシテヤルコトニ相成テ居ルノデゴザイマス、ソコデ御氣遣ヒノア

ル如ク、是ハナカノ容易ナラヌ仕事ト心得マス、是デハ衆議院ナド僅ニ七千四百萬位ナコトヲ以テ地方ニ行ク所ガ、何ボニモナラヌデヤナイカト云フヤウナルコトモ色々言ハレマシタガ、私等ノ考デアリマス、此内務バカリノ土木工事ニ於テ、七千四百萬以上ノモノヲ七箇月ノ間ニ之ヲ皆盡シテ行カウト云フコトハ、隨分骨ノ折レルコトデアリマス、ソレトモ何カ巧遅ヨリモ拙速ヲ尊ブ、故ニ少シハ拙クテモ早クヤレト云フ如キコトガアレバ、又物ニ依テテ來マセウケレドモ、内務ノ地方官ニ向テ申シテ居リマスコトハ、成ルタケ早クヤラナケレバナラヌ、一日モ早く手ヲ著ケテ以テ、サウシテ極ク綿密ニ初メカラ手ヲ掛ケテヤテ、拙速ヲ尊ブニ非ズシテ、誠ニ精細ニ調ベテサウシテ早クヤレト云フ注文デゴザイマスカラシテ、隨分謂ハバムヅカシイ注文デアリマス、併ナガラ、斯ノ如キコトガ後デ斯ウ云フ不利ガアル、斯ウ云フ無駄ナコトヲシタ、ドウ斯ウト云フコトガ能ク起リ易イコトデアリマスカラシテ、ソコハ十分注意ヲ以テ行カナケレバナリマセヌ故ニ、地方官ヲ呼ビマシタ其他ニ、又ツイ二週間程前デアリマシタガ、地方ノ内務部長又土木課長、土木技師、サウ云フヤウナ者ヲ亦百數十名招集イタシマシテ、綿密ニサウ云ウヤウナコトニ付キマシテ、打合セモ當局者デ致シテ、何シロ此處ハ銘々ノ力量ノ腕試シデアル、一齊ニヤルヤウナコトデアルカラシテ、全責任ヲ以テ、サウシテ他日非難ヲ受ケ易イコトデアルガ、其事ニ付テ一點ノ非難ガ起ラナイヤウニ、皆ヤテ賞ヒタイト云フコトヲ、吳、事項ヲ打合セルト同時ニ申シテ居タコトデアリマス、尙ホ其上又、是ガ縱シ思フ通りニ行クト見マシテモ、唯政府ガ時局ノ匡救トシテ金ヲ撒クヤウナコトガアリマシテ、萬一其

金ガ落チタトシテ、亂雜ニ之ヲ使テ、又後ガ無クナラヌレト云フヤウナコトガ起レバ、是ハ又容易ナラヌコトデアリマス、唯、今日ハ時局ノ變遷ニ依テ米モ安クナリ、絲モ安クナリ、農家ハ如何ニモ氣ノ毒デアルト云フコトデ、自身ノ唯心得カラバ大イニ與テ居リマスカラ、是ハ國家トシテハ十分同情シナケレバナラヌ、故ニ今申ス如キコトヲスルガ、併シソレニ安ンジテ行クヤウナコトガアテハ大變ダ、ソコデ金ノ落チナイ前カラ此自力更生ノ途ヲ十分ニ吹込シテ、サウシテ行キタイト云フ心得デアリマシテ、議會アタリニ於キマシテ、自力更生自力更生ト言フガ、自力デ行カウニモドウシヤウニモ仕事ガナイデヤナイカ、或ハ自身ノ食ニモアリ付ケヌト云フヤウナ者ガ、ドウシテ自力デ行ケルカト云フヤウナコトデ、大分非難ヲ受ケマシタケレドモ、私等ノ考ヘトシテハ、今ハイケヌガ、是カラ後ニ至テ段々金ガ廻テ來テ、是ナラバト安ンズルト云フヤウナ時代ガ必ズ來ルト思フノデゴザイマスカラ、其時ニ於テ、何卒再ビサウ云フコトノナイヤウニ、自省、自奮、自勵シテ進ンデ行クヤウナ、精神的ノ又空氣モ十分ニ獎勵シタイト思ヒマシテ、此十萬圓ノ豫算ヲ頂戴シヤウト思フテ出シタヤウナコトデアリマス、第一ノ政府ハ應急策ノ施設ニ付テ、僅ニ七箇月ノ期間云々ト云フコトハ、今申述ベタコトニ於テ、御承知ニナラウカト思ヒマス、ソレカラ確信ト準備トヲ有スルナラバ、我々國民ヲシテ信ゼシムルニ足レキ其準備ノ内容ヲト云フコトデアリマシテ、是モ重モ今申ス通りニ地方官ヲ主トシ、サウシテ町村ニ委ネマシテ、サウシテ其上ヲ内務ニ於テ、意、之ガ通過イタシマシタナラバ、十分ニ地方ニ係リノ者ヲ出シテサウシテ監督ラシテ、地方官ヲ勵マシテヤラセルト云フ心得ニナリテ居リマス、ソレカラ第三ノ町村ニ行ハル其直營工事

ノ設計ハ何人ガヤルカ、監督指導ハドウ云フコトヲスルカト云フ、此間ニ付キマシテモ大概今申上ゲタコトニ含マレテ居ルカト考ヘマス、マア大體ニ付キマシテ御答ヲ致シテ置キマス

〔國務大臣龜山一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(龜山一郎君) 前田子爵ノ御質問ニ對シマシテ御答ヲ致シマス、第一ガ政府ハ農村教育ノ革新ハ、現在ノ農村窮乏之打開ノ根本策ト考ヘルカドウカト云フ御質問デゴザイマシタ、教育ハ總テノ方面ニ於キマシテ根本ノ對策ト考ヘテ居リマス、農村教育ガ農村窮乏ノ打開ノ根本策タルコトハ御同感デゴザイマス、第二ノ若シ信ズルトセバ其根本基調、是ガ何處ニ在ルカト云フ御質問デゴザイマス、農村教育ノ根本基調ハ之ヲ郷土のニスル、之ヲ地方のニスル、之ヲ實際のニスルト云フコトニ在ルト考ヘテ居リマス、先刻モ御演說中ニ農業學校ガ特ニ實際のデナイト云フ御話ガゴザイマシタ、斯様ナ非難ハ時ニ聞ク所デアリマス、農業學校ノ卒業生ガ町村役場ノ吏員ニナルコトガ目的ダト云フヤウナコトヲ能ク人ガ申スノデアリマシテ、此弊風ハ打開シテ行カナクテハナラナイト考ヘテ居リマス、愛知縣立ノ種畜場ノヤウナモノハ、非常ニ郷土的デアリマシテ、私ハ之ヲ見學シマシテ、斯様ナヤリ方ガ一般的ニナリマシタナラバ、甚ダ宜イコト、考ヘテ居リマス、此間ノ地方長官會議ニ於キマシテモ、斯ウ云フヤウナ趣旨デ訓示ヲ致シタ次第デアリマス、第三ノ中學校、高等女學校、農學校、府縣ノ師範學校ノ教育ヲシテ、農村生活ノ實際ニ適セシムル具體的ノ方策ハドウカト云フ御質問デゴザイマス、具體的ノ方策ハ是ハ應急的ニヤツテ行キマス、ソレカラ其根本的ニヤツテ行キマス、キマス、ニハドウシテモ是等ノ學校ノ教員トナル者ノ教員ノ養成カラヤツテ行カナク

レバナラナイトデアリマシテ、其事ニ付キマシテハ文部省ニ於テ昨今考ヘテ居リマス、應急的ト言ヒマス、直ニ之ヲ行テ行キマス、具體的ノ方法ハ、或ハ訓示デアルトカ、或ハ通牒デアルトカ、學校ヲサウ云フ方ニ指導スルコトニ付テ、色ニノ方法ヲ講ズルヨリ致方ガナイト思ヒマス、此間ノ臨時議會ニ於キマシテ、實業教育ノ補助費トシテ十五萬圓増額シテ戴イタノデアリマス、是等ノ費用ハ凡テ教育ヲ實際のニスルト云フコトノミニ使フコトニナツテ居リマス、是等モ具體的ノ方法ト云フ中ニ數ヘラレルカト思ヒマス、詳シイコトハ又他日御答イタシマス積リデアリマス

○議長(公爵川家達君) 休憩ヲ致シマス、午後一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後一時三十分ヨリ開會イタシマス、午後一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後一時三十分ヨリ開會イタシマス、午後一時三十分ヨリ開會イタシマス

○副議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

○子爵前田利定君 簡單デゴザイマスカラ此席デ御許シテ願ヒマス

○副議長(公爵近衛文麿君) 宜シウゴザイマス

○子爵前田利定君 私ハ午前ニ各國務大臣ニ對シマシテ質疑ヲ致シマシタガ、更ニ再ビ質疑ヲ繰返スノデハゴザイマセヌガ、二三大臣ヨリ御答辯ガゴザイマシタコトニ對シマシテ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、實ハ閣僚ノ中ニハ御老齡ノ方モ御出デデアリマスカラ、便宜上質問要項ヲ認メマシテ前以テ差上ゲテ置キマシテ、私ノ質問筋ノ爲差上ゲテ置イタ譯デゴザイマス、然ル所後藤農相ノ御答辯ハ農林所管並ニ大藏所管ノ問題ヲ併セラレマシテ國務大臣トシテノ御答辯ガゴザイマシタガ、私ノ御質疑イタシマシタ點ニハ直接ニ御觸レデナク、遠イ所カラ觸レタヤウナ御答ニ接シマシテ

私ハ満足ヲ致シマセヌ、例ヘバ米穀ニ對スル根本對策、蠶絲價安定問題、蠶絲業統制問題、之ニ對スル根本對策ノ御提出ノ時期ヲ伺ヒマシタガ何等御答ガゴザイマセヌ、又負擔ノ輕減、負債ノ整理ニ付キマシテモ同様遠ク離レテノ御答ニ接シマシタノハ甚ダ遺憾デアリマス、內務大臣ノ御答辯ハ頗ル長クアリマシテ誠ニ御親切デアリマシタ、併ナガラ是ハ全ク的外レデアリマシテ、私ガ土木事業ガ消化シキレナイデアアルマ、ソレニ伴ウテ弊害ガ起リハシマイカ、又「ブローカー」ナドガ介在シナイカ、是等ニ對シテハドウナサレカ、御見込ハドウカト云フヤウナ諸問題デアリマシタガ、全ク懸離レタ御答デアッタノデス、併シ御老體ノ内相ノ度ニ御煩ハシ願ヒマスコトモ如何カト考ヘマス、全ク是ハ的外レデアリマスカラ、此際同フニハ又前ノコトヲ長タラシク御質疑イタサナケレバナリマセヌカラ、此機會ニハ差控ヘテ置キマス、ソレカラ文部大臣ノ御答辯ハ私ガ御尋ネ申上ゲル點ニ付キマシテ御理解ニナツテ居ルヤウニ考ヘマシタ、唯農村教育ノ基調ニ付キマシテ郷土トノ關係ヲ御述ベニナリマシタガ、其點ハ私モ御同感デアリマスガ、尙ホ御承知トハ存ジマスルガ申上ゲテ置キタイコトハ農村教育ノ骨髓ト云フモノハ勤勉力行ヲ旨ト致シマシタ郷土教育、即チ實實剛健ノ農民精神ヲ涵養發揮スルコト云フコトガ必要ト考ヘマス、ドウカ其點モ十分御體得下サイマシテ、ソレニ對應スル農民教育ノ刷新ノ御圖リヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス、尙ホ他ノ機會ニ於テ御質疑ヲ申上ゲルカ分リマセヌガ、本議場ニ於キマシテハ會期切迫ノ折柄デアリマスカラ私ノ質疑ハ是デ打切ルコトニ致シマス

○副議長(公爵近衛文麿君) 次ニ通告順ニ依リマシテ野村德七君ニ御發言ヲ許シマス

〔野村德七君演壇ニ登ル〕

○野村德七君 私ハ大藏大臣ニ御尋ネ致シ

タイノデアリマス、聊カ専門的ニナリマスカモ知レマセヌ、或ハ豫算總會デ爲スベキカモ知レマセヌケレドモ、議席ヲ持マセヌノデ此機會ニ御尋ネ致シマスコトガ適當ト考ヘマシタ、會期切迫ノ際甚ダ恐縮デアリマスガ質問ヲ致ス譯デアリマス、御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、最近爲替相場ガ大變下リマシタ、之ヲ假ニ金ノ輸出禁止以前ノ平價ノ狀態ト、今日ト比比較イタシテ見マスルト云フト、一弗ニ對シマシテ二圓六厘ノモノガ、今日ノ爲替相場ニ致シマスルト云フト、四圓三十四錢八厘ニ當ル、又一磅九圓七十六錢三厘ノモノガ只今十五圓十三錢ニ當ル、一法ガ七錢八厘ノモノガ只今十七錢二厘ニ相當スルト云フヤウナ狀況デゴザイマス、此爲ニ我國ガ外國市場デ負ウテ居リマス債務、國際金融市場ニ負擔シテ居リマス債務ハ、先キノ平價デハ約二十一億圓弱ノモノデアリマシテ、其內容ハ國債ガ十四億餘圓、地方債ガ二億三千五百萬圓、其他ノ社債ナドガ四億六千萬圓弱ト云フヤウナコトデアリマス、其中ニ電力會社ノ社債ガ三億三千八百八十一萬九千圓ト云フ數字ガアルノデアリマス、合計イタシマシテ二十一億弱ト云フ債務ヲ只今負テ居ルノデアリマスガ、之ヲ前ニ申シマシタ現在ノ爲替相場デ申シマシテ圓デ返ストカ、或ハ計算ヲ立デマスルト云フト、三十六億七千數百萬圓ニナリマシテ、此際不可抗力的ニ十六億餘圓ノ債務ノ大膨脹ヲ來シタ譯デアリマス、從ヒマシテ此利拂ト致シマシテ、先キノ平價デハ一億一千餘萬圓デ足りマシタモノガ、今日ハ二億六千數百萬圓ヲ要スルト云フ譯合デアリマシテ、差引九千二百五十幾萬圓ト云フ負擔ガ増加シテ居ルノデアリマス、其中デ政府公債ノ負擔ニ屬シマス利拂ノ増加ガ五千二百六十三萬圓ト云フトニ計算イタシマスルトナルノデアリマス、此影響ハ金ノ輸出禁止直後カラ起リマシテ、漸次加重シ

テ參テ居ルノデアリマス、所ガ先般ノ六月ノ臨時議會ノ豫算ヲ拜見イタシマシテモ、今同ノ豫算ヲ拜見イタシマシテモ、之ガ處理ノ方法ニ付キマシテハ、表面ニ何モ私ハ見當ラヌデアリマス、思ヒマス、或ハ是ハ國債整理基金ト云フヤウナモノヲ以テ整理シテ居ラレマス、或ハ過去ニ於テ既ニ今日ノ支拂ノ手當ガ、弗カ務カ、サウ云フモノデアリマス、影響ガナイノデアリマセウカ、又或ハ政府ノ所有ノ外貨證券ト云フヤウナモノ、運用ニ依ラレテ居ルノデアリマス、此點ハドウ云フ風ニ處理サレテ居リマス、ソレヲ先ヅ第一問トシテ伺ヒタイノデアリマス、第二ハ、此外貨公債ト云フモノガ内外ノ市場大變安クナッテ居リマス、詰リ慘落イタシテ居リマス、六分五厘ノ、弗ノ、百弗額面ノ公債ガ、紐育ノ市場六十二弗位ヨリ致シマセヌヤウナモノデアリマス、詰リ利廻リニ致シマスト、紐育市場ノモノハ、日本ノ帝國公債ガ實ニ一割以上ノ利廻リニ廻ッテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマス、倫敦市場ニ於キマス帝國公債ハ、八分カラ九分ノ利廻リニ置カレテ居ルノデアリマス、電力會社ノ社債ノ如キニ至リマシテハ、實ニ一割二三分カラ一割五分ト云フヤウナ高率ノ利廻リニ置カレテ居ル程度ニ市價ガ慘落イタシテ居ルノデアリマス、是ハ金輸出禁止ノ影響、又我國ノ財政ノ赤字缺陷、ソレカラ所謂滿洲事件、斯ウ云フヤウナモノガ直接間接テ居ルコトハ申ス迄モナイコトデゴザイマス、是ハ内地ヘ輸入サレテ居リマス、外貨公債、即チ新聞デモ御覽ニナリマス、通リ、過日ノ資本逃避防止法案ニ依リマシテ「スタンブ」サレマシタコトニ依ッテ、邦人ノ所有外債ノ明瞭ニナリマシタ分ガ、約六億圓弱ゴザイマス、是等ノ内地ニアリマス、外貨公債モ、英吉利ナリ紐育ニアリマス、ルモノト殆大差ナイ程度ノ利廻リニ置カ

レテ居ル、即チ安イ相場ニ置カレテ居ルノデアリマス、一國政府ノ公債ガ内地ハ五分ノ利廻リデアリ、又外貨デアル爲ニ一割強ニ置カレテ居ルト云フヤウナコトハ、誠ニ是ハ不思議ナ現象デアリマシテ、況シテ低金利政策ガ徹底ノ行ハレムシテ居リマス、現狀カラハ、誠ニ不思議ナコトデアリマシテ、甚ダ一面カラ不愉快ニ感スルノデアリマス、御承知ノ通り英國モ金利ヲ停止イタシマシテ以來、低金利政策ヲ持續シテ居リマス、過般其政策ノ反響ト致シマシテ、戰時公債ノ二十億磅、即チ二百億圓程ノモノヲ、五分ノ利子カラ三分半ニ借換ラ行ヒマシタ、我國ニ於キマシテモ、公債ノ數量ハ本年度内ニ殆ド七十億ニ達スルヤウデアリマス、此公債ノ利子ガ一分低減サレ得マス、ナラバ、茲ニ七千萬圓ノ負擔ガ輕減サレルトハ、申ス迄モナイコトデアリマス、低金利政策ガ斯ノ如ク徹底シテ、其實現ヲ見ルコトハ、御同様ニ無論望マシイコトト考ヘルノデアリマス、ソレニ致シマシテモ彼此、ソレト先程ノ外貨公債ノ存在ト云フモノト對照シテ見マス、論外ナ存在ヲ致シテ居ル申サネバナラヌヤウナ狀況ニ只今ナッテ居ルノデアリマス、資本逃避防止法案ノ上カラ考ヘマス、資本逃避邦人ノ所有シテ居リマス、外貨公債ト云フモノハ、時ノ價デ政府ガ之ヲ強制買上ダスルコトガ出來ルヤウニナルカト解釋シテ宜イト思ッテ居リマス、然ラバ何等カ此一割以上ニ廻ルベキ政府ノ公債ヲ一面ニ買上ダテ、五分利ノ公債ヲ交付スルカ何トカ、又ソコニ對策ガナイノデゴザイマセウカ、又海外市場ニ日ニ掲載サレテ居リマス、又取引サレテ居リマス、此日本ノ外貨公債ニ對シマシテモ、或ハ荷爲替輸出ノ資金ニ對シテ動員ヲ行フトカ、強制買收ヲ行フトカ、或ハ在外邦人ノ資金ヲ動員スルカ何トカ、或ハ又政府ノ在外資金ノ運用ニ依

ルカ、或ハ外貨證券ノ運用ニ依ルカ、何トカシテ、此外貨ニ對シマス、對策ト云フモノガ立タヌモノデアリマセウカ、此運用整理ノ如何ニ依リマシタラ、此爲替ノ「フ」ラクテ「チ」ニシテ、或ル程度ニ少クスルコトモ出來ルと思フノデアリマス、一國ノ財政上ノ信用ヲ問ハレマス、公債價格ガ斯ノ如キ狀態デアリマス、今日ト致シマシテハ、ソコニ政府御當局ハ何トカ御對策ガアルベキモノト考ヘマシテ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、今一ツハ先程對外債務ノ中ニ申シマシタ三億四千萬圓弱、只今ノ爲替相場ヲ換算イタシマシテ七億四千萬圓弱ニ達シマス、對外負債ヲ負ウテ居リマス、我國ノ電力事業ノコトデアリマス、申ス迄モゴザイマセヌガ、我國ノ電力事業ニ對シマス、投下資本ハ、株式會社ノ公稱資本ガ三十九億九千萬圓、拂込資本ガ三十億四千萬圓、社債及借入金ノ存在ガ十四億九千萬圓、其以外ニ先刻ノ海外負債ヲ背負ッテ居ルノデアリマス

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ著ク〕

斯ウ云フ巨額ノ資本ヲ擁シテ居リマス、水力電氣事業ハ、只今此爲替ノ變動ニ依リマシテ、外債ニ對シマス、利拂ハ曩ノ募集當時ノ「レート」カラ遙ニ高イ、即チ一割二三分カラ一割六分ニ相當スルヤウナ負擔ヲ餘儀ナク利拂上カラ、サレテ居ルノデアリマス、其上ニ募集條件ト致シマシテ、減債基金制ヲ設ケテ居リマス、其金モ今日ノ爲替デ送ラナケレバナラヌ狀態デアリマス、過去ノ不景氣ノ上ニ、又今日迄ノ電力事業ノ不統制ナ下ニ、可ナリ打撃ヲ受ケテ居リマス、此事業ガ、今日ハ更ニ又不可抗力ノ犧牲ヲ負ウテ居ルヤウニ見ラレ、ルノデアリマス、若シ此上爲替ノ下落ガ止ミマセヌト云フコトデアリマス、ナレバ、配當不可能ノ會社ガ追々現ハレルコト存ズルノデアリマス、事業會社ガ社債ニ依リマス、借入金ニ依リマス、致シマス、相

當ナ資金ノ調達ト云フコトハ、我國ニ於キマシテ海外ノ財界ニ於キマシテモ、其營業狀態ガ少クトモ株主配當ガ七八分位ガ可能デアルト云フ狀態ニ置カレテ居、テコソ圓滑ニ參ルノデアリマス、十五億圓ノ社債、只今ノ爲替デ七億四千萬圓ノ外國債、斯ウ云フ大ナル負擔ヲ致シテ居リマス、水力電氣事業ノ金融關係ト云フモノハ、只今何ト申シマス、一大暗礁ニ乘リ上ガムトシツツアルヤウナ狀態デアリマス、電力事業ノ起リマシタ本ハ燃料問題ノ解決ト云フヤウナコトト關聯イタシマシテ、我國ノ地勢ト云フモノカラ水力資源ノ開發ト云フコトニ付テ、國家的色彩ヲ帶ビタ事業トシテ朝野ニ認メラレマシテ、今日ハ急速ニ前ニ申上ガマスルヤウナ大發展ヲ遂ゲテ參ッテ居リマス、是ガ國際金融市場ニ乘リ出シマシタ動機モ亦、必シモ安イ金ガ使ヘルト云フノミデハナカッタノデアリマス、其中ニハ時ノ財政當局ガ國際借借ノ決濟ニ都合ガ宜イヤウニ、外債ニ導カレタノモノアルノデアリマス、是ガ今日爲替ノ暴落ニ依リマシテ非常ニ困難ヲ致シマシテ、又金融市場ニナリ、募集市場ニ、手形市場ニ、大ナル暗影ヲ印シテ居ル、又一面三十億圓カラ投資ヲ致シテ居リマス、多數ノ國民株主ガ困却ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フ狀況ヲ實ハ此事業ノ成行カラ靜觀イタシマシテ、政府ハ傍觀シテ居ラルト云フコトハ、將來是ハ出來ヌノデハナカラウカ、ソレハ何ト申シマス、少シ義理ガ惡イト云フヤウナコトニ立至ルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、尤モ或人ハ此爲替ノ下落ト云フモノハ貨幣價值ノ下落デアラカ、水力電氣事業ノ如キモ、其中ニハ物價ガ騰貴シテ財產價格ガ倍ニモナルカラ、一時ノ負擔増加位ニ悲鳴ヲ上ゲルノデハナイ、ソレハ耐ヘ忍ンデ行カネバナラヌ、斯ウ云フ議論モアルヤウデアリマス、私モ前途ハサウ云フヤウナ時節ノ來ルト云フコトモ信ジナイデ

ハナイノデアリマスガ、差詰メ電力料金ノ
値上トカ、或ハ完全ナル統制トカ申シマス
コトハ、其割合ニ急遽ニハ増加シ得ルモノ
デハナイノデアリマシテ、行詰リノ方ガ先
ニ參ラントシテ居ルノデアリマス、既ニ電
力會社、電力聯盟トカ申シマス側ニ於キマ
シテハ、共同戰線ヲ張ル、或ハ惡イ言葉カ
モ存ジマセヌガ、一致シテ對策ヲ考ヘルト
云フヤウナコトモ聞イテハ居リマスガ、果
シテドシテ對策ガ講ゼラレルモノデアリマ
セウカ、私ハ此總額五十億ニモ達シマスル
資金關係ヲ擁シテ居リマス大事業デアリ、
國民ノ多數ガ關係ヲ有シテ居リマス電力事
業デアリマス爲ニ、先ヅ此機會ニ政府ノ御
所感ヲ伺、テ置キタイノデアリマス、其次ハ
先頃ノ議會デ兌換準備ノ擴張モ出來マシ
テ、中央銀行ノ條例ノ改正或ハ參與制ノ設
置ナドモ出來マシテ、著々此金融機關ノ整
備改善ガ行ヘレテ參リマシタコトハ、誠ニ
國家ノ爲ニ慶賀スベキコトデアルト存スル
ノデアリマスガ、近代の活動ノ要素デアリマ
ス所ノ此手形市場、證券市場、斯ウ云フ此
二大市場ノ整備改善ト云フコトガ確カ金融
制度調査會ノ問題トナテ、尙ホ存シテ居ル
ヤウニ存スルノデアリマス、政府ハ此手
形市場、證券市場ノ整備改善ト云フコトニ
對シテ、今後矢張り力ヲ注イデオ出デニナ
ル御積リガアリマスルノカドウカ、附加ヘ
テ此機會ニ伺、テ置キタイノデアリマス、
之ヲ要約イタシマス、第一番ハ爲替下落ノ
爲ニ外貨公債ノ利子負擔増加ニ當面シテ居
ルガ、前回ノ臨時議會ニモ今回ノ豫算ニモ
ソレガ現ハレテ居ラスヤウデアリマスガ、第
二番ハ外貨公債ガ内外市場デ暴落シテ利廻リ
ガ一割内外ニモ及ンデ居リマスガ、低金利
ニ徹底セムトスル政策上、是ハ放置シテ置
クト云フコトハ如何ニモ宜シクナイト思ヒ
マスガ、之ガ對策ニ對シテ御考ヘニナテ居
リマスカドウカ、第三ハ本邦ノ水力電氣事

業會社ハ將來爲替ノ下落ニ伴ヒマシテ、金
融上一大障礙ニ當面シテ參ルヤウニ思ハレ
マスガ、政府ハ豫メ之ニ對シテ何カ御考慮
ニナテ居リマスカドウカ、第四ハ手形市
場、證券市場ノ整備改善ニ對スル御考ヘ如
何、斯ウ云フコトヲ伺、テ見タイノデアリ
マス

(國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル)

○國務大臣(高橋是清君) 只今ノ御質疑ニ
對シテ御答ヲ致シマス、先ヅ大體申シマス
ト云フト、何レノ國デモ金本位ヲ離脱シマ
スレバ、其國ノ爲替相場ハ他ノ金本位制度
ヲ維持シテ居ル國ニ對シテハ下落スルト云
フコトハ是ハ免レナイ理數デアリノデアリ
マス、若シ斯様ナ下落ナカラシメムトスル
ナラバ、矢張り金本位ヲ維持シテ自由ニ金
ノ出入ヲ許スト云フ其力ヲ備ヘテ居ラネバ
出來ヌコトデアリマス、是ハ詳シク申上ゲ
ズトモ御承知ノコトト考ヘマス、ソレカラ
第一ハ爲替ガ下落シタ爲ニ我國ノ外貨公債
ニ對シテ支拂ヒマス利息ノ負擔額ガ、即
チ我が今日ノ通貨ヲ數ヘマスレバ非常ニ増
加スル、増加シツツアルノデアリマス、曩
キノ臨時議會ニモ亦今回ニモ其負擔ノ増加
ニ對スルコトガ表面ニ、其處理ニ付テノコト
ガ表面ニ現ハレテ居ラヌト云フ譯ハドウ云
フ譯カト云フ御尋ネデアリマス、是ハ能ク
御覽下サイマス御分リニナリマセウガ、
此目前ノ臨時議會ニ於キマシテ、追加豫算ノ
中ニ貨幣交換差金トシテ前議會ニ成立シマ
シタ追加豫算額ニ載、テ居ルノデアリマス、
其交換差金ハ其追加豫算ニハ二千六百二十
萬圓ト計上シテアリマス、今回ノ追加豫算
ニハ交換差金ハ載、テ居リマセヌデス、第二
ハ外貨公債ガ内外市場デ暴落シテ居ル、或
ハ亞米利加ニ於テハ我が公債ガ一割餘ニモ
利廻リカラ言フ付イテ居ル、ソレハ詰リ
我が外貨公債ガ彼ノ市場ニ於テ賣買ノ市價
ガ下、タ方ノ是ハ勘定デアリマセウ、斯様ニ
暴落シテ來ルガ、ソレモ低金利政策上放任

シテ置イテハ不利益デハアルマイカ、其對
策ハドウデアアルカト云フ御尋ネデアリマ
ス、是ハ一國ノ何レノ國デモ金本位ヲ離脱
シテ、而モ其國ガ外國ニ債務ヲ負フテ居ル、
左様ナ國ノ公債ハ其債權國タル國民ガ前途
如何ニナルカト云フコトノ危惧ヲ懷クノハ
通常デアリマス、從テ之ニ向、テ投資スル
者ガ先ヅ無クナル譯デス、外國人トシテハ
之ニ向、テ投資スル者ハ無クナル譯デ、投資
スル者ガ無クナルト云フコトハ即チ賣手バ
カリ多クテ買手ガ無イト云フコトニナル、
ソレ故ニ其市價ガ下リマス、下、タ市價デ
計算スレバ同ジ六分利附ノ公債デモ計算ス
レバ一割以上ノ利廻リニナルト云フコトガ
現ハレテ來ルノデアリマス、是ハ低金利政
策ヲ執、テ居ル我國トシテハ其儘捨テテ置
イテ不利益ナルヤウナコトハナイカ、之
ヲ防ク對策ハドウカト云フ御尋ネノヤウニ
承ハリマシタ、又此處ニ先刻御示シノ書類
ニモサウ云フ意味ニ書イテアリマス、是モ其
外貨公債ヲ募集シマス時ノ條件ニアリ大イ
ニ依リ譯デアリマス、米國ノ如キ、殊ニ近
年ニ至リマシテハ各國ノ貨幣ガ變ルモノデ
アリマスルカラ、其債務國タル國ノ通貨ノ
金ノ分量ト、債權國タル國ノ通貨ノ金ノ分
量ト、其分量ヲ基準トシテ元利ノ支拂ノ約
束ガ出來テ居ルヤウニモナテ居リマス、而
シテズト前ニナリマスト云フト、左様ナ面
倒ナ計算ヲ探ラズシテ、「フランク」ナラ「フ
ランク」ト云フモノデ元利ヲ返ス、現ニ今訴
訟ニハナテ居ルヤウデアリマスケレドモ、
東京市債ノ如キ前「フランク」デ計算スル
コトニナテ居リマスルガ、又ハ圓金ト云フ
コトガ書イテアリマス、「フランク」デ拂、
「フランク」デ受取ル權利ヲ向フハ持、テ居
ル、併シ又圓金デ受取リ、支拂ハレル權利
ヲ持、テ居ル、斯ウ云フコトニナテ居ル、
而シテ其問題ニナリマススト云フト、圓デ
ハ金ノ輸出ヲ禁止シ、兌換ヲ停止シテ居ル
ノデアリマスカラ、此佛蘭西ノ公債ヲ……
我公債ヲ持、テ居ル人ハ圓デ拂、テ與レロト
申セバ、矢張り今日ノ兌換ヲ停止シテ居ル
日本銀行ノ兌換券デ拂フヨリ外ニ仕方ガナ
イ、之ヲ兌換シテ輸出スルコトガ出來マセ
ヌカラ、條約面ニハ圓金ト書イテアルケレ
ドモ目的ヲ達シナイ、圓金ト書イテアルカ
ラシテ其時ノ金ノ分量、即チ何處マデモ金
貨ト云フ意味ニ向フハ取、テ訴訟ニナテ居
ルヤウニ承ハテ居リマス、併シ是ガ若シ
假ニデス此圓金ト云フコトガナクテ唯「フ
ランク」ト云フコトデアリマシタナラバ、其
當時ノ「フランク」ト今日ノ「フランク」ト見
マス、今日ノ「フランク」ハ御承知ノ通り
五分ノ一ニナテ居ルノデアリマスカラ、我
國テハ元利共其五分ノ一ニナテ「フラン
ク」ヲ以テ支拂、テ宜イコトニナル、此場合
ニ於テハ外國ノ貨幣ノ金ノ分量ガ變、タ爲
ニ、我國ハ非常ナ利益ニナルト云フヤウナ
場合モアルノデアリマス、而シテ此我外債
ノ市價ノ下ルト云フコトハ、唯今申シマシ
タ通り賣手ガアルトモ買手ガナイト云フ狀
況デアリマス、尙ホ詳シク實際ヲ申上ゲマ
ス、日本ノ銀行ナリ會社ナリカ從前ハ我外
國債ヲ擔保ニ取、テ一時融通ヲスル、先ヅ相
當ナ擔保ナルベキ價值ヲ持、テ居、タノデア
リマス、近年ハ唯金本位ヲ離脱シタト云フ
バカリデナク、貿易ノ關係ヤラ、又外交上
ノ關係ヤラ、サウ云フコトカラシテ前途不
安ニ思フテ、遂ニ買手ガナクナ、タ爲ニ、市
場ニ下落ヲ見ルヤウニナテ參、タノデアリ
マス、之ニ對シテハ政府ト致シマシテハ唯
今如何トモスルコトガ出來ナイ、此中平價
ヲ以テ計算シテ見マスト云フト、我が邦人
ガ此英米ニ發行サレタ我公債ヲ買取、テ持、
テ居ル人モ大分アルノデアリマス、詰リ七
八億圓ハ確カニアリマス、是ガ今度資本逃
避防止法ノ實行上事實トシテ現ハレテ參、
アルノデアリマス、デ或人ハ斯様ナモノガ

アルカラ、政府ガ之ヲ買取テ、サウシテ
之ヲ在外正貨トシテ爲替ノ安定ヲ圖ル資源
ニシテ宜カラウト云フ説ヲナス人モアリ
マスルガ、只今申シマシタ通り政府ハ何時
デモ必要ニ應ジテ是等ヲ買取ル、其時ノ市
場ノ相場ニ依テ買取ルコトガ出來ルヤウ
ニ法律デハナッテ居リマスガ、サテ之ガ買
取りマシタ所デ、先刻申シマシタヤウナ外
國ノ市場ノ狀況デアリマスルカラ、之ヲ在
外正貨化スルコトガ出來ナイノデアリマス

タナラバ、此爲替下落ニ依テ生ズル損失
ヲ埋メテ行クコトモ相當ニ出來ル餘地ガア
ルノデハナカラウカ、斯ウモ考ヘテ居リマス、
第四ニハ證券市場手形市場ノ整理、是ハ我
國ノ取引所ハ、總テ此取引市場、證券市場、
手形市場ト云フモノガ今日ハ誠ニ健全ナ發
達ヲナシテ居ルトハ私ハ思フテ居リマセヌ、
是ハ改善スル必要ガアルト考ヘテ居リマス
ルガ、併シ此所管ニ付テハ又取引所ノ方面
ナドノコトニ付キマシテハ、其關係省ノ御
考モアルコトダト私ハ考ヘテ居リマス、而
シテ斯様ナコトハ能ク調査シ研究シテ、而
シテ成果ヲ得テ初メテ是ハ公言スルコトガ
出來ルノデアリマシテ、徒ラニ個人々々ノ
考ヲ、殊ニ責任アルモノトシテ之ヲ公ケニ
スルト云フコトハ、却テ迷ハセルヤウナコ
トデ、害アッテ益ナキコトト考ヘマスノデ、
私ハ之ニ對シテハ自分ノ所見ハ申上ゲヌ方
ガ宜シカラウト考ヘマス、是ダケ御答ヘ申
シマス

（副議長公爵近衛文麿君議長席ニ著ク）
斯ウ云フ狀況ニナッテ居リマス、ソレカラ第
三ニハ我ガ電力會社ノ御話デアリマシタ
ガ、成程數十億ノ資本ガ投ジラレテ、此電
力事業ト云フモノハ數會社ガ奮發シテ其業
ヲ起シテ、今日ハ莫大ナ國家ノ爲ニ貢獻ヲ
ナシテ居ルコトハ疑ヒガナイノデアリマ
ス、而シテ是ガ不幸ニシテ外國債ヲ持ッテ
居ル、其外國債ヲ持ッテ居ルガ爲ニ爲替下
落ノ結果非常ナ金ヲ送ラナケレバナラス、
多額ナ圓ヲ送ラナケレバナラスヤウナ結果
ニナッテ居ル、金融上ニ付テ政府トシテハ、
之ニ對シテ何カ對策ガアルヤト云フ御尋デ
アリマスルガ、今日ハ政府トシテハ之ニ對
スル對策ヲ考ヘテ居リマセヌ、但シ斯様ナ
電力會社ト致シマシテ斯様ナコトニ立至
タ以上ハ、先以テ自ラ努メテ、或ハ其外國
デ下ッテ所ノ自分ノ債券ヲ買取ルトカ、或ハ
又其事業ヲ合理化シテ費用ヲ少クスルト
カ、或ハ合同スルトカ、種々自ラ考ヘテ自
ラ助ケル途ヲ講ズルコトガ當然グラウト思
フ、又色々サウ云フ工夫ヲ自ラ廻ラシテ參ッ

（議長公爵近衛文麿君議長席ニ復ス）
（政府委員藤井真信君演壇ニ登ル）
○政府委員（藤井真信君） 便宜私カラ御答
ヘ申上ゲマス、前ノ臨時議會ニ御協賛ヲ經マ
シタ追加豫算ノ中ニ、大藏省所管デ諸拂戻
補填金ト云フ科目ガゴザイマスガ、其中デ
追加豫算ト致シマシテ二千四百九十三万九
千五百七十七圓ノ御協賛ヲ得テ居リマス、
尙ホ其外ニ前年度ノ豫算ヲ施行イタシテ居
リマスノデ、實行豫算トノ差額ガアリマシ
テ、ソレヲ加ヘマス只今大藏大臣ノ申サレ
マシタ、貨幣交換差金トシテ二千六百二十万
餘圓ノ豫算ガ實行豫算ノ現額トシテアル譯
デアリマス、大體此計算ヲ致シマシタノハ、
前臨時議會當時ニ於ケル爲替相場ヲ基礎ト
致シマシテ、即チ三十二「ドル」半ヲ標準ト
致シマシテ、主トシテ外國ニ對スル國債元
利拂ノ貨幣交換差損ヲ見積ッテ、追加豫算
トシテ御協賛ヲ經タノデアリマス

（土方寧君演壇ニ登ル）
○土方寧君 私人會期切迫ノ此場合デアリ
マスカラ、成ルベクハ差控ヘタイト考ヘマ
シタガ、何分ニモ我國ノ財政ノ前途ヲ憂慮
スルノ餘リ簡單ニ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒ
タイノデアリマス、成ルベク短ク申シマス、
歳入減、不況ノ結果デアリマセウ、歳出増、
是ハ滿洲等ノ臨時費ヤラ、農山漁村、中小
商工業者ニ對スル應急ノ救助ノ施設費ト云
フヤウナモノガアリマスルカラデアリマ
セウ、結局赤字ガ出テ居ル、未曾有ノコト
デアリマス、七億六百万餘デアリマス、此
赤字ハ政費節約ト増稅ヲ以テ填補スベキモ
ノデアルト考ヘマス、然ルニ政費節約ト云
フコトハ、今迄モ何度モヤッテ揚句デアッテ、
最早今日ハ何トシテモ餘裕ガナイ、増稅ハ
ト申シマス云フト、此不況ノ際ニ國民ニ
擔稅能力ガナイ、已ムヲ得ナイカラ赤字公

債デ填補シタノダト云フコトニナッテ居リ
マス、斯様ナ譯デアリマスルコト云フト、恐
ラクハ次ノ豫算、八年度モ最早編纂ニ御著
手ニナル時期ニ迫ッテ居ルト思ヒマスガ、是
モ或ハ赤字填補公債ヲ發行シナケレバナラ
ヌヤウニナルカト思ヒマス、左様ナコトデ
アリマスレバ、借金々々デヤレバ、其日暮
シノ財政ヲスルヤウナコトニナリマシテ、
誠ニ將來國家ノ爲ニ憂慮ニ堪ヘナイ、ドウ
カシテ此次ノ豫算ニハ赤字ヲ出サヌ、赤字
公債ヲ發行スルコトヲ要セザルヤウニ、御
計畫ヲ願ヒタイト思フテ御尋ネスルノデア
リマス、節約ハモウ此上不能ト仰シヤイマ
スガ、私ハ税目ノ細目ニ互テ申スコトヲ避
ケマシテ、唯チヨット二三ノ思ヒ付イタク
トヲ申シマス、政務官ハ全廢シテ宜イト思
フ、官舎デアリマス、總理大臣、外務大臣、
警視總監、或ハ地方裁判所ノ檢事正ト云フ
ヤウナ官舎ハ職務上必要デアリマセウガ、
其他ノ大臣次官等ノ官舎ハ全廢シテ宜イト
思ヒマス、官舎ガアルガ爲ニ大臣ノ如キハ
所管官廳ト官舎ト兩方デ事務ヲ執ラレル爲
ニ、兩者ヲ往復スル官更ガ無駄ナ費用ト時
ヲ費スノデアリマス、是程能率ノ上ラナイ
コトハアリマセヌ、ドウシテモ大臣ハ官廳
ニ出勤シテ執務スベキモノデアルト思ヒマ
ス、全廢シテ宜イシ、ソレカラ俸給減、現
在ノ儘デアリマシテモ、圓ガ下リマシタカ
ラ、實際減俸ニナッテ居ルト同然デアリマ
シテ、氣ノ毒ナコトデアリマス、併ナガラ
二百圓以上ノ給料ヲ貰ッテ居ルモノデアリ
マス、同胞ノ多數ノ者ガ生活ヲ脅サレテ
居ル今日デアリマスカラ、一割位ノ減俸ニ

ハ甘シテ宜カラウト思ヒマス、議員ノ歳費モ同様デアリマス、三分ノ一或ハ四分ノ一ハ減ジテ宜カラウト思ヒマス、斯ノ如ク官吏、國政參與ノ議員モ犧牲ヲ拂フト云フヤウナコトデ以テ國民ニ範ヲ示スコトガ出來マシタナラバ、私ハ滯納ト云フコトモ減ジヤスマイカ、實際不況ノ結果滯納者ガ多イ、事實納稅方出來ナイト云フコトモアリマセウガ、實ハ不況ヲ口實ニ怠テ居ルモノ少クナイト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレナ者ヲ激勵スル爲ニハ、率先シテ官吏議員等ガ犧牲ヲ拂フベキモノデアラウト思ヒマス、ソレカラ公債ノ低利借換ハ出來モノデアリマセウカ、段々殖エテ來マシテヨク覺エマセウ、六十億位ハアリマセウガ、利子ダケデモ大變デアル、今度モ六億程殖エマシタ、次モ亦殖エルカモ分ラヌ、其利拂ダケデモ歳出ガ殖エル譯デアリマス、是ハ何トカシテ低利ノモノニ借替ハ出來マスマイカ、無論強制スルコトハ出來マスマイ、併ナガラ國民ガ眞劍味ニナツテ我國ノ財政ヲ建直サウト云フナラバ、低利ノ公債ニ借替ヘルコトヲ承知セヌ譯ハナイト私ハ考ヘマス、一方ニハ郵便貯金利下ヲスルト云フコトモシテ居ルコトデアリマスカラ、公債モ低利ノモノニ借替ヘテ宜カラウト思ヒマス、是ハ參考デアリマスケレドモ、英吉利デハ「二ビリオン」ト云ヒマスカラ餘リ大キクテ私ナドニハ「チヨット」ト云ヒマセヌガ「二十億磅、最近ノ相場ダ換算シマス」ト云フト三百億圓位、利ダケデモ十五億位デアリマセウ、ソレヲ三分半ニ借替ヘル、ソレガ大部分ガ三分半ニ持主ガ快諾

シテ始末ガ付イタヤウデアリマス、十五億程ノ利息ガ三分半デ十億位ニナツテ、差ガ四億幾ラト云フモノハ歳出減ニナツテ譯デアリマス、斯ウ云フヤウナ調子ニ私ノ考デハ、公債ノ低利ニ借換ガ出來ナイコトハアルマイ、是ナドガ私ノ心付イタ歳出減ノ項目デアリマス、其外色ミナコトガアリマセウガ、私ニハ今心ニ浮ビマセヌ、一方増稅ノ方デアリマス、如何ニモ此不況ノ場合増稅ハ思ハシクアリマセヌ、農村ノ如キハ負擔ガ重過ギルト云フコトデアリマス、是ハ何カノ方法デ輕減シナクチャナリマスマイガ、又一方ニ於テハ能ク細目ニ「互」テ御研究ニナツタラ、多少増額出來ナイコトハナカラウカト思ヒマス、殊ニ所得稅ノ如キ今デハ四百萬圓デアリマシタカガ最高限度ニナツテ居リマス、ア、云フ限界ヲ定ムル必要ハ萬々ナイト思ヒマス、矢張り何万ト云フヤウナ可ナリ大キナ所得ノアル者ニハ現在ノ累進率ヨリモ少シ高クスルヤウニシテ、ソレカラ四百萬ト云フコトノ限界ヲ撤廢シテ、五百萬七百萬多々益辨ズル譯デ、ソレニズツト掛ケテ行ク、今ノ率デズツト行キマス、何千万ト云フモノガアルトスルト、所得ノ全部ニナルカモ知レマセヌ、百分ノ百ト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、ソレハ意味ヲ爲サヌカラ、或ハ百分ノ七八十ニ止メタラ宜イカモ知レヌ、英吉利デハ現ニ戰時戰後ハソコ迄行ツタコトガアリマス、是モ一ツノ歳入ヲ増加スル一ツノ手段ダラウト思ヒマス、何モ四百萬ニ限界ヲ置クコトハチヨットモナイト思フ、國民ノ財産ハ國ノ保護ニ依ッテ保有シテ、享有シテ

居ルノデアリマスカラ、多クノ財産ヲ有テ居ル者ハ多クノ保護ヲ受ケテ居ル、ソレダカラ四百萬デ限界ヲ切ル必要ハナイ、五百萬、六百萬多々益、辨ズル譯デ、ソレ相當ノ所得稅ヲ負擔シテ宜イト思ヒマス、其外色ノ色財政ノ當局カラ見レバアリマセウ、何カノ方法ヲ以テ歳出ヲ減ジ歳入ヲ増ス、サウシテ此次ノ八年ノ豫算ニ於テハ公債ヲ以テ填補シナケレバナラヌヤウナ、赤字ヲ出サナイヤウニ、我々ニ安心ヲ與ヘルヤウナ御決意ガアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイ、細カイコト迄伺フニハ及ビマセヌ、此次ノ豫算ニハ公債ヲ以テ填補シナケレバナラヌヤウナ……赤字ヲ出サヌヤウニ豫算ヲ編成スルコトガ出來ル見込デアルカナイカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

（國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル）

○國務大臣（高橋是清君） 土方君ガ御意見ヲ御述ベニナツテ、八年度ノ豫算ニ付テ赤字ノ公債ヲ出サナイヤウニ豫算ガ組メルカ組メナイカ、其コトヲ聽ケバ宜イト云フコトデ、其コトダケノ御答デ宜ケレバ、八年度ノ豫算編成ニ於テ赤字公債ヲ無クスコトハ出來マセヌト明カニ申上ゲマス、而シテ其御意見ノ政務官ヲ全廢スルトカ、官舎ヲ全廢スル、或ハ俸給ヲ減ズル、色ミ是ハモウ財源ヲ殖ヤス本ニナルコトハ當然デアリマス、増稅ノコトモ是等モ皆當局トシテハ前途ニ於テ考ヲ持ツテ居リマス、併シ未ダ御希望ノ如ク八年度カラシテ赤字ヲ無クシテ豫算ヲ立ツルト云フ見込ハ到底立ツテ居リマセヌノミナラズ、御示シノ如ク政費ノ節約及ビ増稅ト云フコトハ、今少シク此商工

業ノ事業ノ發達シテ、セメテハ……今ノ所デハ二億足ラズモ一般會計ノ歳入ガ自然ニ減、テ參タノハ、是ハ不況ノ結果デアリマス、ソレ等ヲ取返シテ、尙ホ賤ミトシテ進ム時ニ於テ、始メテ増稅ノコトハ十分考ヘ得ラレコトダト考ヘテ居リマス、又公債ノ利息ヲ英吉利ノ例ニ依ッテ御示シナリマシタガ、英國デハ低金利政策ヲ實行シテ、今日ノ市場ノ金利ト云フモノハ長ラク其低利ニ取引ヲサレテ居ルノデアリマシテ、新タナル資本ヲ有利ニ運用シヤウト申シテモ、即チ其低金利政策ノ結果、從前ノ如ク事業ニ投資シヤウカ、商賣ニ投資シヤウカ、安全ナ途ニ於テ三分五厘ニ確カニ廻ルト云フ見込ハ立タナイノガ多イ、餘程ソコニハソレ以上ノ利廻リニ資金ヲ働カセヤウト思ヘバ、一方ニハ危險ガ伴フト云フコトガアル、危險ガ伴ハズシテ確實ニ三分半ニ利廻リノ出來ルト云フモノハ、今日ノ英國ノ低金利市場ニ於テハ歡迎サレルコトハ勿論デアリマス、ソレニ對シマシテモ全額償還、正金償還ヲ望ンデ居ルモノガ少ナクナイト云フ位ノ狀況デアリマス、我國ニ於テモ愈々此資本ノ利子ト云フモノガ將來低利ニ動ク、如何ニシテモ危險ナキモノニ投資シテ、確實ナ利廻リガ、例ヘバ四分、四分五厘ヨリ望ムコトハ出來ナイト云フ環境ニ、全體ノ經濟界ノ狀況ガ改メテ居リマスレバ、其時ニ於テ始メテ我國ノ公債ヲ低利ニ借換ヘルト云フ時期ガ來ルノデアリマシテ、今日ハマダ其程度ニ至ツテ居リマセヌ、斯様ナ次第デアリマスカラシテ、八年度ノ豫算編成ニ付テ赤字ヲ無クスト云フコトハ御請合出來ナ

イト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○土方寧君 其次ノ八年ノ豫算ニ於テハ赤字公債ヲ出サヌヤウニシタイト思フテスル積リダト云フ御返事デモ伺ヒタイト思フテ伺ッタノデアリマスガ、マダ出来ナイ、長イ間赤字ヲ出スト云フヤウナコトデハ、内外ニ對シテ我國ノ信用ヲ失フト云フコトニナリマスカラ、誠ニ残念デアリマス、ケレドモ財政當局ガ出来ナイト仰シヤレバ、將來ヲ不安ニ思ヒナガラ忍ブヨリ仕方ガアリマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 是ニテ質疑ノ通告ハ終了イタシマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第一ニ移リマス、市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和七年八月三十一日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵徳川家達殿

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案

第一條 市町村立尋常小學校ノ經常費ヲ補助スル爲國庫ハ昭和七年度ヨリ昭和九年度迄毎年豫算ヲ以テ定ムル所ノ金

額ヲ支出ス

第二條 前條ノ補助金ハ第三條ノ補助金ヲ除キ其ノ半額ヲ前年六月一日ニ於ケル市町村立尋常小學校ノ教員數ニ、他ノ半額ヲ前年六月一日ニ於ケル市町村ノ就學兒童數ニ比例シテ市町村ニ交付ス

第三條 政府ハ市町村義務教育費國庫負擔法第五條ノ市町村ニ第一條ノ補助金ノ百分ノ四十以内ヲ特ニ増加交付ス

政府ハ市町村義務教育費國庫負擔法第四條ノ市ニ第一條ノ補助金ノ千分ノ七・五以内ヲ特ニ交付スルコトヲ得

第四條 本法ノ補助金ハ市町村立尋常小學校教員ノ俸給ニ要スル經費ニ充ツルモノトス

本法ノ補助金ガ市町村義務教育費國庫負擔法ノ國庫交付金ト合算シ市町村立尋常小學校教員ノ俸給ニ要スル經費ノ全額ヲ超ユル場合ニ於テハ市町村立尋常小學校ノ教員俸給ニ要スル經費以外ノ經常費ニ之ヲ充ツルコトヲ得

第五條 本法ニ定ムル市町村立尋常小學校教員中ニ算入スベキ代用教員ノ範圍ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 本法ノ適用ニ付テハ市町村組合及市町村制ヲ施行セザル地域ニ於ケル市町村ニ準ズベキ公共團體、其ノ組合又ハ小學校設置區域ハ之ヲ市町村ト看做ス

本法ノ適用ニ付テハ市町村立尋常高等小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クベキ部分ハ之ヲ市町村立尋常小學校ト看做ス

第七條 地方長官ハ本法ノ補助金及市町村義務教育費國庫負擔法ノ國庫交付金並ニ市町村ノ一般會計繰入金其ノ他ヲ以テ歲入トシ市町村立尋常小學校又ハ市町村立尋常高等小學校ノ教員俸給費其ノ他ノ經常費ノ全部又ハ一部ヲ以テ歲出トスル特別會計ノ設置ヲ市町村ニ命ズルコトヲ得

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
(國務大臣(鳩山一郎君)演壇ニ登ル)

○國務大臣(鳩山一郎君) 提案ノ理由ヲ說明イタシマス、近時財界不況ノ結果、小學校教員俸給不拂等ノ事實ヲ生ズルヤウニナリマシテ、市町村財政ハ極度ニ急迫シテ居リマス、依テ政府ハ市町村立尋常小學校費ニ補助ヲ與ヘマシテ、市町村ノ負擔ノ輕減ヲ圖リマシテ、併セテ教員俸給不拂等ノ事實ヲ防止スル爲ニ、單行法トシテ本案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマス、何卒速ニ御協賛下サラムコトヲ希ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 質疑ノ通告ガゴザイマスカラ、發言ヲ許可イタシマス、紀男爵

(男爵紀俊秀君演壇ニ登ル)
○男爵紀俊秀君 會期切迫ノ折柄デアリマスルノデ、極メテ簡單ニ伺ヒマス、只今上程ニナッテ居リマスル法律案ハ、只今大臣ノ御說明ヲ承リマス、一ハ地方ノ疲弊ヲ救ハムガ爲、一ハ教育ノ向上ヲ圖ラムガ爲、此法案ヲ御提出ニナッタクノヤウニ承知イタシマス、然ルニ私ニ斯ウ云フ疑問ガアルノデゴザイマス、凡ソ教育ノ事ト云フモノハ

申セバ百年ノ大計ヲ考ヘテ永久的ニ施設スベキモノデア、決シテ一時臨時的ニ計畫ヲ立テルモノデナカラウト思フノデゴザイマス、デ只今ノ御説ニ依リマスルト、一ハ地方ノ疲弊ヲ救ハムガ爲、斯ウ仰シヤイマスケレドモ、私ノ考ヘル所ニ依リマスルト、是ハ地方ノ疲弊ヲ救ハムガ爲ニ非ズシテ、却テ地方ノ疲弊ヲ助長スル結果ニナリハシナイカト思フ、永久的ニ教育ノ施設ニ付テ千二百萬圓ノ金ヲ増額スルト云フコトナラバ結構デアリマスガ、三年間千二百萬圓程度ノ金ヲ支給スルト云フコトニナリマスルト、三年後ノ地方ノ教育ニ對スル經費ハドウナルノデゴザイマセウカ、三年後ハ一意教育ノ擴張ヲ見合セテ、元ノ有様ニ戻シテ、サウシテヤンテ行クト云フヤウナコトニナリマス、是ハ教育上ニ甚シキ損害ヲ被ラスコトニナルノデアリマス、若又千二百萬圓ヲ増シタモノヲ、三年後ニ地方ガ之ヲ負擔シテ、之ヲヤルト云フコトニナリマス、御承知ノヤウニ今日ハ地方ノ教育費ト云フモノハ五割以上、六割以上ニモ達シテ居ルノデア、教育費ヲ何トカシテ削減ガ出来ナイモノデアラウカ、餘リニ教育費ガ増シテ居ルカラ、地方ガ疲弊ヲスル原因ヲ爲シテ居ルノデア、サウ云フヤウナ見地カラ致シマス、當然地方費ノ中デ教育費ノ削減ヲ圖、テ行カナケレバナラナイノニ、三年先ニハ教育費ガアベコベニ、千二百萬圓ト云フモノヲ、國ニ代、テ之ヲ増サナケレバナラヌト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、ドチラノ見地カラ考ヘテモ、斯ウ云フヤウナ臨時的ノ施設デ以テサ

ウシテ救ハウト云フコトハ、是ハ私ハ大キナ間違チヤナカラウカト思フノデアリマス、詳シイコトハ時間ガ掛リマスカラ申上ゲマセヌガ、之ニ對シテドウ政府ガ考ヘテ居ラレルノカ、三年ト云フケレドモ、三年ノ間ニハ何レ今日ノ景氣ガ直ルダラウ、サウスレバ、地方ガ之ヲ負擔スルコトガ出來ルト云フ考ヲ以テ居ラレルノカ、或ハ三年ト云フコトニ切、テ居ルケレドモ、三年後ニモ矢張り此法律ヲ何トカ繼續サス積リデ之ヲヤテ居ルカラ、其方ノ心配ハナイト云フ考デ居ルノカ、ソレナラ何デ臨時國庫補助ト云フヤウナコトニ爲サルノカ、此點ヲ一ツ伺、テ置キタイ、ソレカラ第二ニハ特別會計デアリマスガ、此特別會計ノコトニ付キマシテハ、前議會ニ特別委員會ニ於キマシテモ、豫算委員總會ニ於キマシテモ、皆様ノ御迷惑ヲ顧ミズシテ、長時間私之ニ付テ御尋ネシタノデアリマス、其時ニ文部大臣ハ斯ウ云フ工合ニ明カニ御答辯ニナッテ居ルノデアリマス、特別會計ニ如何ナル方法デスルカト云フヤウナコトヲ今日マデ私ガ心付イテ居ラナカ、タノハ、誠ニ相濟マナカ、タ次第デアリマス、無論サウナルノハ當然デアリマスカラ、成ルタケ近キ將來ニ於テ左様ニ變更サレルヤウニ努力ヲ致シマス、ト云フ御答辯ニナッテ居ルノデアリマス、申セバ特別會計ニハ近キ將來ニハ必ズヤリマスト云フコトヲ御約束ニナッテ居ルノデアリマス、此法律案ヲ見マスト、成程地方長官ノ考ニ依、テハ特別會計ニスルコトヲ得ト云フコトニナッテ居リマスカラ、或ハ大臣ハソレハ特別會計ニスルンダ、地方ニ於

テ他ノ仕事ニ使、タリ、……申セバ土木事業ニ使、タリ、或ハ又社會事業方面ニ使、テ、教師ノ俸給ヲ教師ノ俸給ニ向ケナイト云フヤウナ所ニハ、地方長官ハ必ズソレニ向ケシムベクヤルノデアリマス、特別會計ニスルコトヲ得ト云フ條項ガアルンダカラ、差支ガナイト云フヤウニ、必ズ御答辯ニナルカモ知レマセヌ、併シ是ハ今日ノ現狀ヲ能ク御考ヘニナルト、全ク反對ノ結果ニナルノデアリマス、市町村ニハ相當、政黨ノ弊害ト云ヒマスカ、サウ云フヤウナ有様ニナッテ居ルノデアリマサルシ、町村長ガ縣會議員ニナ、タ者モアリマス、色ニナッテ居リマスカラ、教員ノ俸給ヲ他ノ方面ニ流用シテ居ルヤウナ所デハ、是非特別會計ニ地方長官ガヤリタイケレドモ、サウ云フヤウナコトハ事實出來ナイノデアアル、實際ノ有様カラ申セバ、立派ニ教員ノ俸給ヲ教員ノ方ヘ向ケテ居ルヤウナ所ニハ、ソレハ特別會計ニサレマセウケレドモ、サウ云フヤウナ弊害ノアル所ニハ、殊更ニサウ云フヤウナコトヲ地方長官ノ施行シナイヤウニ出來得ルノデアリマス、デアリマスカラ、特別會計ニ地方長官ノ考ニ依、テ爲スコトヲ得ト云フヤウナ條項ハ、申セバ羊頭ヲ懸ゲテ狗肉ヲ賣ルト云ヒマスカ、名前ダケデア、テ、是ハ實際出來ナイコトデアリマス、ソレヨリハ何デ總テハ特別會計ニスルコトヲ御規定ニナラナカ、タノカ、是ハ前議會ニ於テモ度ソレヲ申上ゲテ、必ズ之ヲスルト云フコトノ御約束ニナッテ居ル、デアリマスカラ、スルコトヲ得ト云フヤウナ、サウ云フ體裁ノ好クシテ其實行ハレナイヤウナコトヨリ

ハ、特別會計ニスベシト云フコトデ、一ツノ特別會計ト云フモノヲ何デ御立テニナラナカ、タノカ、此二點ヲ伺タイト思ヒマス（國務大臣鳩山一郎君演壇ニ登ル）
○國務大臣（鳩山一郎君） 只今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、第一ノ點即チ三箇年ヲ限、テ此單行法ヲ出シタコトハ、寧ロ市町村ニ却テ迷惑ヲ掛クルモノデアルト云フ御質問ニ對シマシテハ、私ハ紀男爵ト其所見ヲ異ニ致シマス、只今ノ單行法ハ非常時匡救對策トシテ已ムヲ得ズ提出イタシタノデアリマシテ、景氣ガ回復シ財界ガ不況カラ免レマシタナラバ、教員俸給不拂等ノ事實モ自然消滅スルコトヲ考ヘマス、若シ假ニ政府ノ豫想ニ反シマシテ、今日ノヤウナ狀態ガ繼續セラル、場合デアリマシタナラバ、此單行法モ其成立ノ趣旨ニ從、テ繼續セラルヤウニ致シタイト思ヒマス、サウ云フヤウニ致シマスレバ、市町村ガ却テ迷惑ヲ受クルト云フヤウナ憂フベキ事態ハ生ゼザルモノト考ヘマス、第二ノ點、特別會計法ヲ何故命ジナカ、タカト云フ御質問デゴザイマスガ、原則トシテ市町村ハ自治ノ團體デアリマシテ、成ルベクハ其權能ヲ尊重イタサセナクテハナラナイト思、テ居リマス、已ムヲ得ザル事態ガ生ジマシタ場合ニ、自治ノ權能ニ國家ガ……或ハ法律ナリ勅令ガ干涉イタシマシテ、其誤ヲ匡スト云フコトハ、國家ノ一分子トシテ已ムヲ得ナイノデアリマスカラ、サウ云フ爲ニ本法ヲ設ケタノデアリマス、地方長官ハ必要ガアレバ必ズ命ズルト思ヒマス、又其必要ノ有無ハ文部省ニ於テモ特ニ監督ヲ嚴重ニ致シマシテ、

國庫カラ補助スル金額ガ他ニ流用セラル、ヤウナ虞ガアル場合ニ於キマシテハ、地方長官ニ命ジテ此法律ノ適用ヲサセタイト思ヒマス、デ地方長官ハ命ズルコトヲ得ト書イテアリマスケレドモ、是ハ唯權能ヲ示シタノデアリマシテ、文部省カラ命ズベシト云フヤウナ訓令ヲ與ヘマシタナラバ、長官ハ必ズ命ズルモノト思フノデアリマス、從テ前臨時議會ニ於キマシテ、紀男爵ニ御約束申上ゲマシタ、特別會計ヲ成ルベク速ニ實施シタイト云フ希望ヲ持、テ居リマスト云フ其御約束ハ、私ハ實ハ完全ニ果シタト思ヒマシテ、寧ロ御褒メノ言葉ヲ頂戴スルヤウナ氣持デ居タノデアリマス
○男爵紀俊秀君 簡單デアリマスカラ此席カラ……只今ノ御答辯ハ全然私共ト……私共ガ考ヘテ居リマスノト全ク反對ノ御意見デ、此點ニ付キマシテハ、實ハ文部大臣ハ總明ナ方デ居ラ、シヤイマシテ、極ク萬事ニ通曉シテ居ラ、シヤリマスケレドモ、甚ダ失禮デアリマスカ、惜ムラクハドウモ此國民教育、初等教育ト云フコトニ付キマシテハ、前議會ニモ申上ゲマシタ通りニ、ドウモ認識不足デ居ラ、シヤルヤウニ私ハ思フノデアリマス、サウ云フヤウナ見地カラ總テ斯ウ云フ工合ニ御説明ニナリマスカラ、何時モ間違、タ方向ニ參リマサユウニ思フノデアリマスガ、ソレニ對シマシテハ、長イコトヲ申スコトハ出來マセヌカラ、私ハモウ是デ質問ヲ打切りマス
○議長（公爵徳川家達君） 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス（近藤書記官朗讀）

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案
特別委員

侯爵松平 康昌君 伯爵酒井 忠正君

子爵野村 益三君 子爵三室戶敬光君
男爵紀 俊秀君 有吉 忠一君

石渡 敏一君 次田大三郎君

津村 重舍君

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、米穀
需給調節特別會計法中改正法律案、政府提
案、衆議院送付、第一讀會

米穀需給調節特別會計法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因
テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和七年八月三十一日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵德川家達殿

(小字及——ハ衆議院修正)

米穀需給調節特別會計法中改正法律
案

米穀需給調節特別會計法中左ノ通改正ス

第四條ノ三中「三億五千萬圓」ヲ「四億五
千萬圓」ニ改ム
千萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル)

○國務大臣(後藤文夫君) 米穀需給調節特
別會計法中改正法律案提案ノ理由ヲ御説明
申上ゲマス、米穀需給調節特別會計ニ於ケ
ル借入金ノ現狀ニ鑑ミマスルニ、此際其
借入限度ノ増額ヲ行フテ、今後ノ米穀事情

ニ應ジテ需給調節上遺憾ナキヲ期シマスル
コトハ、極メテ緊要ナコトデアルト認メラ
レマス、仍テ今回更ニ限度ノ擴張ヲ行ヒマ
スコトト致シマシテ、一億圓ノ限度擴張ノ
案ヲ衆議院ニ先ヅ提出ヲ致シマシタノデア
リマス、所ガ衆議院ニ於キマシテハ一億三
千萬圓擴張ノ趣旨ニ修正ニ相成テ、本院
ニ送付セラレテ居リマス、是ハ政府ガ別ニ
提案イタシマシタ米穀應急施設法案ニ於
テ、朝鮮米等ノ買入等ヲ行フ資金トシテ、
同法案ニ三千萬圓ノ更ニ此上ノ限度擴張ヲ
規定シテアツタノデアリマス、然ルニ衆議
院ニ於キマシテ此三千萬圓ヲモ本法案ニ加
ヘマシテ、一億三千萬圓ト云フコトト修正
シテ參事ヲ譯デアリマス、此修正ハ政府ノ
他ノ案ヲ以テ致サウトシタ趣旨ト同ジ結果
ニナルノデアリマス、政府ハ他ノ法案ニハ
規定シテ置クコトヲ適當デアルト認メタノ
デアリマスルガ、衆議院ハ本法案ニ修正ヲ
致シテ議決サレタ譯デアリマス、何卒御審
議ノ上御協賛アラムコトヲ望ミマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ニ對シテ質
疑ノ通告ガゴザイマス、發言ヲ許シマス、
阪本鈺之助君

(阪本鈺之助君演壇ニ登ル)

○阪本鈺之助君 米穀法ニ關聯イタシマシ
テ、豫テ本員ハ意見ヲ保持イタシテ居リマ
スルノデアリマスルガ、ソレ故ニ此機會ニ
於テ御質問ヲ申シタイト考ヘテ居リマスル
折柄、先刻前田子爵ノ御質問ガゴザイマシ
テ、數項ノ御質問中ノ一ツデアリマシタガ、
米穀法ノ不完全ヲ認メラレマシテ、何等カ
改良ノ方法ニ付テ政府ハ考ガアルカト云フ

ヤウナ御尋ニ對シテ、當局大臣ハ、之ニ代
ルベキ良法ガアルカ否ヤ今折角研究ヲ致シ
テ居ルカラ、良イ方法ガアツタラバ次ノ議
會ニデモ出ス積リデアルト云フヤウナ御答
ガアリマシタ、之ヲ以テマシテ大體政府ノ
御意齎ト云フモノハ知ルコトヲ得タ譯デハ
アリマスルガ、私ハモウチツト之ヲ超越イ
タシマシタコトヲ御尋ヲ致シテ見タイト存
ジマスルガ故ニ、多少ノ重複ヲ厭ヒマセズ
ニ、皆様ノ御清聴ヲ煩ハスヤウナコトニナ
リマシタノデアリマス、少シ暴論ノヤウニ
モゴザイマスルガ、私ハ此米ノ調節ト云フ
コトニ付テ、政府ガ買上ゲラシタリ賣下ゲ
ラシタリスルト云フコトハ、誠ニ膏藥張り
ノ仕方デアツテ、斯ウ云フヤウナコトハ誠
ニ詰ラヌコトデアルト云フコトヲ抑、此事
ヲ原内閣ノ時ニ御始メニナツタ時カラ考ヘ
テ居リマスノデス、所ガ段々是ガ續キマシ
テ今日ニ至ツテ、尙ホ此度ハ此即チ米ノ買入
ノ費用ガ又缺乏シテ來タカラ、一億圓増額
ヲシタイト云フ案ガ出マシテ、更ニ衆議院
ハ之ニ三千萬圓ヲ増シマシテ、遂ニ是ガ成
立チマスレバ四億八千萬圓ト云フ金ヲ此方
ニ使フト云フコトニナルノデアリマス、皆
様モ御熟知ノ通り、此事ノ初メテ起リマシ
タノハ大正十年ノ原内閣ノ時デアリマシテ、
其時ニハ二億圓ト云フ原資金ヲ以テ、之ニ
依ツテ時々買上ゲラシタ又賣拂ヘバ金ハ戻
來ルカラ、此二億圓ノ原資ヲ以テ謂ハバ米
相場ヲスルヤウナ趣向ニナツテ居、タノデア
リマス、所ガソレハナカク「サウ行クモノデ
ナイ、所謂士族ノ商法、政府ノ商法デアリ、
又急ヲ救フト云フノデアリマスカラ、ナ

カナカ儲カル所ノコトデナイ、段々摺減ラ
シテ残り少ナニナツテ參リマシテ、昭和四年
ノ田中内閣ノ時ニ七千萬圓ノ補充ヲ求メラ
レマシテ、二億七千萬圓ト云フモノニナツ
タノデアリマス、其當時モ私ハ確カ豫算委
員ヲ致シテ居リマシテ、左様ニ損ヲナサツ
テハ困ルデナイカト云フコトヲ申シタ記憶
ガアルノデアリマス、然ルニ又二年ヲ距テ
昭和六年ノ濱口内閣ノ時ニ更ニ八千萬圓ノ
増額ヲ求メラレタノデアリマス、斯ノ如ク
七千萬圓ト云ヒ八千萬圓ト云フ増額ヲ求メ
ラレタト云フコトハ即チソレダケ、表向キ
ハ仰シヤイマセヌケレドモ、ソレダケ損ヲ
ナサツテ段々摺減リガシテ行ツテ茲ニ至ツ
タモノデアアルノデアリマス、此度更ニ一億圓
ト云フ額ヲ御求メニナリマスルノハ、ドノ
位殘テ居ルカト云フコトハ、今御尋ネス
ル必要モゴザイマセヌガ、蓋シ非常ニ摺減
リガ致シテ此調節ノ原資ト云フモノハ、殘
リ少ナニナツテ居ルノデアラウト思フノデ
アリマス、今日之ヲ一億圓デスラ餘計ナコ
トダト私共思ヒマスノニ、衆議院バドウ云
フ所ニ見ル所ガアツタカ、尙ホ三千萬圓増
シテ四億八千萬圓ト云フ原資デ以テヤツテ
行カウト云フコトデアアルノデアリマス、其
四億八千萬圓モ又兩三年ノ後ニハ若干ノ増
額ヲ御求メニナルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明
カデアルト思フノデアリマス、是ガ非常ニ
農民ノ爲ニ利益スル所ガアリマスレバ、此
位ノ金ヲ今日經濟ガ大キクナツテ居リマス
ルカラ、大シテ厭フニモ及ビマセヌケレド
モ、私共カラ見マスルト誠ニ先刻申シタ通

リ士族ノ商法、政府ガ唯斯ウ云フコトヲ爲サツテ一時氣ヲ休メスル、胃ガ痛ムカラ曹達ヲチヨット嘗メテ置ク、尙ホ激シケレバ皮下注射ヲスルト云フヤウナコトヲヤッテ居ルノデアッテ、根本的ニ重病ガ治ルノヂヤナイ、斯ウ云フコトヲ何時マデ一體、ドノ内閣デモ因襲ヲ守ッテオ出デニナルノデアリマスガ、之ニ付テ私ハ御尋ラシテ見タインデアリマス、此事ノ行ハレマシタノハ今申シタ通り原内閣ノ時デアリマスルガ、其後高橋内閣、加藤友三郎内閣、山本内閣、清浦内閣、加藤高明内閣、若槻内閣、田中内閣、濱口内閣又ハ更ニ若槻内閣、犬養内閣、今日ノ齋藤内閣ト十一ノ内閣ヲ經テ居リマスルガ、少ナキ時ハ一内閣ニ一年二回位ホカ買上ヲナサツタコトガナイノモアリマスケレドモ、多イ時ニハ十二回位置買タリ賣タリナサツタ内閣モアルノデアリマス、其度毎ニ必ズヤ損ハナサツテオ出デニナルドラウト思ヒマス、承ハル所ニ依レバ、ソレハ澤山ノ米ガ倉ニ積込デアツテ、下ガ腐ッテ來ルナドト云フヤウナコトデ隨分世論モヤカマシイ、故ニ近年ハ米穀法ト云フノガ出來テ居リマシテ、要スルニ又米ヲ買ッテ半分ハ腐ラセル、サウシテ非常ニ安イモノニシテ賣ッテシマウ、ソレダケツツ損ガ立ッテ行ク、斯ウ云フ譯デアリマス、誠ニ私共ノ見ル所デハ詰ラヌコトデアルト思ヒマス、當局ニ言ハセマスレバ決シテ詰ラヌコトデナイ、斯ニ致シテ斯ニニ利益ガアルト仰シヤイマセウカラ、其事ヲ論ズルコトハ見合セタイノデアリマス、各見

ル所ニ依ッテ置ケバ宜シウゴザイマスガ、本員ハ誠ニ詰ラヌコトデアルト思フノデアリマス、カルガ故ニ此内閣ハ少シ出色ノ内閣デアリマシテ、政黨ノ關係モゴザイマセヌシ、所謂強力内閣、斯ウ云フ出色内閣ノ時ニ斯ウ云フコトヲ因襲ノ久シキ……私共カラ申スレバ弊害ノアル事柄ハ、大イニ改革ヲナサツテ、國庫ノ經濟ヲ助ケルト云フコトヲ御考ヘアリタイノデアリマス、極端ニ申シマスレバ是ハ一切御止メニナッタラドウカ、暫ク元ノ原内閣ガ斯様ナコトヲオ始メニナツタ以前ニ遡ッテ、暫ク何等人爲ヲ以テ政府ガ手ヲ著ケルト云フコトヲナサラナカッタラドウカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、少シ他ノコトニナリマスガ、由來此日本ハ瑞穂ノ國ト申シマシテ農ガ本ニナツテ居ル、近頃ハ工業立國、商業立國トカ申シマスルガ、日本ハドウシテモ農ガ本ニナツテ居ルト云フコトニシテ置キタイト思フ、皆様モ御同感デアリマセウガ、初夏ノ候ニ地方ノ方ニ旅行ナドヲ致シテ汽車デ通りマスト、百姓ガ田ヲ耕シテ田植ヲ致ス、暫ク經テ通ルト青々トシタ田地ガ見渡ス限リ見エテ居リマス、秋又通りマスト黃雲飄々トシテ、殊ニ新潟縣邊リヲ通りマスト、何處マデガ境デアアルカト云フマデニ移ッテ、黄金ガ散リ撒カレテ居ッテ、私共ノ古イ頭デ見ルト有難イ、是ガ何時マデ續クデアラウカ、今ノ世ノ中デハ新潟縣下ヲ通ッテ見テモ半分シカ稻ガナカタナドニナリハセヌカト云フコトヲ始終心細ク感ズルノデアリマスルガ、幸ニサウ云フコトハナイ、色ミ申

シマスルケレドモ、案外百姓ハ能ク働イテ呉レマシテ、田植モ秋ノ收穫モ誠ニ立派ニヤッテ居リマスル、是ガ即チ日本ノ誠ニ美ナル所ノ仕來リデアアルノデアリマス、所ガ今年ハドウデアアルカ、イヤ大變出來ガ、氣候モ良シ米ハ今年ハ餘計穫レルサウデアアル、今年ハ豐年ダナ、表面カラ豐年ハイヤダト言ハレマセヌガ、豐年カト言ッテ、チヨット憂ノ顔ヲ見ルト云フコトハ、少シ考ヘノアル者ハ、又豐年デハ政府ガ買上ヲセンナラヌ、米ガ安クナツテ困ルデアラウト云フ……豐年ト云フコト程結構ナコトハナカッタノデアリマスガ、豐年ト云フ聲ヲ聞クコトハ直グ何カオ釣ヲ出サニヤナラヌト云フコトヲ感ズル世ノ中ニナツテ來タ、ソレダカラ政府ガ救フンダト仰シヤルカ知リマセヌガ、今ノヤリ方デハソレヲ救フコトハ出來スト思フ、元來古イコトヲ申サユデアリマスガ、維新前ニハ御承知ノ通り三百諸侯ガ全國ニ分布サレテ居ッテ、又徳川幕府ハ徳川幕府デ八百万石ト稱シテ米ヲ取りマシタガ、皆領主々々ガ米ヲ取りマシテ、之ヲ一旦倉ニ積ンデ置ク、サウシテ或藩ハ大阪ニ行ッテ賣ルトカ、或ハ他ノ藩ニ於テハ東京ヘ持ッテ來テ、淺草邊ニハ札差ト云フ者ガアツテ、ソレニ賣ラセルトカ、各藩々ニ依ッテ米ヲ捌ク方法ガアリマシテ、今日カラ申シマスレバ分布シタ各藩ニ於テノ專賣ノヤウナコトガ行ハレテ居ッテ、又家來ノ者ガ藩主カラ三百石ナリ、二百石ナリ貰ヒマシテモ、領地ノ百姓カラ米ヲ持ッテ來ル、ソレヲ或ハ庄屋ノ方ニ預ケテ置クトカ、色

色方法ガアツテ、今ノヤウニ、今ハ百姓ガ取ッテ來ルト自分ノ食フモノマデズト賣ッテシマウ、サウシテ愈足ラナクナレバ買ッテ來ルト云フノガ百姓ノ情況ニナツテ來タ、地主モ段々衰ヘテ來マスカラ以前ノヤウニ大地主ト云フモノガ澤山ノ米ヲ取入レテ、先ヅ倉ニ積ンデ置イテ徐ロニ賣ルト云フヤウナコトハ少クナツタ、三百年間モ饑饉ナドト云フコトガアリマスルト、今日ノヤウナ外國ト交通ガアリマセヌカラ、小判ヲ咬ヘテ死ンデ居ッタナドト云フ話モアリマスガ、サウ云フコトハ甚ダ迷惑ナコトモゴザイマシタケレドモ、兎ニ角平年デアリ、若クハ豐年デアラナラバ餘計米ガ穫レル、ソレヲ倉ニ充實サシテ置ク、翌年ニモ其餘澤ヲ及ボスト云フコトデウマク行ッテ居ッタケレドモ、米ノ賣リ方ハ今申ス通り一種ノ專賣ノヤウナ形、全部ノ專賣デハアリマセヌガ、專賣ノヤウナ形ガ三百年間行ハレテ居ッテ、第一政府ガ、其時ノ即チ藩主ガ、租稅ヲ取ルノニ米デ取ッテ居ッテ、決シテ金ナドハ取ラヌ、米ヲ取ッテサウシテ相當ナ智慧ノアル人ガ之ヲ預ッテ始末ヲシタノデアリマスガ、維新後ノ此金納ト云フモノニナツテ、一切米ヲ民間デ賣拂ッテ金ヲ政府ニ納メルト云フコトニナツタノデアリマスカラ、ソレガ積リ積ッテ今日ノ米ノ調節ト云フモノガ一ツノ大問題ニナツテ、非常ナ難儀ヲスルコトニナツタト思フノデアリマス、故ニ是ハ一ツ新規疇直シ、ドウモ是ハ唯私ノ一家言ニ過ギヌカモ知レマセヌガ、今ノ米ノ調節法ト云フモノハ少シ誤ッテ居リハセヌカ、一旦

是ハ根本ニ懸テ、マルデ止メテシマッテ、止メテシマッテサウシテ一ツノ方法ヲ考ヘルト云フコトモ一ツノ方法デハナイカト云フ、極ク最消極ノ考ヲ私ハ持ッテ居ルノデアリマス、若シモソレハイカヌ、ソシテ暴論ハイカヌ、ドウシテデモドウカセヌナラヌト云フナラバ、斷然專賣ヲオヤリニナツタ方ガ宜シイと思フ、專賣ノ話ガ出マス、專賣ハナカ／＼大シタコトデアアル、斯ウ云フ聲ニ蔽ハレテ居リマスガ、段々政府者モ覺醒サレテ、ドウシテモ專賣ニナラヌケレバナラヌト云フコトヲ考ヘラレル時代ニナツタト見エマシテ、高橋大藏大臣ハ大臣ノ資格デハアリマセヌガ、專賣ニ稍、近イ意見ヲ發表サレテ居ル、私ハ或モノデソレヲ見マシタノデアリマス、是ハ嘘デナカラウト思フ、モウ一步進ムト專賣ニナルヤウナ意見ヲ、是ハホンノ高橋是清君ノ一個ノ説カモ知レマセヌガ言ッテ居ラレル、大藏大臣ガ左様ナコトヲ考ヘラレルト云フコトハ、確ニ私ニ言ハセルト大進歩デアルト思フノデアリマス、無論當局ノ後藤大臣ノ如キハ、ソレ以上ノ御考ヲ持ッテ居ラシヤルカモ知レマセヌ、デ私ノ今日御尋ネシタイト思ヒマスルノハ、能ク一ツ御考ヘニナリマシテ、今出テ居リマスル米調節ニ付テノ諸案ハ一切撤回シテオシマヒニナッテ、現行ノ法律マデオ止メヲ願ヒタイト思ヒマスガ、サウモ行カヌデセウカラ是ハ代案ノ出來ルマデ、其儘ニ保留シテ置イテ、デ金ガアレバ、金ハドノ位アルカモ知レマセヌガ、其金デオヤリニナルナラバ仕方ガイガ、此金ヲ増

スト云フコトハ一切御免ヲ蒙リタイト云フ消極方針ヲ採リマス、然ラザレバ次ノ議會マデニ專賣法ヲ御定メニナッテ、之ヲ議會ニ提出サレルカ、ソレトモ愚圖々々シテ、此内閣モ此儘ニ御踏襲ニナルト云フ數カハシイコトデアレバ、是ハ誠ニ殘念至極デアリマスガ、ソレハ御尋ネ申ス限リデナイ、唯現内閣ハ私ノ言フヤウナ消極的ニ一ツオヤリニナル勇氣アルカ、若クハ專賣法ヲ御考ヘニナッテ、相當ノ機會ニ於テ御發案ニナルト云フ既ニ多少ノ道程ニアルノデアアルカ、此二ツノ消極ト積極ト、ドチカラ御採リニナル御覺悟ガアルヤ否ヤト云フコトヲ、大體ニ於テハ總理大臣ヨリ御答ヲ願ヒタイ、細目ニ互ッテハ農林大臣ヨリ御答ヲ願ヒタイト存ジマスルガ、是ハ誠ニ少シク書生論デハアリマスガ、此御尋ニ對シテハ内閣モ隨分大所高所カラ御覽ニナッテ、今茲ニ目前ニアル所ノ小ザイ争ヒハ別トシテ、隨分大所高所カラ見テ、ドウシタラ宜カラウト云フコトノ一ツ御考ヲ御答ヲ願ヒタイト存ジマスルノデアリマス

〔國務大臣子爵齋藤實君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵齋藤實君) 只今ノ阪本君ノ御質問ニ御答ハ致シマスガ、政府ニ於キマシテハ此提案ヲ見テ、矢張り是ハ此場合ニ處スルノ案デアリマシテ、今年ノ出來秋ニ際シテ是ダケノ用意ヲ要スルト云フ趣意カラシテ此案ヲ提出イタシマシタ、而シテ米ノ問題ハ御承知ノ如ク農村ノ重大問題デアリマス、前年ヨリ引續キマシタ計畫デアリマスガ、御協賛ヲ得マシテ農林省ニ於テ米穀部ヲ設置シテ、根本的ノ研究ヲ致シテ

居ルノデアリマス、之ニ依リマシテ米ニ對スル根本ノ方針ヲ決定イタス積リニナッテ居リマス、尙ホ詳細ハ主管大臣ヨリ御答ヘ致サセマス

〔國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(後藤文夫君) 只今阪本サンカラノ御尋ノ要旨ハ、現在ノ米穀法ノ如キモノヲ此際止メテシマウ考ヘナイカ、或ハ其反對ニ、進ンデ專賣ノ如キモノヲ設置シタラバドウカ、ソレヲヤルト云フヤウナ多少ノ道程ニデモ調査ヲ踏込ンデ居ルカト云フ御尋デアッタヤウデアリマス、他ノ代ルベキ方法ヲ得ナケレバ只今ノ米穀法ハ存置シテ置ク方ガ、無キニハ優ルト思ッテ居リマス、其邊デ多少御意見ニ違ッタ考デアラウカト思ヒマスル、色々米穀法ニ付キマシテハ批評モゴザイマスルガ、兎ニ角過去ノ經驗ヲ見マシテモ、比較的我國ノ米價ヲ安定サセテ居ルト云フ勸キハアルヤウニ思ハレルノデアリマス、米價ガ著シク需給ノ不釣合ノ關係、其他ノ關係デ騰落ヲ致シマスルコトハ、國民生活ノ安定ヲ餘程害スルノデアリマス、今日ノ米穀法ガアルガ故ニ何程カノソレデ安心ハ與ヘラレテ居ルト思フノデアリマス、併シ其半面ニ御話ノヤウニ米穀需給特別會計ガ段々損失ヲ生ジテ來ルト云フヤウナ事實ハアリマス、其需給會計ノ懷ロガ苦シクナリマスル爲ニ、今回ノヤウナ増額ノ案ヲ出サナケレバナラヌヤウニナッタノデアリマス、デ今後ノ處置トシマシテハ此現在ノ米穀法ヲ以テ満足セズニ、何等

カ更ニ進ンダ根本的ノ解決ニ入ッテ見タイト云フ熱心ヲ希望ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ御話ノヤウニ專賣ニ至ル道程ニ幾ラカ向ッテ居ルカドウカト云ヒマスルト、此專賣ナリ、或ハ價格公定ナリ、國家管理ナリト云フヤウナ問題ハ何レモ非常ニ廣汎ナ關係ヲ持チマシテ、ヤリ方ニ依リマシテハ只今ノ米穀法ノ運用ヨリモ更ニ大キナ國家ニ損害ヲ生ズルヤウナコトヲ考ヘナケレバナラヌカモ知レナイノデアリマス、何等カ今ノ米穀法ヨリモ進ンダ、或ハヨリ良キ稍、根本的ナモノヘ向ッテ見タイ、專賣ノ如キ、國家管理ノ如キ、公定ノ如キ、皆研究ノ題目デアリマスガ、其外ニモ尙ホ名案ガ出ナイトモ限ラナイと思フ、ソレ等ノ方向ニ向ッテ熱心ニ調査ヲ進メテ居ルト云フコトハ申上ゲルコトガ出來ル、從テ只今ノ所デハ今後ノ米穀……事情ニ應ズル爲ニハ、矢張り米穀法ニ依ッテ相當資金ノ餘力ヲ以テ、適切ニ市價數量ノ調節ニ作用ヲ致シテ見タイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス

○阪本鈺之助君 只今申シ落シマシタガ、私ノ述べムトシタノデアリマスガ、思想ニ關係スルノデアリマシテ、農民ノ生活狀態ガ安定セヌト云フコトハ、思想ニ關係イタシマスコトガナカ／＼多イコトデアリマスルガ故ニ、何トカ御考ヲ願ヒタイト思ッタノデアリマス、只今ノ御陳述以上ニ、之ヲ追究スベキ事柄デモアリマセヌカラ之ニ止メマシテ、トウゾ先ニ申述ベマシタ通り、他ノ内閣ト違ッテ、サウ云フヤウナ超然タル

コトニ向テ御研究下サルニハ、最モ適當ナル内閣ト存ジマスガ故ニ、ドウゾ斯ノ如キ一個ノ粗末ナル意見ト御聞流シナク、此問題ニ付テドウゾ御研究ニナラムコトヲ切望イタシテ、質問ハ是デ打切りマス

○議長(公爵徳川家達君) 菅澤重雄君

(菅澤重雄君演壇ニ登ル)

○菅澤重雄君 私ハ只今御提案ニナッテ居リマスル米穀需給調節特別會計法中改正法律案、此件ニ付キマシテ農林大臣ニ簡單ニ質問ヲ試ミヤウト思フテ居リマス、昨日私共所屬ノ研究會ニ於キマシテハ、此問題ヲ慎重ニ取扱フコト云フ精神カラ、農林次官ニオ出デヲ願ヒマシテ、御説明ヲ拜聴イタシマシタ、然ルニ農林次官ノ説明ニ依リマスルト云フト、此米ノ買上ノ資金ヲ一億八千万圓増額イタシマシテ、其中ノ三千万圓ハ朝鮮及臺灣ノ米ヲ買フ金ニ充當スル、而シテ朝鮮及臺灣ノ米ノ買上ハ、此率勢米價ニ依ラズシテ、時價ニ依テ之ヲ買上ゲル、其見積リハ朝鮮ハ一石ガ二十二圓、臺灣ハ十八圓、斯ウ云フコトノ説明ヲ聴キマシテ、私ハ疑ヒヲ起シタノデアリマス、之ヲ内地ノ率勢米價ニ依ッテ……此率勢米價ト云フ規定ヲ存置シテ、之ニ依ッテ買上ゲルコトニナリマスルト、内地ノ米ハ一石ガ十七圓九十錢ト相成ルノデアリマス、内地ノ米ヲ買上ゲルニハ、此率勢米價ヲ適用シテサウシテ十七圓九十錢デ買上ゲ、臺灣、朝鮮ハ時價デ買上ゲルト云フコトデアリマシタガ、此米ノ買出動ノ時ニ、二十五圓ニナッタラ

二十五圓デ買フ、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス、ソコデ私ハ大變均衡ヲ得ナイ話デハナイカト云フコトデ、段々調査ヲ進メマシタ所ガ、第一ニ朝鮮、臺灣ト云フモノハ土地ノ負擔額ガ非常ニ輕イノデアリマス、四五日前ニ拓務省カラ調査ヲ戴キマシタガ、之ニ依リマススト云フト朝鮮ノ一段歩ノ負擔額ト云フモノハ僅ニ七十一錢七厘ガ昭和三年デ、昭和四年度ハ七十二錢一厘、昭和五年度ニ於キマシテハ七十二錢二厘強ニナルノデアリマス、今度臺灣ノ方ハドウデアリマスカト云フト、臺灣ハ僅ニ一段歩ノ田ガ一圓七十四錢四厘、畑ノ方ハ僅ニ五十五錢八厘、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ負擔ノ輕イ所ノ植民地ノ米ヲ時價デ、非常ナ高イ値デ買上ゲテ、内地ノ米ハ率勢米價ニ依ッテ之ヲ買上ゲルト云フコトニナリマシタラバ、甚ダ均衡ヲ得ナイデハナイカ、斯ウ云フ疑ヲ起シタノデ、何故ニ斯ノ如ク植民地ヲ保護シナケレバナラヌカ、斯ウ云フコトヲ一ツ先ツ伺ヒタイノデアリマス、皆サンモ御承知デアリマセウガ、臺灣デハ、砂糖ノ產地デアリマスガ、砂糖ヲ作ラズニ米ヲ作レル所ハ大抵近頃ハ米ヲ作ッテ居ル、日本ノ領分ノ中デ米ヲ作ッテ一番利益ノアル所ハ臺灣デ、一年ニ三回米ガ取レマシテ、サウシテ負擔ガ斯ノ如ク輕減サレテ居リマシテ、而モ第一期ノ米ハ端境期ノ米ノ一番高イ時ニ賣レルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ見マシテ、當局ハ之ニ對シテ植民地ニ飽クマデ

モ、斯ノ如キ不合理ニモ拘ラズ、厚キ保護ヲスルト云フコトニナリマススト云フト、内地ノ農民ヲ非常ニ虐ゲルト云フコトニ一面カラ見レバナナルノデアリマス、故ニ政府ハ此率勢米價ト云フモノニ依ッテ内地ノ米ヲ飽クマデモ十七圓九十錢ニ依ッテ買ハナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、時局匡救ノ意思ニ副ハナイデハナイカ、由來現内閣ハ政黨内閣デ出來ナイ仕事ヲスルト云フトニ我々ハ多大ノ望ヲ囑シテ居リマシテ、今尙ホ飽クマデモ此内閣ニ依ッテ我々ハ救テ貰ハナケレバナラナイ、斯ウ云フヤウナ望ヲ囑シテ居ルノデアリマスルカラ、斯ノ如キ案ニ、率勢米價ナンカニ囚ハレズシテ、サッサト斯ウ云フモノヲ削除シテ、サウシテ何モ農林大臣ノ面目モヘチマモナイ譯ダ、斯ウ云フコトヲ取ッテ大キナ大所高所カラ見テ、サウシテ時局ヲ匡救スルト云フコトニ、邁進セラレタイコトヲ私共ハ熱望シテ居ルノデアリマス、私共ハ飽クマデモ此内閣ヲ支持シテ、サウシテ、國民ノ窮乏、所謂餓死線上ニ彷徨スル所ノ農村、漁村ノ民ヲ救ッテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ何處マデモ私共ハ此内閣ニ望ヲ囑スルト同時ニ、此内閣ニ於キマシテモドウゾ政黨ヤ何カニ囚ハレナイデ、サウシテ此齋藤内閣ノ使命ヲ完ウシテ貰ヒタイト云フコトガ、是ガ國民ノ聲デハナイカト私ハ思フノデス、先日來カラ私ハ僭越ニモ根本問題ニ付テ質問ヲ試ミマシタ所ガ、其後諸先輩ノ方ミガ追々質問サレマシタケレドモ、矢張り私ト同感デ

アッテ、唯私ガ先ニ質問ラシタイト云フコトニ過ギナイ、皆サンノ御意見ガ私ノ意見ト一致サレタト云フコトハ是ハ取りモ直サズ國民全體ノ聲デアルト私ハ認メルノデアリマス、ソコデ若シ齋藤内閣ガ其事ガ出來ナイト云フコトデアラバ私ハ國民ノ忌憚ナキ意見ヲ率直ニ申上ゲレバ、一日モ早ク罷メテ貰イタイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルダラウト私ハ思フ、併ナガラサウ云フコトハ無禮デアリマスカラ何人モ言ハナイガ、是ガ本當ノ民ノ聲デハナイカト云フコトヲ齋藤首相ニ申上ゲタイノデアリマスガ、退席シテ居リマセヌカラ他ノ大臣カラ御傳ヘヲ願ヒタイト思フテ居リマス、兎ニ角此農村救済ニ付テ根本ノ問題ヲ考ヘナイデ、臺灣ノ米ノ問題、若クハ朝鮮ノ米ノ問題ニシテモ農林大臣ハ斯ウ云フコトヲ根本的ニ研究シテ、サウシテ民ニ不平ノ聲ナカラシメ、均衡ヲ得セシメ、公平ナラシメル、斯ウ云フコトヲヤッテ戴キタイノガ我々ノ願望デアリマス、故ニ私ノ質問ノ要點ハ斯ノ如キ時價デ買上ゲルト云フコトニ付テ内地ノ米ニ對シテ決シテ均衡ヲ得ナイト思ヒマスケレドモ、ソレガ正當ナリヤ否ヤ、又斯ウ云フコトヲ考慮セズニ飽クマデモ植民地ヲ保護シタナラバ永久ニ内地ノ農民ハ之ニ脅カサレルト云フコトニナリマスルカラ、何處マデモ植民地ヲ保護シテ差別待遇ヲシテ、サウシテ内地ノ農民ヲ考慮シナイ、斯ウ云フ考デアルカドウカ、此二點ヲ伺ヒマスノデアリマスカラ、ドウゾ明快ナル御

答辯ヲ御願ヒスル次第デアリマス

(國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル)

○國務大臣(後藤文夫君) 菅澤サンノ御質問ニ御答ヲ致シマス、朝鮮ノ米ヲ時價デ買上ゲテ、内地ノ米ヲ率勢米價デ買フノハ朝鮮ノ生産者ヲ保護シ、内地ノ生産者ニ非常ニ薄イコトヲヤルノチヤナイカト云フ御尋デアリマス、我々ノ立テマシタ朝鮮米ノ買上、賣却ハ朝鮮ノ米ガ内地ノ出來秋ニ殺到スルノヲ防イデ、之ヲ成ルベク出來得ルダケ平均的ニ内地ニ入ラセル、斯ウ云フ爲ナノデアリマス、從テ時價デモ買ヒマスガ時價デモ賣ルノデアリマス、率勢米價ノ上値ニ制限サレテ朝鮮ノ米ハ賣ラナイ、斯ウ申スノデモナイノデアリマス、是ハ全體ノ日本ノ内地ノ米ノ市價並ニ需給ノ調節ノ見地カラ植民地カラ入テ來マス米ヲ成ルベク滑ラカニ内地ヘ入レヤウト云フ操作デアリマシテ、植民地全部ノ米ニ付テ行フノデモアリマセヌシ、其一部ニ付テサウ云フ方法ニ依テ内地ノ米ニ對スル出來秋ノ壓迫ヲ防ガウトスルノデアリマス、我々ノ目的ハ内地ノ米ニアルノデアリマス、内地ノ米ノ價格ヲ適當ニ安定サシテ行キタイト云フ方法ノ一ツトシテ行テ居ルノデアリマス、デ内地ニ於キヤシテモ米ノ出來秋ニ市場ニ多ク殺到スルノヲ防グ爲ニ相當ナ金額ヲ助成シテ、米穀ノ貯藏ノ獎勵ヲ致サウトシテ豫算外ノ國庫負擔契約ノ御協賛ヲ願フテ居ルノモ其爲デアリマス、内地ノ米價並ニ米ノ數量ノ調節ニ付テ米穀法ガドウデアアルカト云フ

問題ハ先程阪本サンノ御尋ニモ御答ヲ致シマシタ、是ハ根本的ニ考ヘテ見ナケレバナラヌ問題デアリマシテ、今率勢米價ニ依ル上値下値ノ建方、サウ云フモノヲ全部排除シテシマテ、米ノ需給調節、市價調節ヲ内地デヤルト云フヤウナ問題ハ根本策ト併セテ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、唯下値トカ上値トカ云フ問題ハ只今ノ御話ノアリマシタ金額ガ固定的ナモノデモアリマセヌ、生産費、家計費ト云フヤウナモノノ調査ヲ加ヘルト云フヤウナコトモ米穀法モナシ得ルヤウニナテ居ル次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

(瀬古書記官朗讀)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案特別委員

公爵山縣 有道君 子爵井上匡四郎君
子爵片桐 貞央君 眞野 文二君
男爵三須 精一君 山之内 次君
内藤 久寛君 土田 萬助君
絲原武太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三米穀法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、是ニハ質疑ノ通告ガゴザイマス、上山滿之進君……

米穀法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

昭和七年八月三十一日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵徳川家達殿

米穀法中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

政府ハ災害救助其ノ他緊急ノ必要アリト認ムルトキハ市町村ニ對シ其ノ貯藏ニ係ル米穀ヲ有償若ハ無償ニテ交付シ又ハ一定ノ期間ヲ限り貸付ヲ爲スコトヲ得

第四條 削除

第五條 削除

昭和六年法律第三十一號附則第二項ヲ削ル

附則

政府ハ當分ノ内本法ニ依リ朝鮮及臺灣ニ於テ各其ノ地ノ產米ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得

政府ハ當分ノ内米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲テ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ粟ノ輸入稅ヲ増減又ハ免除スルコトヲ得

本法ニ依リ米穀ノ交付又ハ貸付並朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工又ハ貯藏ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

(上山滿之進君演壇ニ登ル)

○上山滿之進君 只今上程ニナリマシタ衆議院提出ノ法律案、之ニ對シテ先ヅ第一番ニ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイ、是ガ總括的ノ質問デアリマス、續イテ此改正法律案ハ米穀政策ノ上ニ重大ナ關係ノアルモノデアリ

マス、衆議院デハ必ズ慎重ニ審議サレタト思フノデアリマスガ、此席上ニ於テ衆議院ノ方ノ提案ノ趣意ヲ伺フコトハ是ハ勿論許サレマセヌカラ止ムヲ得ズ政府當局ニ對シマシテ衆議院ニ於ケル審議ノ間ニドウ云フ風ノ質問應答ガアツカト云フコトヲ先ヅ承ハリマシテ、併セテ事柄ニ依テハ政府ノ所見ヲ質シタイ斯ウ考ヘマス、第一此根本ノ米穀政策ノ問題カラ簡單ナガラ申シマセヌト此質問ノ趣意ガ分ラナイ、衆議院ノ提出ノ法律案ガ非常ナ米穀政策上重大ナモノデアルト云フ私ノ言フ所以ガ分ラナイ、御迷惑デアリマスガ、少シ御聽キテ願ヒタイ、何故米穀法ヲ設ケタカト、斯ウ云フコトデアリマス、一體其商品ノ中デ米ホド價格ノ暴騰暴落スルモノハナイ、ドンナ商品ヲ調べテ見テモアリマセヌ、勿論時ニ依ルト酷ク暴騰暴落スルモノガアリマスケレドモ、當時暴騰暴落スルモノハ他ニハ無い、是ハ非常ニ國民生活ノ安定ヲ阻害スルモノデアアル、國民生活ト申スノハ必シモ消費者ト云フノデアリマセヌ、全國民ノ半分ハ消費者デアリマスガ、半分ハ生産者デ生産者消費者トモニ即チ全國民トモニ米價ノ暴騰暴落ニ依テ甚シク苦メラレル、何トカシテ此暴騰暴落ニ依テ苦メラレルノ極端ナ場合ニ救ハナケレバナラヌ、而シテ暴騰暴落ノ來ル原因ハ全ク不可抗力デアリマス、天候デアリマス、之ニ備フルガ爲ニ米穀法ト云フモノガ出來タノデ、即チソレヲ買フニシテモ賣ルニシテモ容易ニ賣買

スベキモノデナイ甚シク暴騰暴落シタ場合ニ初メテ米穀法ガ出動スル、斯ウ云フノガ米穀法ノ趣意デアル、斯ウ云フ風ニ私ハ固ク信ズルノデアリマス、是ガ私ノ質問ノ前提ニナル、從テ誠ニ農村ノ人ニハ氣ノ毒ナ申分デアリマスケレドモ、私ハ農村救済ト米穀政策トハ混同シテハナラヌト云フ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、是モ私ハ固ク信ジテ居リマス、今日ノ農村ノ窮狀ハ誠ニ同情スベキモノガアル、是ハ私モチヨットモ異論ガ無イ所ノミナラズ、或ハ同情者ノ過ギタル杞憂デアルカモ知レマセヌ、ケレドモ今現在ノ農村ノ窮迫ヲ救フト云フコトト米穀政策ヲ根本ヨリ動かスト云フコトハ全ク別問題デアリマス、農村ノ窮狀ハ現在ハ甚シキモノガアリマス、ケレドモ是ハ二年カ三年カ、極ク一時ノ問題デアリマス、米穀政策ハソシテ五年ヤ七年、十年、二十年、百年ヲ目標ニシテ居ルモノデナイ、苟モ我々子々孫々米食民族デアラム限りハ米價ノ暴騰暴落ニ依ッテ脅カサレルト云フコトハ忍ブベカラザルコトデアリ、耐フベカラザルコトデアアル、其耐フベカラザル苦惱ヲ或ル場合ニ救フト云フノガ米穀政策ノ根本デアアル、是ハ謂ハハ未來永劫ノ問題デアリマセウ、其未來永劫ノ恆久ノ

根本策タル米穀政策、其根本ノ基礎ヲ一時ノ應急策ノ爲ニ崩サウト云フコトハ宜クアリマセヌ、今日ノ農村ノ窮狀ヲ救フコトハ、惡イドコロデアリマセヌ、必ズ救ハナケレバナラヌノデアリマス、併シソレハ之ヲ救フニ自カラ方法ガアルベキ筈デアアル、其方法ヲ適當ニ考究シテ案出サルレバ直チニ我ハ賛成スル、政府ノ提案モ相應ニソレニ觸レテ居ラレルト思ヒマス、ドウゾ其一ツ今日ノ農村ノ窮境ヲ如何ニスルカ、是ガアルカラ率勢米價ヲ止メナケレバナラヌト云フヤウナ御議論ハ少シ其見當ガ違フテ居リハシマセヌカト云フコトヲ私ハ申サザルヲ得ナイ、衆議院ニ對シテ御質問ヲスル筈デアリマスケレドモ、サウ云フコトハ今出來マセヌカラ、サウ云フ風ノコトニ付テ衆議院ノ本會議ナリ委員會ナリノ席上ニ於テ論議ニ上ツタコトハアリマセヌカ、ト云フコトヲ政府ニ御尋ヲ致シマス、率勢米價ノ問題デアリマスガ、今日ハ率勢米價ト申シマスケレドモ以前ハサウ申シマセヌデ、此米價ノ買入賣渡ニ一定ノ基準ヲ設ケナケレバナラヌト云フコトハ米穀法制定當時カラアツタ論デアリマス、大正十年三月米穀法ガ本院ノ議ニ上リマシテ、特別委員會ニ懸リマシテ、私モ委員ノ席末ヲ汚シマシタ、

此處ニ御出デニナリマス幾人カノ諸君モ矢張り其御仲間デアリマシタ、其時特別委員ノ小委員會デ希望決議ガ成立チマシタ、實ハ此希望決議ヲ私ガ提案シタト記憶イタシマス、其希望決議ハ、米價ノ買入價格及ビ賣出最低價格ニ關シ一定ノ基準ヲ設クルコトヲ努メラレタシ、斯ウ云フ希望決議ガ附キマシタ、是ハ別ニ反對ハ無カッタト考ヘマス、特別委員會デモ反對ハアリマセヌデシタト思ヒマス、サウシテ其希望決議ハ本會議ニ勿論委員長カラ報告ヲサレマシタ、本會議デハ御承知ノ通り、希望決議ナドニ付テハ別段ニ決議ヲ採リマセヌケレドモ、別ニ御異論ハ無カッタト云フコトヲ確ニ記憶イタシマス、私ハ大正十年、今カラ十幾年前ノ古證文ヲ持出シテ、ソレヲ又古證文ヲ突付ケテ、貴族院ハ斯ノ如キ希望決議ヲ承認シテ居ルデハナイカト云フコトヲ開キ直ッテ申サウトハ申シマセヌ、ケレドモ基準價格ヲ設ケナケレバナラヌト云フコトハ、既ニ十數年前カラ貴族院ニ於テ眞面目ニ考ヘラレテ居ッタコトデアルト云フコトハ確ナ事實デアリマス、今日ハ勿論、又今日ノ場合トシテ各、自分ノ信ズル所ニ依ッテ議ヲ決スルノハ當然デアリマスケレドモ、其點ニ付テモ同時ニ御考慮ヲ煩ハシタイト

思フノデアリマス、基準ヲ何故設ケナケレバナラヌカト申シマスト、政府ガ澤山ナ米ヲ持ッテ居ッテ、サウシテソレヲ何時賣ルカ分ラス、又澤山ノ米ヲ何時買フカ分ラヌト云フノデハ到底農家ハ立行カナイ、又消費者モ立行カナイ、ドウシテ宜イカ、適從スル所ヲ知ラス、斯ウ云フコトニナル、ドウシテモ基準ヲ設ケナケレバナラヌト云フコトハ是ハ當然ノ問題デアリマス、其上ニ關係ノ當局者ノ中ニ惡イ者ガアリマスト、ドウ云フ背任ノ行爲ヲスルカモ分ラヌト云フヤウナコトモ考ヘラレマス、種々ノ點カラ考ヘテ、基準ヲ設クベシト云フ希望決議ヲ私ガ提案シタ所以デアリマス、ソレガ漸ク一昨昭和五年ニ至ッテ今日ノ所謂率勢米價ナルモノガ成立ッタノデアリマス、基準ヲ設ケナイデ置クト、一般ノ生産者モ消費者モ適從スル所ヲ知ラヌト云フコトハ常ニ相場ガ變動スルト云フコトデ、大體ハ分ルノデアリマスケレドモ、是ハ何モ是レト云フ證據ヲ持チ出スコトハ出來マセヌ、一ツ諸君ノ御耳ニ入レタイコトハ米ノ買上ト、ソレカラ議員ノ選舉ト云フコトハ、何カ關係ガアリサウニ思ハレル事實ガアリマス、是ハ私此前ノ議會ニ總理大臣ノ施政方針ニ對シテ御尋フシタ際ニ、其政黨ノ弊害トシテ引例イタ

シマシタ、是ハ目的ガ御聽キノ通りノ演說ノ目的デアリマシタカラ、詳シイコトヲ申シマセヌデシタガ、只今ハ米ノ問題デアリマスカラ、此事ヲ少シク當時ヨリハ詳シク申上デマス、米穀法施行以後即チ大正十年カラ一昨昭和五年マデ十年ノ間、米ヲ買上ガタコトガ八遍アリマス、一番最後ノ一昨昭和五年ノ十二月ニ買ヒマシタノハ、米價ガ出來テカラ後デアリマスカラ姑ク別論ニシテ置キマス、ソレカラ一番最初ニ買ヒマシタ大正十年ノ六月、是ハ法律施行ノ當時デ、其當局者ノ意見ガ正シカッタカ正シクナカッタカト云フコトハ別論トシテ、兎モ角眞面目ニ考ヘラレタヤウニ思ハレル、大正十二年ノ二月ニ買ヒマシタ、大正十三年ノ四月ニ買ヒマシタ、昭和二年ノ九月、十一月、十二月トニ買ヒマシタ、昭和四年ノ四月ニ買ヒマシタ、此六回ハ何レモ何ダカ總選舉ニ關係ガアリサウニ私ニハ見エ、大正十二年ノ二月ニ米ヲ買ヒマシタ、其九月ニハ府縣會議員ノ總選舉ガアリマシタ、十三年ノ四月ニ買ヒマシタ、其十三年ノ五月ニハ衆議院議員總選舉ガアリマシタ、昭和二年ノ九月ニ買ヒマシタ、其即チ九月ニハ府縣會議員ノ總選舉ガアリマシタ、翌三年ノ二月ニハ衆議院議員ノ總選舉

ガアリマシタ、其年ニハ九月、十一月、十二月ト引ッカケテ三遍買ッテ居リマス、昭和四年ノ四月ニ買ヒマシタ、此時……昭和四年ノ四月五月ハ町村會議員ノ總選舉デアリマス、其翌年ノ二月ニハ衆議院議員ノ總選舉ガアリマシタ、チヨット御斷リ申シマシガ、衆議院議員ノ總選舉ハ是ハ全國一律デアリマスガ、府縣會議員ト町村會議員ハ、總選舉トハ申シマシタケレドモ全國一律デアリマセヌ、アリマセヌガ、四月、五月ト云フモノガ町村會議員ニ付テハ、全體ノ町村凡ソ一万ノ中デ七千程四月、五月ニ選舉ガアリマス、府縣會ノ方ハ九月、十月ノ極ク上旬ニアラザルモノガ六七府縣アルダケデ、後ハ全部其同ジ頃ニアルノデアリマス、私ハ時ノ當局者ガ總選舉ヲ目標ニシテ米ノ買入レラシタトハ斷言イタシマセヌ、ケレドモ六遍ガ六遍サウ云フ姿ニナッテ居ルト云フコトニ對シテハ、私之ヲ雲煙過眼視スルコトハ出來ナイ、諸君モ私ガ雲煙過眼視スルコトガ出來ナイ幾ラカノ疑ヲ持ッテ居ルト云フコトニ對シテ、私ガ邪推深イ人間デアルト云フ御批評ハナサラスデアラウト私ハ信ジマス、勿論意識的ニ當時ノ當局者ガヤッタノデアアリマスマイ、ケレドモ潛在意識ト云フモノガアルサウデアリマス

カラ、何かチヨットサウ云フ微妙ナ働キガ此處ニ動イタノデアラウカト思ハレルノデアリマス、兎モ角事ノ結果ハ斯ノ如キコトデア、斯ノ如ク大正十年カラズット値段ニ構ハズ米ヲ買ッテ來マシタ、値段ニ構ハズ米ヲ買ッテ來マシタ結果ハドウデアアルカト云フト、今日米穀法ノ借金ガ幾ラニナッテ居ルカ、少クトモ二億圓、是ハモウ明瞭ニ米穀法ノ損失デアリマス、二億ノ以上ガ何千万圓アルカ只今數字ヲ存ジマセヌガ、二億數千万圓ト云フモノハ、泣イテモ笑ッテモ一般會計ガ負擔シナケレバナラヌ損失ニナッテ居ルノデアリマス、是ガ何ノ基準モナクシテボカ／＼思出シ次第ニ買フ、但シ思出シ次第ト云ッテモ相當ノ機關ヲ經ルコトハ勿論デアリマスガ、其相當ノ機關モ分ラナイ、ソレデアリマスガ、其相當ノ機關モ分ラナイ、此點ニ付テモ衆議院デ何カサウ云フ議が出デ審議ガ盡サレテ私ハアラウト信ズルノデアリマス、ソレカラ其次ニ伺ヒタイコトハ、大體衆議院デハ目下ノ……今日ノ米價ヲ安イト云ッタノデアリマスガ、高イト思ッテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フコトデアリマス、私ノ見ル所ニ依レバ凡ソ物ノ値段ト云フモノハ總ベテノ物ヲ通ジテ、ソレガ同ジ歩調デ行ッテ居レバ宜シイモノダ、

斯ウ思フ、或モノハ無暗ニ高ク或モノハ無暗ニ安イト云フコトデハイカヌト思フ、平衡ヲ得テ居レバ宜シイ、之ヲ米價ノ問題ニ適用シマス、米價ハ一般物價ノ標準デ高低シテ居レバ宜シイ、利害關係ヲ持ッ者ハ或ハ高キヲ望ミ、或ハ安キヲ望ミマセウケレドモ、併シ只今申サウニ一般物價ノ總平均ノ割合ニ米價ガ居レバ、先ヅ需要者モ供給者モ、満足デアリマスマイガ不満足ナガラ我慢シナケレバナラヌモノデア、斯ウ云フ風ニ私ハ信ジテ居リマス、ソレガ今日ノ米價ノ根本ニナッテ居ルノデアリマス、サテ衆議院デハドウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマセウカ、私ノ見ル所ニ依レバ大體今日ノ米價ハ値頃ヲ得テ居ルモノデハナイカト斯ウ思ヒマス、ト云フノハ一般物價ノ總平均、ソレヨリ實ハ割高ノ米價ヲ以テ計算シタ多數ニ依ッテモ、先月、七月ノ相場デ行キマス、米價價言ッテ二十圓二十錢位ニナル管デアリマス、米價價ト云フモノハ先刻申シマシタガ一般物價ノ總平均ヨリハ割高デ行ッテ居ルノデアリマス、是ハ數學ノ上デ大分ムツカシイ説明ガ加ハルノデアリマスガ、サウ云フ性質ノモノデアルト云フコトヲ我々ハ理解シテ居レバ宜イ、ソレデ二十圓二十何錢、深川ノ標準中

米が今日ドノ位イタシマスカ存ジマセヌ
ガ、矢張り二十圓……、五六日前ニ見マシ
タ時ニ二十圓八十錢ト思フテ居リマス、サ
ウスルト大體一般物價ノ總平均ニ鈞合シテ
今日ノ米價ハアルト、斯ウ私ノ考デハ見ラ
レル、一般物價ノ總平均ヨリ米價ガ高クナ
ケレバナラスト云フコトガ私ニハ分ラナイ、
又高クナケレバナラスト假ニシテ、ソレデ
ハ何處マデ高ケレバ宜イカト云フコトガ又
問題ニナル、是ハ生産費ノ問題デ申上ゲマ
スト、大變長クナリマシテコンガラガリマ
スカラ申シマセヌガ、兎ニ角モ何故ニ一般
物價ノ平均ヨリ高クナケレバナヌカ、斯
ウ云フコトガ私ニハ分ラナイ、之ニ付テ何
カ審議ガアリマシタカ、之ヲ伺ヒタイ、一
體其率勢米價ヲ止メテシマハウト斯ウ云フ
ノデアリマスガ、率勢米價ヲ止メトラドウ
シヤウトスルノデアリマスカ、矢張り一昨
年以前ノ何ニモ基準ナクシテヤッテ居ラタ
ト同ジヤウニボカノ思ヒ出シ次第ニ買ハ
ウト、斯ウ云フノデアリマセウカ、サウス
ルト私ヲシテ遺憾ナガラ當局ノ潜在意識ヲ
疑ハシメタヤウナ事實ガ、又今後モ發生ス
ルト云フコトヲ覺悟シナケレバナリマセヌ、
サウシテ此上又國庫ノ損失ガ甚シク増スト
云フコトモ覺悟シナケレバナリマセヌ、之

ヲ我ニハ覺悟シナケレバナラヌカドウカ
ト云フコトデアリマス、ソレデ今日率勢米
價ヲ止メニシテ、サウシテ唯今申スヤウニ
其時ノ當局者ノ思ヒノ儘ニ或相當ノ機關ニ
カケテ米ヲ買フト致シテ、何時ドウ云フ時、
ドウ云フ程度ニ買フ積リデアリマスカ、
例ヘバ今日率勢米價ヲ止メテシマフ、今日
買フ、此九月ニ買フト假ニシタナラバ、若
シ其積リデアルト提案者ノ意思ヲ假ニ推測
シタナラバ、是ハ驚クベキコトデアリマス、
今ハ農家ノ手許ニハ米ハ誠ニ少クテ、今
日米ヲ賣テ仕合セスル者ハ幾人アルト考
ヘラレマスカ、極メテ少數デアルト私ハ存
ジマス、此少數ノ人ノ爲ニ斯ノ知キ國庫ガ
負擔ヲシテ、決行シナケレバナラスト云
フコトハドウ云フモノデアリマスカ、又私
ノ見所ニ依レバ、蓋シ又世論モ之ニ同意
スルト思フノデアリマスガ、一般物價ト鈞
合ノ取レテ居ル米價ヲ更ニ上ゲヤウトスル
ト云フコトハ、一體ドウ云フモノデアリマ
スカ、上リヤシマセヌデス、今買フテモ上ラナ
イ、併シ上ゲル法ハアリマス、普通デハ上ラナ
イ、五十万百万買フテ中ニ上ラナイ、九月
ニナッテ米少ナノ時デアリマスケレドモ、大
シテ上ラヌ、之ヲ上ゲヤウトスルノニハ何百
万石カ知リマセヌガ、今若シ殘存米ガ千五

百万石トシマスレバ五百万石モ買ハニヤ上
リマセヌ、三百万石デモ上ルカモ知レマセ
ヌ、併シ是ハ上ルト云フコトハドウ云フコ
トガ上ルコトカト云フト、市場ニアル品ガ
カスレルト云フコトデアリマス、今日窮乏
シテ居ルノハ必シモ農村バカリデハアリマ
セヌ、都會ノ住民モ甚ダシク窮乏シテ居リ
マス、此時此米ヲ、私ニ言ハセレバ不當ニ
鈞上ゲテ、一般物價並ニ非ザル値段ニ鈞上
ゲテ、サウシテ彼等ニ食ハセヤウ、彼等ハ
食フダケノ力ガヤットアルカナイカデア
ル、其者ニ高イ米ヲ食ハセルト云フコトハドウ
云フコトカ、斯ウ云フコトハドウシテモ私
ハ衆議院ノ議ニ上ボラナケレバナラスト考
ヘテ居ル、之ヲドウ云フ風ニ衆議院ノ諸君
ハ考ヘテ居リマセウカ、普段ノ時デモナカ
ナカ此米ノ價格ヲ鈞上ゲルト云フコトハ易容
ナラスコトデアリマス、私ハ大正七八年ニ當
局者ノ末席ニ連リマシテ、米騒動ノ苦難ヲ
嘗メテ居リマシテ、誠ニ慘澹タルモノデア
リマシタ、其時ト此時トハ又違ヒマス、世
ノ不景氣、窮乏シテ居ル狀況モ違ヒマス、
思想ノ問題モ違フテ居リマス、此時若シサウ
云フコトヲ起シタナラバドウ一體スルノデ
アリマスカ、私ハ道理ガアツテサウスルノ
ナラバ是ハ已ムヲ得マセヌ、是ハ千万人ト

雖モ我任カン、ケレドモ一般物價ト鈞合ノ
取レテ居ル米價ヲ引上ゲテ、若シサウ云フ
騒ギヲ起シタナラバ、是ハ何トシテモ申譯
ノナイコトデアリマス、此邊ヲ能ク考ヘテ
賞テ置カナケレバナラヌノデ、其點ニ付
テ必ズ私ハ相當ナ論議ノ出タコトデアラウ
ト思フノデアリマス、ソレヲチョット伺ヒ
タイ、ソレカラ率勢米價ノコトヲチョット
簡單ニ申上ゲタイト思フノデアリマスガ、
反對ノ理由ノ中ニ、表立タ理由デハアリ
マセヌガ、コソノ聞ク理由ニ依レバ、率
勢米價ト云フノハ分ラナイ、ソシテ分ラナ
イモノヲト、斯ウ云フ聲ガヨク出ルノデア
リマス、分ラナイト云フコトハ誰モ恥ト思
ヒマシテ、分ラナイカラ恥ト云フコトデ率
勢米價ニハ反對ト云フコトヲ、公ニ云フ人
ハアリマセヌガ薩デハコソノ出ル、併シ
率勢米價ハ分ラナイト云フノハ、分ラナイ
答ノモノヲ分ラセヤウトスルカラ分ラナイ、
分ル答ノ範圍デ分テ居レバ分ルノデア
リマス、デ我々議員トシテ國政ニ參與シテ
行クノニ付テ、高等數學ノ初メカラヤッテ
行カナケレバ議員ノ席ニ居ラレヌトナッ
タ一時モ私共居ラレマセヌ、ドウ云フ譯カ
ト申シマス、率勢米價ト云フノハ本當ノ
問題ノ根幹ヲ言ヘバ、問題ノ本ヲ言ヘバ極

ク簡單デアル、物價標準論デアル、私ガ先
刻來申シマシタ一般物價ガ斯ウ云フ程度ニ
來テ居ル、此程度ニ米價モ高低シテ居レバ
先ヅ不足ヲ云フ筋ハナイデヤナイカ、其一
般物價ヲ標準ニシテ米價ヲ割出スト云フノ
ガ率勢米價デアル元ヲ言ヘバ……唯其過去
ノ歴史、明治三十三年カラノ歴史ニ於テ、
三十三年カラ明治六十五年、是マデノ間ノ
一般物價ノ指數ノ線ガ出來マス、ソレヘ持
テ行テ米價ノ線ヲ持テ來テ兩方合セルト
米價ノ線ノ方ガ少シ上ヘ行ク、何時モ上
ヘ行ク、唯三十餘年ノ中デ七年カ下ヘ行
タコトガアル、普通上ヘ行ク、上ヘ行ク
ノハドウ云フ理窟カト云フコトハ私ニモ分
ナライ、兎ニ角事實ハ上ヘ行テ居ル、其
少シバカリ上ヘ行テ居ルノヲ、今度ハ基
準米價ヲ定メル時ニハ見テヤラウト云フノ
デアル、一般物價ノ總平均ヨリ少シ上ヘ行
テ居ルカラ、ソレヲ見テヤラウ、其見テヤ
ルニ付テドウシタラ宜イカト云フコトニハ、
私ニハチットモ智慧ガ付キマセヌデシタガ、
數學ノ専門家ガ、ソレハ「リスト・スクエ
ア」最小自乘法ヲ使フト出來ル、デスカラ
最小自乘法ヲ使フト出來ルト數學ノ専門家
ガ言ヒマスカラ、出來ルト云フコトヲ向フ
ガ言ヒマスカラソレヲ信ズル、信ジテ其通

リサシテ置ケバ宜イ、ソレヲ今度數學ノ專
門ニ入テ色々考ヘルカラ、物ガムヅカシ
クナル、我々議員トシテ論議スルノニハ物
價ノ趨勢論デモウ澤山デアル、少シノ數字
ハ無論違ヒマス、誠ニ餘談ヲ申スヤウデ恐
リ入マスガ、私モ全く知ラヌデハ濟マスト
思ヒマシテ、最小自乘法ノ講釋ヲ聽キマシ
タノデス、聽キマシタガ元々數學ノ素養ガ
餘リアリマセヌノデドウモ能ク分リマセヌ、
長イコトヲ骨ヲ折リマシテ漸ク何トカ分
タヤウナ氣ガ致シマシタ、オカシナ話デア
リマスガ、眞面目ニ謹ンデ聽イテ居リマス
ト分タヤウナ氣ガ致シマスガ、ヒョイト
氣ガ外レマストスツカリ駄目ニナッテシマ
テ迎モ分ラナイ、分ルモンデナイノデ、此
處ニオ出デニナリマスガ藤澤博士ハ是ハ御
分リデアリマス、貴族院ニ五人、衆議院ニ
三人ト云フコトヲ聞キマシタガ、ソレハド
ウカ知レマセヌケレドモ、併シ非常ナ少數
ナ人シカ分ラヌ、専門家シカ分ラヌ、専門
家以外ノモノハ分ラナイト云テチヨットモ
恥デナイ、私ハ大イニ自分デハ分ラヌト云
フコトヲ此處デ公言ヲ致シマス、分ラヌコ
トヲ無理ニ分ラサウトスルカラ物ガムヅカ
シクナル、我々ハ物價ノ標準論ト云フコト
デ行ケバ宜イノデ、今ノ最小自乘法ヲ適用

スル爲ニ、ソレヨリ少シ色ガ著イテ結果ガ
變テ來ルノダ、斯ウ思ヘバ宜イト思フノ
デアリマス、政府當局ニハ御迷惑カ存ジマ
セヌガ、衆議院デ只今私ノ御尋ネシタコト
ガ問題ニナラナカッタ、ナラナカッタデ宜
シウゴザイマス、問題ニナリマシタラ、ナ
リマシタデ其コトヲ要領ヲ御話シテ願ヒタ
イ、之ニ先立ッテ、先ヅ第一ニ此案ニ對ス
ル政府ノ態度ヲ御表明ヲ願ヒタイ

〔國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(後藤文夫君) 只今ノ御質問ニ
御答ヲ致シマス、唯衆議院ノ委員會及本會議
ニ於キマシテ行ハレタ問答ノ總テヲ、私出席
シナイ場合モアリマシテ伺ハヌ所ガアリマ
ス、マダ速記録ヲ見ル暇モゴザイマセヌノ
デ、確ト御答ガ出來兼ネル點ガアルト思ヒ
マスガ、私ノ記憶ノアリマス所ダケデ甚ダ
申譯ハアリマセヌガ、簡單ニ御答ヲ致シテ
置キタイト思ヒマス、米穀法ト云フ根本ノ
規定ヲ臨時ノ應急ノ施設ノ爲ニ動カサナイ
方ガ宜イデハナイカト云フ議論ハ、質問應
答ノ間ニ行ハレマシタ、ソレカラ米ノ買入
ノ時期ト選舉トノ關係ト云フコトハ、私確
トサウ云フ議論ガ出マシタカドウカト云フ
コトヲ記憶イタシテ居リマセヌ、ソレカラ
現在ノ米價ガ適當ナ値段デアルカドウカ、

是モサウ云フ議論ガ出マシタカドウカ、確
ト分リマセヌガ、現在ノ米價ガ物價ト相當
ノ割合ヲ保テ居ルノデアルト云フヤウナ
話ハ出タト記憶イタシテ居リマス、ソレカ
ラ率勢米價ト云フモノヲ無クスレバ、買入、
賣渡ノ基準ガ無クナル、ソレデハ勝手ナ値
段デ賣リ、勝手ナ値段デ買フト云フヤウナ
コトガ行ハレテハ、生産者消費者雙方ノ爲
ニ非常ニ不安心デアアルノデハナイカト云フ
ヤウナコトガ、質問應答ノ間ニ話ガ行ハレ
テ居リマシタ、尙ホ色々御尋ネガアリマシ
タヤウデスガ、チヨットソレ以上ハ政府委員
デモ聽イテ居リマスレバ尙ホ補足シテ申上
ゲルカモ知レマセヌ、尙ホ率勢米價ノコト
ニ付テドウ考ヘルカ、私ハ米穀法ノ根本ニ
互テ改正ヲ加ヘルコトハ今時機デハナイ
ト思ヒマス、米穀ノ根本對策ヲ講ズル時ニ、
全體ニ互テ、或ハ根本ノ考ヲ變ヘテ掛
ラナケレバナラヌカモ知レマセヌ、苟モ恒
久ノ制度トシテ是ガ樹立サレテ居ル時ニ、
一時應急ノ處置ノ爲ニ根本ヲ改正スルニハ
及バナイ、此根本ノ規定ノ下ニ於テ、運用
ニ出來ル限リノコトヲ致シテ、現在ノ事情
ニ適應スレバ宜シカラウト思テ居ルノデア
リマス

〔子爵三室戶敬光君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 三室戸子爵ハド
ウ云フコトデアリマスカ

高橋源次郎君 山上 岩二君
瀬川彌右衛門君

○子爵三室戸敬光君 只今上程ニナッテ居
リマス米穀法中改正法律案ハ大層重要ナ案
ト考ヘマスルガ故ニ、之ガ審査ニ要スル委
員ヲ特ニ十五名トシ、議長ニ於テ御指名ア
ラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 書記官ヲシテ報
告ヲ致サセマス

○子爵植村家治君 賛成

(瀬古書記官朗讀)

○議長(公爵德川家達君) 上山君ハ、質疑
ハ終了シクト心得テ宜シウゴザイマスカ

本日市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法
案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長
ノ氏名左ノ如シ

○上山満之進君 宜シウゴザイマス

委員長 伯爵酒井 忠正君
副委員長 男爵紀 俊秀君

○議長(公爵德川家達君) 三室戸子爵ノ、
本案ノ特別委員ノ數ヲ十五名トナス動議ニ
同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
製絲業法案

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマ
ス、委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サ
セマス

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
製絲業法案

(起立者多數)

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
製絲業法案

(小林書記官朗讀)

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
製絲業法案

米穀法中改正法律案特別委員
侯爵佐佐木行忠君 伯爵柳原 義光君
子爵東園 基光君 子爵岡部 長景君
男爵斯波忠三郎君 小松謙次郎君
内田 重成君 上山満之進君
男爵近藤 滋彌君 男爵稻田 昌植君
菅原 通敬君 馬場 鎮一君

○議長(公爵德川家達君) 此際諸君ニ御諸
リヲ致シタイコトハ、只今書記官ノ報告イ
タシマシタ衆議院ヨリ受領イタシマシタ製
絲業法案、産業組合中央金庫特別融通及損
失補償法案、産業組合法中改正法律案、産
業組合中央金庫法中改正法律案
案

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス

製絲業法案

製絲業法案

第一條 本法ニ於テ製絲業者トハ命令ヲ
以テ規定スル者ヲ除クノ外器械生絲ノ
製造ヲ業トスル者ヲ謂フ

製絲業法案

器械生絲ノ製造工場ヲ有スル産業組合
及産業組合聯合會ハ命令ヲ以テ規定ス
ルモノヲ除クノ外本法ノ適用ニ付テハ
之ヲ製絲業者ト看做ス

製絲業法案

第二條 製絲業者タラントスル者ハ主務
大臣ノ免許ヲ受クベシ

製絲業法案

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身
分ヲ證明スベキ證票ヲ携帯スベシ

製絲業法案

第七條 第二條第一項ノ規定ニ違反シタ
ヲ以テ之ヲ定ム

製絲業法案

第三條 主務大臣ハ製絲業者ニ對シ製絲
業ノ統制上必要ナル事項ヲ命ズルコト
ヲ得

製絲業法案

第四條 製絲業者免許ヲ受ケタル日ヨリ
一年以内ニ事業ヲ開始セザルトキハ主
務大臣ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

製絲業法案

製絲業者引續キ一年以上其ノ事業ノ全
部又ハ一部ヲ爲サザルトキハ主務大臣
ハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ制
限スルコトヲ得

製絲業法案

第五條 製絲業者ノ所爲ニシテ本法ニ基
キテ發スル命令若ハ處分ニ違反シ又ハ
公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ム
ルトキハ主務大臣ハ其ノ免許ヲ取消シ
又ハ其ノ事業ヲ制限シ若ハ停止スルコ
トヲ得

製絲業法案

第六條 主務大臣又ハ地方長官取締上必
要アリト認ムルトキハ製絲業者ニ對シ
事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ當該
官吏ヲシテ事務所、營業所、工場、倉
庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ若ハ帳簿物件
ヲ檢査セシムルコトヲ得

第七條 第二條第一項ノ規定ニ違反シタ

ル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五

百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル制

限又ハ禁止ニ違反シタル者

二 第三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ

タル者

三 第四條第二項ノ規定ニ依ル制限又

ハ第五條ノ規定ニ依ル制限若ハ停止

ノ處分ニ違反シタル者

四 正當ノ理由ナクシテ第六條ノ規定

ニ依ル臨檢検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌

避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ虚偽ノ陳述

ヲ爲シタル者

第九條 製絲業者正當ノ理由ナクシテ第

六條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リタルトキ

ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 製絲業者ハ其ノ代理人、戶主、

家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ

本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違

反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザル

ノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルコトヲ得

ズ

第十一條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル

命令ニ依リ製絲業者ニ適用スベキ罰則

ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締

役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員

ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ

其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未

成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ製絲業者タル者又ハ其

ノ承繼人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施

行ノ日ヨリ十年間之ヲ本法ニ依リ免許ヲ

受ケタル者ト看做ス但シ本法施行ノ日ヨ

リ十年以内ニ命令ノ定ムル條件ヲ具備シ

主務大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ限り其ノ

期間經過後ト雖モ仍免許ハ其ノ效力ヲ有

ス

○國務大臣(後藤文夫君) 製絲業法案提出

ノ理由ヲ御説明イタシマス、製絲業ガ我國

ノ重要産業ノ主ナルモノデアルト云フコト

ハ申ス迄モアリマセヌ、然ルニ此製絲業ニ

ハ大小ノ企業ガ時ノ狀況ニ依リマシテ亂立

イタスノデアリマス、就中小規模ノ工場ハ

甚ダ多數ヲ占メテ居ルノデアリマス、是等

ノ小規模ノ工場ハ其設備寡少ノ結果ト致シ

テ、生産量ニ販賣上ノ不利ハ少ナクアリマ

セヌ、又其資力モ十分デアリマセヌ爲ニ其

經營ノ基礎ガ堅實ヲ缺キマシテ、製品ノ改

善ヲ妨グルノミナラズ、一朝絲價ノ變動ニ

際シマシテハ、自ラ之ニ善處スルコトガ出

來マセヌ、朽廢工場ガ續出シテ、累ヲ養蠶

者從業職工等ニ及ボスコトノアリマスノ

ハ、近イ過去ノ經驗ガ痛切ニ物語ッテ居ル

所デアリマス、又時ニ絲價ノ好轉イタシマ

スルト、忽チ新設ノ副業工場ガ増加シテ、

其興廢誠ニ常ナイ有様デアリマス、ソレガ

爲メ蠶絲業界ノ安定ヲ妨ゲ、累ヲ蠶絲業全

般ニ及ボシ、延テ國民經濟ニモ及ボスコトガ

少ナクナイノデアリマス、故ニ斯業ニ於ケ

ル此弊害ヲ矯正スル方策ヲ講ズルコトハ、

蠶絲業ノ健全ナル發達ヲ期スル上ニ於テ極

メテ緊要デアリ、又只今ノ事情ニ於テハ是

ガ極メテ適切ナル事柄デアルヤウニ思フノ

デアリマス、サウシテ之ガ方策ヲ考ヘマス

ルト、製絲業ヲ免許事業ト爲スコトガ最モ

適當デアリマス、即チ之ニ依リマシテ製絲

業經營ニ一定ノ基準ヲ與ヘ、既存事業ハ一

應總テ其存續ヲ認メマスケレドモ、小規模

ノ工場ニ付テハ指導助成ニ依リ成ルベク速

ニ整理ヲ爲サシメルト共ニ、製絲業ニ對シ

テハ政府ニ於テ之ガ監督取締ヲ加ヘ、尙ホ

必要ニ應ジテハ統制ヲ加フルノ權能ヲモ留

保スルコトニ致シタイト考ヘルノデアリマ

ス、製絲業法案ハ右ノ諸點ヲ要旨トシテ居

リマス、之ガ施行ニ依ッテ製絲業ノ統制ヲ

圖リ、蠶絲業界全般ノ健全ナル發達ニ資シ

タイト考ヘルノデアリマス、是ガ本案ヲ提

出シタ所以ノ理由デアリマスガ、本案ハ衆

議院ニ於テ原案ニ多少ノ修正ガアリマシタ

ケレドモ、本案全體ノ目的ヲ達スル上ニ於

テ、大ナル支障ヲ來スモノデアリマセ

ヌ、政府ハ之ニ同意ヲ致シタノデアリマ

ス、何卒慎重御審議ノ上速ニ御協賛アラム

コトヲ切望イタシマス

○子爵三室戶敬光君 只今上程サレマシタ

ル製絲業法案ハ、前法案ト同様重要ナル法

案ト考ヘマスルガ故ニ、之ガ審査ニ要スル

委員ノ數ヲ十五名ト定メ、議長ニ於テ御指

名アラムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 三室戶子爵ノ動

議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名

ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

製絲業法案特別委員

侯爵大隈 信常君 伯爵兒玉 秀雄君

子爵曾我 祐邦君 子爵織田 信恒君

男爵平野 長祥君 男爵藤村 義朗君

男爵松岡 均平君 藤澤幾之輔君

藤田 四郎君 室田 義文君

坂田 貞君 金杉英五郎君

磯村豊太郎君 森 廣三郎君

佐々木八十八君

○議長(公爵德川家達君) 產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案、產業組合法中改正法律案、產業組合中央金庫法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、後藤農林大臣

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和七年九月一日

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵德川家達殿

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案
產業組合中央金庫特別融通及損失補償法

第一條 產業組合中央金庫ハ所屬信用組合聯合會又ハ所屬信用組合ニ對シ其ノ固定セル債權ヲ資金化シテ金融ノ疏通ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得

第二條 產業組合中央金庫ガ前條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲スハ本法施行ノ日ヨリ三年トシ其ノ融通ノ期限ハ本法施行ノ日ヨリ十五年ヲ超ユルコトヲ得ズ
第三條 產業組合中央金庫法第十四條ニ規定スル第十三條第一號ノ規定中貸付年限及償還方法ニ關スルモノ竝ニ同法第十四條ニ規定スル第十三條第二號但書ノ規定ハ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ニハ之ヲ適用セズ
第四條 產業組合中央金庫ガ第一條ノ規定ニ依ル特別融通以外ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ノ額及之ヲ爲ス爲發行スル產業債券ノ額ハ產業組合中央金庫法第十三條第二號但書ノ制限ノ計算上之ヲ算入セズ
第五條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第六條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム
第七條 本法中主務大臣トアルハ農林大臣及大藏大臣トス
附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
產業組合法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和七年九月一日

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵德川家達殿

(小字ハ衆議院修正文、一ハ同削除ノ符號ナリ)

產業組合法中改正法律案

第二條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ有限責任タルコトヲ得ル組合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一 前條第四項ノ信用組合ニシテ定款ノ定ムル所ニ依リ同條第一項第二號乃至第四號ノ事業ヲ兼ネザルモノ

二 定款ノ定ムル所ニ依リ經濟ニ必要ナル物ノミヲ取扱フ購買組合ニシテ

前條第一項第一號若ハ第二號ノ事業又ハ同條同項第四號ノ事業中產業ニ必要ナル設備ヲ利用セシムル事業ヲ兼ネザルモノ

第六條ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第六條ノ三 本法中地方長官トアルハ區域方道府縣ノ區域ヲ超ユル產業組合ニ付テハ之ヲ主務大臣トス

前項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第九條第一項第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五ノ二 保證責任組合ニ在リテハ保證金額ニ關スル規定

五ノ二 保證責任組合ニ在リテハ保證金額ニ關スル規定

五ノ二 保證責任組合ニ在リテハ保證金額ニ關スル規定

五ノ二 保證責任組合ニ在リテハ保證金額ニ關スル規定

第十條ノ二 法人ハ産業組合ノ組合員タ

ルコトヲ得ズ但シ農事實行組合、養蠶實行組合其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ法人ノ産業組合ノ組合員ト爲ルニ付必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條ノ三 農事實行組合ハ一定ノ地區内ノ農業者ヲ以テ之ヲ組織シ組合員ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

農事實行組合ハ法人トス
農事實行組合ノ地區ハ部落其ノ他之ニ準ズル區域トス

第十條ノ四 蠶絲業組合法第二十條乃至第二十六條及第四十一條ノ規定ハ農事實行組合ニ之ヲ準用ス

第十條ノ五 組合員タル法人ガ其ノ財産ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於テハ法人ノ組合員ノ全員ハ其ノ法人ガ産業組合ニ對シ負擔スル一切ノ債務ニ付連帶無限ノ責任ヲ負擔ス

第十條ノ六 組合員タル法人ハ其ノ組合員ガ脱退シタルトキハ遲滞ナク産業組合ニ之ヲ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テハ脱退シタル組合員モ亦其ノ通知ヲ爲スコトヲ得

第十條ノ七 組合員タル法人ノ組合員ガ其ノ法人ヨリ脱退シタル場合ニ於テハ

脱退シタル組合員ハ前條ノ脱退ノ通知

前ニ生ジタル法人ノ産業組合ニ對スル債務ニ付其ノ脱退ノ通知後二箇年間第十條ノ五ノ規定ニ依リ責任ヲ負擔ス

第十條ノ八 組合員タル法人ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生ジタル法人ノ産業組合ニ對スル債務ニ付テモ亦第十條ノ五ノ規定ニ依リ責任ヲ負擔ス

第三十一條ノ三 理事ハ少クトモ每事業年度一同通常總會ヲ開クコトヲ要ス

第三十二條中「第六十條」ヲ削ル
第四十七條ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ定款ヲ以テ六箇月ト爲スコトヲ得

第四十八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第四十八條ノ二 組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル組合員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第五十條第一項ヲ左ノ如ク改ム
定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ問ハズ組合員ハ六箇月前ニ豫告ヲ爲シ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得但シ第四十七條但書ノ規定ニ依リ事業年度ヲ六箇月ト爲シタル組合ニ在リテハ豫告ハ三箇月前ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル

第六十二條ノ二 組合定款ニ定メタル存立時期ノ滿了ニ因リテ解散シタル場合ニ於テハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ組合ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場

合ニ於テハ存立時期滿了ノ日ヨリ一箇

年内ニ認可ヲ申請スルコトヲ要ス
前項ノ繼續ニ同意セザル組合員ハ組合繼續ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做ス

第七十六條第二項中「及購買組合聯合會」ヲ削ル

第七十六條ノ三 道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ對シ手形ノ割引ヲ爲スコトヲ得

第七十七條第二項ヲ左ノ如ク改ム
産業組合聯合會ノ組織ハ保證責任トス
同條第三項中「保證責任産業組合聯合會」ヲ「産業組合聯合會」ニ改ム

第七十九條第三項ヲ削ル
第八十條ノ二 産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ有スベキ出資口數ハ百口ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五百口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第八十一條中「本章ニ規定アルモノ」ノ下ニ「及第十條ノ五乃至第十條ノ八ノ規定」ヲ加ヘ同條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ第七條中七人以上トアルハ之ヲ二人以上トシ第六十二條第一項第四號中七人未滿トアルハ之ヲ二人未滿トス

第九十二條中「第五條乃至第七條」ヲ「第五條乃至第六條ノ二、第七條」ニ改ム

附則

第一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 本法施行前ニ設立シタル有限責任ノ組合（第二條第一項但書ノ改正規定ニ掲グル組合ヲ除ク）又ハ聯合會ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ三箇年ヲ限リ

第二條第一項但書及第七十七條ノ改正規定ニ依ラズ仍從前ノ規定ニ依ル

第三條 前條ノ組合ハ同條ノ期間内ニ總會ニ於テ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テスル決議ニ依リ其ノ組織ヲ變更シ保證責任ノ組合ト爲スコトヲ得

前項ノ組織變更ニ同意セザル組合員ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ組織變更ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ前條ノ聯合會ニ之ヲ準用ス

第四條 附則第二條ノ組合又ハ聯合會ニシテ同條ノ期間内ニ其ノ組織ヲ變更シテ左ニ掲グル組織ト爲サザルモノハ其ノ期間滿了ノ日ニ於テ解散ス

一 組合ニ在リテハ保證責任又ハ無限責任

二 聯合會ニ在リテハ保證責任
第五條 第十條ノ二第一項ノ改正規定ニ依リ産業組合ノ組合員タルコトヲ得ザル法人ニシテ本法施行ノ際現ニ産業組

合ノ組合員タルモノハ當分ノ内仍其ノ組合員タルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第十條ノ五乃至第十條ノ八ノ規定ヲ適用セズ

第六條 蠶絲業組合法第二十三條第二項第一號中「第一號乃至第三號、第十號及第十一號」ヲ「第一號、第二號及第四號」ニ改メ同條同項中第二號ヲ削リ第三號ヲ第二號トシ第四號ヲ第三號トス

第七條 蠶絲業組合法第二十六條ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ民法第四十八條及第七十七條中一週間トアルハ之ヲ二週間トス

產業組合中央金庫法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和七年九月一日

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長 公爵徳川家達殿

產業組合中央金庫法中改正法律案
產業組合中央金庫法中左ノ通改正ス

第五條第二項ヲ左ノ如ク改ム

產業組合聯合會ノ有スベキ出資口數ハ千口ヲ、產業組合ノ有スベキ出資口數ハ五百口ヲ超ユルコトヲ得ズ

第七條中「本法ニ別段ノ規定アルモノ」ノ下ニ「及產業組合法第十條ノ五乃至第十條ノ八ノ規定」ヲ加フ

第八條第一項中「營業稅」ヲ「營業收益稅」

ニ改ム

第十五條 產業組合中央金庫ハ左ノ方法ニ依ルノ外業務上ノ餘裕金ヲ運用スルコトヲ得ズ

一 國債證券、地方債證券又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ買入ヲ爲スコト

二 大藏省預金部若ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金ト爲スコト

三 產業組合聯合會又ハ產業組合ニ對シ短期貸付ヲ爲スコト

前項ノ餘裕金運用ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十三條中「一箇年」ヲ「六箇月」ニ改ム
第二十五條第二項中「農商務大臣」ヲ「農林大臣」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第二十三條ノ改正規定ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル)

○國務大臣(後藤文夫君) 只今議題トナリ

マシタ政府提出ノ三案ノ理由ヲ御説明申上

ガマス、現下經濟界ノ異常ナル不況ノ結果、農村都市ニ於ケル中小產者ノ主要ナ金融機關デアリマス信用組合及信用組合聯合會ノ貸付ノ中ニハ、固定貸付トナテ居ルモノ

ガ少クナイノデゴザイマス、之ガ爲ニ產業組合ノ活動ヲ阻碍シ、金融ノ梗塞ヲ來シ、是等中小產者ノ困憊著シキモノガゴザ

イマス故ニ、信用組合及信用組合聯合會ノ固定セル債權ヲ資金化シテ、金融ノ疏通ヲ圖ルコトガ極メテ緊要ナノデゴザイマス、

仍テ茲ニ此法律案ヲ提出イタシマシテ、產業組合ノ中樞金融機關デアアル產業組合中央金庫ヲシテ特別融通ヲ爲サシメ、之ニ依リ

テ生ズル同金庫ノ損失ハ三千万圓ヲ限度トシテ政府ニ於テ之ヲ補償セムトスルノデア

リマス、而シテ其損失ノ決定ヲ公正ナラシムル爲、勅令ヲ以テ產業組合中央金庫特別融通損失審査會ヲ置クコトトシ、又產業組

合中央金庫ニ對スル補償ハ公債ノ交付ヲ以テ之ヲ爲シ得ルコトト致シタノデアリマス、

以上述べマシタル如ク、本案ノ趣旨トスル所ハ、現在ノ梗塞セル中小產者ノ金融ノ疏通ヲ圖ルコトニアリマスカラ、資金融通ノ

衝ニ當ル產業組合中央金庫ニ對シマシテ、十分ニ監督指導ヲ致シテ、本法ノ運用ニ遺

憾ナキヲ期スル考デアリマス、次ニ產業組合法中改正法律案提出ノ理由ヲ御説明イタ

シテ、中小產者ガ其產業及經濟ノ更生ヲ圖ルガ爲ニ必要デアアルバカリデハゴザイマセ

ス、政府ニ於テ行フ資金ノ供給其他ノ施設ヲ徹底セシムル上ニ於キマシテモ、誠ニ緊

要トスル所デアリマス、仍テ茲ニ此法律案ヲ提出イタシマシテ、產業組合法ノ改正ヲ

致サムトスル次第デアリマス、其要旨ヲ簡單ニ申シマスレバ、第一ニハ此際產業組合

ノ信用限度ヲ擴張イタシマシテ、資金ノ融通ヲ圓滑ナラシムルガ爲、個々ノ組合ニ於

テハ市街地ニ於ケル信用組合及ビ經濟必要品ノミヲ取扱フ購買組合ヲ除キマス外ハ、

其責任ヲ保證責任又ハ無限責任ノ組織ト致シマシテ、聯合會ニ於テハ總テ保證責任ノ

組織ト致シ、現在ノ有限責任ノ組合又ハ聯合會ハ、今後一定ノ期間ニ其組織ヲ變更セ

シムルコトト致スノデアリマス、此期間ニ付キマシテハ政府ハ原案ニ於テ三年間トシテ提案シタノデアリマスルガ、衆議院ニ於

産業組合ノ組合員トナリ得ルモノト致スノ
デアリマス、第三ニハ道府縣區域ノ信用組
合聯合會ノ機能ヲ徹底セシムルガ爲ニ、手
形割引ヲ爲シ得ルコトト致シマシタ、第四

ニハ産業組合聯合會ノ資力ヲ充實イタシマ
ス爲ニ、其組織者ノ有スル出資口數ヲ増加
セムトスルノデアリマス、以上ガ改正案ノ
要旨デゴザイマス、次ニ産業組合中央金庫
法中改正法律案提出ノ理由ヲ御説明イタシ
マス、産業組合法ノ改正ト相俟チマシテ、
産業組合中央金庫ノ機能ヲ充實イタシマス
コトハ、漸次其必要ガ緊切トナッテ參ルニ
相違ナイノデアリマス、仍テ茲ニ同金庫ノ
組織者ノ有スベキ出資口數ノ増加、餘裕金
運用方法ノ擴張、事業年度ノ改正ヲナスノ
必要ヲ認メマシテ、本改正法律案ヲ提出ス
ル次第デゴザイマス、以上各案ヲ何卒速ニ
御審議アラムコトヲ望ミマス

○子爵三室戸敬光君 只今一括シテ上程サ
レマシタ産業組合ニ關スル三案ハ、是亦重
要ナル法案ト認メマスルガ故ニ、之ガ審査
ニ要スル委員ノ數ヲ十五名ト定メ、議長ニ
於テ御指名アラムコトヲ望ミマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 三室戸子爵ノ動
議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス、特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ
朗讀ヲ致サセマス

(小林書記官朗讀)

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法
案特別委員

公爵一條 實孝君 侯爵大久保利武君

子爵前田 利定君 子爵西尾 忠方君

水野鍊太郎君 男爵赤松 範一君

男爵足立 豐君 男爵伊江 朝助君

西野 元君 馬越 恭平君

各務 鎌吉君 田村 新吉君

菅澤 重雄君 吉田羊治郎君

松本勝太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナケレ
バ本日ハ是ニテ延會イタシマス、次ノ議事
日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、
本日ハ是ニテ散會イタシマス……

午後四時四十二分散會

官報號外

昭和七年九月二日

貴族院議事速記錄第七號